女川町復興まちづくりに関するアンケート調査
調査結果【自由記述分類】

平成23年12月

宮城県女川町

■女川町復興計画の5本柱の項目と、自由記述の分類結果の内容との対応

計画の項目	件数	合計
1. 安心・安全な港町づくり《防災》		
(1)港周辺部の土木構造物等の整備	9	114
(2)津波避難対策の構築	9	
(3)防災上重要な施設の集約・拠点化	1	
(4)学校等避難所の機能の強化	2	
(5)防災道路ネットワークの整備	89	
(6)自立型エネルギーの整備	0	
(7)地域防災力の強化	0	
(8)災害遺構の保存等	4	
(9)地域防災計画の見直し	0	
(10)防災その他	0	
2. 港町産業の再生と発展《産業》		
(1)水産業の応急復旧による早期再開	1	103
(2)漁港の再整備と水産業の再生	52	
(3)商工業の再生	28	
(4)新たな雇用の創出	16	
(5)観光の再生・創出	0	
(6)産業その他	6	
3. 住みよい港町づくり《住環境》		
(1)応急仮設住宅の確保	14	305
(2)町中心部の安全な居住地の確保	149	
(3)離半島部の安全な居住地の確保	30	
(4)恒久住宅の再建・供給	58	
(5)公共交通機関の再開・整備	22	
(6)住環境その他	32	
4. 心身ともに健康なまちづくり《保健・医療・福祉》		
(1)避難所、応急仮設住宅での健康被害の予防	2	19
(2)心のケアの実施	0	
(3)保健・医療・福祉の連携による保健サービスの提供	5	
(4)地域に根差した包括的な医療サービスの提供	0	
(5)生活環境に応じた町民の自立した生活の支援	2	
(6)地域医療・保健・福祉施設の整備と安全性の強化	8	
(7)保健・医療・福祉その他	2	
5. 心豊かな人づくり《人材育成》		
(1)安心・安全な学校教育の確保	9	20
(2)生涯学習・文化・スポーツ活動の推進	11	
(3)学術研究拠点の構築	0	
(4)ボランティア・各種団体等との交流の促進	0	
(5)人材育成その他	0	
その他		
町の復興全般に関する意見	221	245
今後の女川原子力発電所のあり方	26	
	総数	806

※ひとつの意見に2個の分類が重なる場合はどちらか一方に分類した。
※その他は、5つの分類に当てはまらないもの、または分類が多いものを分類した。

Ⅰ.安心・安全な港町づくり《防災》

(1)港周辺部の土木構造物等の整備

1	海岸地域道路の高潮対策等、整備をお願いします。
2	女川は昔から港女川とありますので、港の復興を一日も早くお願いします。
3	復興の目標期間を8年間の3段階に分けて取り組むとのこと、果たして出来るでしょうか。大いに不安を持ちます。津波前から過疎傾向にあった我が町が今回の震災でますます他に流出すると思います。その為にも早急に漁港港湾を整備し水産加工業者の皆さんに頑張ってほしいのです。そうすれば働く場所も出来人口流出に歯止めがかかるのではないかと思いますが。※復興の考え方でJR石巻線が入っていないのはどういうことですか(将来は廃線か)。東北電力には安全を徹底してほしい。
4	一日でも早く防波堤及び船の接岸場所をお願いします。船の入港や出港が困難の状態。
5	防波堤を高く作ってほしい。お年寄りが不自由にならないよう、高台の居住地から移動できる低価格のバスがあれば良いのでは…。大好きな町なので、1日でも早く復興できるように祈っています。
6	3月11日発生した東日本大震災により、本町は壊滅的被害を受けました。今後の復興につきましては、①湾口の防波堤を従来より高く(7～8m)し津波の勢いを減ずる方策　②町営住宅(公営)の建設を早急に(1000戸位)　③現在開設工事中の「ふるさと林道」を避難道路として認定し、途中に待避小屋的なものを建設し、必要最小限の生活必需品を常備する。　④女川町清水地区(日蕨囲い)に標高の低い山林が多く見られる。ここを造成するばかなりの宅地が見込まれるのでは。　以上4点について要望いたします。いずれにしてもスピード感を持って対処してもらいたいと思います。
7	防潮堤など津波対策を十分に検討して欲しい。
8	今回の大震災で本町は未曾有な大被害を受けました。被害の主なものは大津波によるものが殆どでした。津波の最大到達の高さは18mと想像を絶するもので自然の大きさと人間の無力さを感じました。・被害をこれほどまでに大きなものにした原因は、防波堤が早い時点で倒壊したことによる。・港町としての防波堤は命綱である。・津波防災の原点は強固な防波堤や防潮堤である。・我が国では地震に対する取り組み、研究は進んでいるが、津波のメカニズムや防災についての取り組みは遅れている。・特に防波堤については1度建設すれば30年位の耐久性があることから構造や工法の見直しを含めた研究が進んでいない。・地震国日本は、地震だけでなく津波に関しても官、学一体となった早急な取り組みが必要です。・現代科学・工学・さらにはコンピューターを駆使したシュミレーションによる徹底した防波堤づくりが必要です。・東海を始めとした各地で大地震が近い将来に発生される時、本町での津波対応がモデルケースになるような防波堤や防潮堤を建設すべきです。
9	津波の上がらない港にしたい。よろしくお願い致します。

(2)津波避難対策の構築

10	・町長さんはじめ、議員の人達、役場の人達と住民のつながりをもっと深くして、高齢化に伴った町づくりをしてほしい。 ・道路のあちらこちらに「ここで地震や津波にあったらこっちに逃げなさい」という標識、目印になるものを避難所にかぎらず置いてほしい。分かりやすい色で！ ・道路の幅が前から狭かったので、大きい車同士が避けなくても通れるような広い道路。 ・石巻へ行く道が少なく、何か事故があったとき渋滞する状態だったので、もっと道があってもいいと思う。

11	災害はいつやってくるのかわからないので、海に対しては高い堤防対策をしてもらって、年寄りや幼い子供たちや体の不自由な人達を町民の皆でどのような方法で全てを守ることが出来るのか、どんどん異議を出しながらまとめて行きたいです。いずれ高台に逃れても地盤のゆるかったり復興に時間がかかったりして、いつの代に出来るかなど問題が多すぎるし、自然とは常に向き合って生きてきたのですし、湾岸工事をきちんとしてもらえれば後は皆で助け合いの心です。
12	何よりも女川町を早く復興することが第一です。各人に理想はあるだろうが、それには時間がかかりすぎる。　①町民が離れる　　②人命が第一であるから、通信・警報を第一に整備する。　　③住宅等は自由に建てさせる。ただし、かさあげは絶対。余分な程度にすること。それには注意すべき点が数々あるが、それは専門家に任すことにする。
13	今は、子供の通学上、町内にいますが、卒業を機に、石巻への転居しようか、考え中です。2,3年の内にある程度の復興が見込めればいいのですが、現段階では、何とも判断できません。復興計画をするにあたって、青年会の様な物を発足させてはどうでしょうか。若い人の意見を取り入れやすいと思います。観光ゾーンには必ず、展望台兼避難場所の設置を希望します。
14	・他県から引っ越して来た方々は、土地勘がないため、災害時の避難場所、経路が分からないので、地区ごとに区長さんを通してなど、町民全員に周知する対策を行って欲しいです。 ・防災無線に関して、今回の様な大災害の時、普段と同じマニュアル通りの話し方では、危機感を感じません。その時々に応じた伝え方をして欲しいと思います。（津波の高さ、潮の様子等） ・震災を後世に語り継ぐためにも、毎年3月11日に鎮魂祭を行う。（8月6日の広島原爆のように）　鎮魂祭では、女川町民の証言を元に作成したCG映像を放映する（記事、津波影像だけでは現実味がない） ・年配の方の意見（古い考え）よりも、これからを担う中年世代（商業、産業）、若手世代（子育て、居住地域）の意見を尊重しながら復興を心がけるべき。それが新しい女川町づくりに繋がる。
15	自分が生まれ育った町が震災によって壊滅的な被害を受けて、全く変わり果ててしまったのがとても悔しくて残念です。今は県外に離れて暮らしていますが、離れてみて余計に女川の良さを感じながら生活をしています。生活のために女川を離れる人も多くなっているけど、何年とかけて少しずつ復興して新しい女川町ができたらきっと帰ってきたいと思うためにも、津波対策をしっかりしてもらって、産業も再生して雇用も安定し、何より高齢者が安心して住める町作りをしていってほしいと思います。もちろん1人1人の防災意識も大事だと思います。町として避難訓練はやってるけども、津波に対する訓練も行なってもいいのでは。
16	また、いつ同じような地震、津波があるか誰にも分からないので、とにかく1人1人がその場から一番安全な所へ避難できるように分かりやすく「避難経路」を掲示して欲しい。 ・仮設住宅の入居期間を2年と決めているが、その後の住家が心配なので、やっぱり台所の住宅地など早く進めてもらいたい。 ・何から抽選をするにしても、町民の目の間で行ってもらいたい。 ・保育所に入所する子供を決めるに当たり、色々と審査があるのは皆知ってるが、なぜか母親が仕事をしていない子供だったり、原発で働いている方の子供が入所するのには以前から疑問の声が多いので、誰もが納得するやり方にして欲しい。 ・役場の方へお話があり、電話をかけても「折り返しかける」と言われ、そのまま、何の連絡も来ないという事が何回もあり不満です。忙しくても1つ1つ対応してください。
17	地震に、津波に出来るだけ、万全の体制を取れる、町にして下さい。
18	町中心部の土地利用ゾーニングイメージを拝見しました。鷲神地区の住宅、商業ゾーンについて、盛り土をするとしても、今回の災害が甚大だったために、正直なところ大丈夫だろうか？と不安があります。例えば、同じような災害が起きてしまった時、また、高台に逃げようとして車の渋滞が起きないようにするため、もっと太い道路とか、脇の方に寄せられるスペースを作ることも必要じゃないかと思いますし、高台への逃げ道（細道や階段など）の本数ももっと増やすと安心なのでは…と思いました。　※まちづくりといってもあまり詳しいことは分からないので、生意気なことを言ってすみません。

（3）防災上重要な施設の集約・拠点化	
19	1.アンケートの時期が遅すぎると思う。町民の意見より先に復興計画案の方が進んで、希望や要望が入りにくいような気がした。1.復興計画を見ると全て町内中心に行っているようですが全て被害に合ってしまいました。公共施設等一箇所にまとめず、被災にあわなかった地区もあるので、分散してはどうだろうかなと思います。
（4）学校等避難所の機能の強化	
20	震災から約半年になりますが、以前子供が通っていた女川第一保育所がいまだに避難所になっている事に対して疑問を感じます。避難所から離れたくない人もいると思いますが、子供のいる世代から見れば、避難所を合併するなりの対策が取れたと思います。いつの時代も子供第一に事を考えなければいけないと思います。高齢者を大事にすることも必要と思いますが、すべてそれを中心に考えた結果、子供は両親が構ってあげれば問題がないと思いますが、それでは町の復興の動力は誰が担うのか、そこの所をよく考えて町づくりの参考にして頂きたいと思います。
21	町の復興計画案はあまりにも漠然としすぎて、一人々の生活の身になって考えているようには全然感じられず、今までの女川町で生活したくてもこれから何年先になるのかぜんぜん先が見えずがっかりさせられる事ばかりです。建物の気ばかりで、亡くなった方、未だに行方不明の方々の家族に対してもいくら天災とはいえ、見舞金を払えばそれで終わりというやり方にも女川町にとどまる気持ちがなくなりました。建物の復興も大変だと思いますが災害時に避難所に指定されている場所の食料、毛布等の備えもこれからしっかりしてほしい。女川町も原発をかかえていて、今後福島を同じ避難を強いられる時があるのかもしれないのに、これまで毎年防災訓練をしていたのに今回の震災で避難した際、何も備蓄品がないのにはあきれました。
（5）防災道路ネットワークの整備	
22	道路浦宿バイパスとコバルトラインの交差点のインターチェンジ化。（女川高校のグラウンド削減）
23	①一ヶ所で何でも買い物が出来るスーパーが1店舗位は必要。仮設からはシーパル号での送迎で1日に何回か時間割いてやって欲しい。 ②国道398号の1通行路だけでなく、女川～針の浜～渡波に抜ける道路（2車線くらいですれ違いが出来る）の早期整備 ③スーパー林道への接続道路の整備、町内から何か所か登山で通行出切る様にしてほしい。 ④JR石巻線の早期開通を望みます。JR仙石線の接続にて、早く女川～仙台まで行けるようにしてほしい。 ⑤仮設住宅の期間延長と、土地の等価交換による公営住宅の建設を望みます。（安価に） ⑥若い人の職場復帰を望む。 ⑦居住地の外灯の暗さ、LEDにてのライトの交換や増設をお願いしたい。特に通学路の外灯が暗く、少ない。
24	・高台に住宅を建てるといつでも交通の便が悪くては大変です。道路（特に清水地区）街灯（電気）がなく親類を訪ねるにしても怖くて行けません。生活道路の整備を早くした方が良いと思います。 ・避難所生活を早く終わらせないと仮設住宅がけっこうあいているという事を聞きました。避難所にいると食事もタダでお金も使わないという話を聞いた事があります。義援金等も入っているのだし、早く生活（自活）させる方がこれからの事を考えるといいのではと思います。 ・私の家には3家族4ヶ月住んでいました。水道、ガス、電気代が大変でした。
25	国道の再整備に加えて県道の再整備をお願いします。
26	国道398号の道路が狭いため広くしてほしい。満潮時に万石浦から冠水する為、何とかしてほしい。

27	まちづくりはとても大事なことです。まちづくりと並行に仕事が出来る環境と、早く街灯をつけ道路も整備し、さんま船が入港出来るように願っています。タクシーも夜はなく、とても不便です。女川の町が最高の町になるように、私達も頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。
28	・398号線以外にも、石巻へ抜ける道路の整備をお願いしたい。・山の湧き水等の検査を定期的に行い広く情報を発信してほしい。
29	・道路、歩道を幅広く、避難通路を明確に！（3.11にR398浦宿駅から一小方面へ向かいましたが、避難放送が鳴っているのに工事中で、片側で止められました（車）危機一髪で一小に入れたので良かったですが…（前に10台ほど車が工事の人に止められていました）　・日赤まで繋がる道路が早くできてほしい。　・金融関係を1ヶ所にまとめて建設してほしい。　・避難所の備蓄品を完備し、常にチェック。
30	道路の問題。今まで山を切り崩して宅地造成した地域であり、路面は狭く、交通に不便であった。緊急車両等、自由に交通できる最低6m以上の幅が欲しい。国道398の1本では災害のときに大変危険である。道路上のガケ崩れなどがあれば、原発事故などあれば逃げ場を失う。トンネルで、石巻市稲井方面又は河北方面に道路の敷設を望む。（又は万石浦でもよい）　他産業の工場の誘致が必要だ。このままだと働き場所がなくなり、人口の減少が目に見えてる。我々の生活は豊かな生活を望んでおり、経済（収入）が第一である。
31	道を直して。
32	防波堤等で3／11級の津波対策することは、時間（調査、設計、検討、工事の期間）がとてもかかってしまうため、高台への居住地の移行が現実的と思われる。又、近くに原発があるため、万一の風評被害を配慮するのであれば、盆地やカルデラのような形状の町にすればよいと思われる。このような作業を行うにあたり、まず行うべきは道の舗装工事を進めることであるような気がします。現状行っている産業の安定的な確保のためにも、道の整備（避難道路作成）を事故発生の前に進めていただきたい。
33	①町内の区画整備を正確に行ってください。②町内の通路を整備するときは幅広くしてください。③町営住宅を早めに建設してください。
34	・先の町のビジョンを見ると、大規模な計画も良いが、2年後に仮設住宅を出た時の住まいをどうするか。　・将来人口が女川に何人残るのか。　・水産会社などが何社が仕事を続けるのか。　・以上、見通しを立ててから復旧計画でもよいのでは。（絵に描いた餅にならないように）　・避難道路を早急に建設してほしい　・原発は将来止める方向で　・災害時のライフラインは即対応出来るように。　・今回の災害では町の公報は皆無で不安だったり。
35	1.復興させるのは、まず、道路の整備が必要です。メインの国道、コバルトライン五部浦道路の整備と高波対策をお願いします。2.国道以外の避難道が必要です。針の浜から万石浦ルートの拡張。また、運動公園～井内側へ抜けるルートの開拓。（土砂は、土地のかさ上げに利用）3.仮設ではなく、本設の町営アパートの建設を早期に希望します。4.理解不足ですが、建設制限はは、部分解除すべきではないでしょうか。方法として、地域、建物種別があるのではないでしょうか。いつまでたっても、中心部は復旧、復興しないように感じます。女川町の将来のため、ガンバッテ下さい。
36	・清水側から井内の金山に抜ける道路の拡張　・高齢者、子供のための歩道の整備と拡張　・サイクリングロードの整備　・大通りの拡張と各施設の連携（観光と食事等）　・他の町にはない街並み（住宅地、商業地）　・居住地の中にもバスが通れるくらいの大きな通りを
37	①人口の減らさない。②交通を早く回復する。
38	女川町に復興のためにも先ずすべきことは、幅の広い道路を作り、町内外の人々に女川町は復興に「力」を入れていると、アピールした方が良いのでは。

39	広い道路の確保
40	皆様が安心して暮らせる町、安全な町づくりをお願いします。又、国道398号線石巻方面、雄勝方面、特に勝山付近は早期の工事重ねてお願い致します。
41	土地利用:復興計画（案）の通り進めてください。 人:石巻・女川地区の店員はおもてなしの心が不足している。客に出してやってるではなくて、お店に来ていただいているの気持ちが足りない。 道路:おそらく石巻への追加道路の計画は、地震前もあったと思うのでその計画を進めてください。
42	現在の被災状況を見て考えたとき、清水地区に新駅を造る計画みたいですがこれから高校もなくなります利用者がそんなに見込めるとは思われません。メリットはないと思います。それよりも道路です。陸の孤島にならないような道路を考えます。福島の原発事故を考えたときには道路です。当地区にも商業、公共施設等をお願いします。それと小学校の統合ですが、二小より一小の方がいいのではないかと思いますが？仮設も絡めれば将来的にはいいかと考えます。二小の事は（内部）よくわからないけど設備等を考えればと思います。道路もどうゆう道路が出来るかわからないけど鉄道のトンネルを通る道路を浦宿の駅の方に延ばす事はどうでしょうかと思っています。
43	道路の幹線を今現在、2本通っていますが事故等があると通れなくなり、道中も狭いので、もうすこし、中を広く、取ってもらったほうが大型車両も、スムーズに通れると思います。針浜方面の道路を特に石巻方面を早く通れるようにして下さい。震災に強い道路づくりをお願いします。又宅地について旭が丘の近くの山などを整理して宅地にすればどうですか。
44	JR石巻線の早期復旧、国道398号銭（石巻女川間）に連結する、県道石巻女川線（女川猪落経由）の整備など、交通網の整備。
45	何をするにしても道路が一本しかないことが心配ですので主要幹線道路を整備し安心して石巻方面に行ける道路を他の所にも作ってほしいです。
46	町の復興の大前提は石巻とのアクセス道路の整備が必要では？三陸道日赤インターからの高速格道の様な道路が将来の水産、観光、新たな産業の為にも是非とも希望します。また、脱原発の考えからも東北電力さんには風力、太陽光、潮力等の自然エネルギーの開発研究の地として女川町を活用してもらいたいです。
47	人口減少を防ぐためにも、雇用や住居環境（土地や町営住宅など）を早めに確保してほしい。福島原発の事故を踏まえて、女川原発の有事の際の住民への連絡や避難指示等の対策を明確にしてほしい。絶対の安全は無いので。
48	北海道の奥尻島のように高台への避難路を整備してほしいです。道路の冠水が心配なので対策をお願いしたいです。
49	1、人口流出に歯止めをかけるような対応 2、主要道路の舗装整備を早急に 3、郵便局、銀行等の早い時期に誘致を
50	・災害時の避難路の整備 ・災害時の通信網の整備
51	国道が何があっても冠水しない様にしてもらいたい

52	・まず高台への避難道路を早く作って欲しいです。 ・道路、がけ、宅地の沈下を防いで欲しいです。 ・早く建築規制を解除しないとどんどん人口が減り心配です。
53	車社会で今回の津波では車で避難する事が多かったが、避難道路の未整備の所があったため、犠牲者を多く出した。避難道路の拡張、特に上りの場合は2車線、下りは1車線でよいと思われる。やれることは、次々とスピードアップで実行してもらいたい。また、津波で壊れた警察署等が学術的に重要云々とかで残したい話もあるようだが、無様な残骸を残して何になるんだ。学術的に残したいのなら、写真やビデオ等で十分保存できる。それでなくても狭い土地の女川であるのできれいさっぱりと整備を図り、復興を進めてもらいたい。
54	道路の整備をお願いします。
55	町内の人口も変動し、税収減少が見込まれると思うが、できれば女川町職員は町内在住に努力すべきと考える。今後住宅建設迄時間はかかるだろうが、ぜひそうして欲しい（住んでこそ感じる感性が大切）。道路の高潮対策を早急にお願いしたい。宜しくお願いします。（自らも被災しながら仕事を続けている役場の方、多い事と思います。どうぞご自愛下さい。）
56	数十年以来の懸案である道路網の整備しなければ、観光事業こと他の地域との競争には勝てないと思われます。又その他の産業にも影響がありますので今度の震災を機になお一層の努力が必要と思います。
57	町外へのアクセス道路の強化をしてほしい。災害に強く陸の孤島とならないため。
58	女川町の基幹産業は水産業であり、これまで多くの漁船が入港し、新鮮な魚介類が水揚げされて初めて町は活気付き発展してきたのは周知のことである。今度の震災で今まで私共の蓄積が全て無になり、呆然としています。今すぐにでも以前の場所で以前のように商売をしたい気持ちはありますが、それもままならず、毎日不安と焦りでイライラしております。有識者の方々の復興計画も住宅地高台移転を中心とした安心・安全な町づくりを提唱しているが、これもいまいち。むしろ、震災で地盤沈下した分を大幅に地盛りし、頑丈な防波堤を作り、万が一の時避難できるように道路や避難の為の建築物等を整備する方が現実的だと思います。どのような万全な対策を講じようとも所詮自然の力には勝てません。その時はいつも想定外という言葉で片付けられます。そうであるならば私共も命だけは落とさず、しぶとく生きたいものです。何度でも再生しながら。
59	・国道398号線、コバルトラインの早期復旧（浸水対策についても）。 ・石巻へのアクセス道路の早期開発、三陸道へのルートも開発してほしい。 ・主要道路の4車線化。・高台への町営住宅を建設し、早期に仮設住宅からの移住できるようにしてほしい。
60	女川町の町づくりに思うこと。産業の復興に早期に取り掛かることを望み、そうした上で安全安心の住む場所の確保、次世代の継承すべき町づくりを進めてほしい。しかしながら原発立地町ということも十分念頭に置き、津波に限らず非常時の大量の避難可能となる交通網鉄道の早期復旧が肝心と思われます。
61	・石巻へ向かう道路を何本かつくってほしい。海側を通らず、山を通ってどの地区からも行きやすいように小道が何こもあるような広くてきれいな道路を。山をけずってつくると土砂くずれや倒木が気になるので、そのような事を気にしなくてもすむような安全な道路がほしい。 ・早く、防波堤をつくってほしい。今回無事だった地区も、また津波がきてしまった場合、さえぎる物がないので、あっという間に波にのまれてしまいそうで、とても怖い。冠水地区もかさ上げして道路もきれいになってきたが、今からの季節またふりだしに戻りそうな程道路脇が冠水したりする。そんな状況を見てみると、ちょっとの津波でも大変な事になりそうだ。 ・広報（放送）の声が聞きずらい時が多々ある。大きな声ではっきりと話してほしい。 ・小学校、中学校、保育所は、悪天候の時は、早めに休校などにしてほしい。（仕事をしている家庭のみ預かるシステムをあらかじめ決めておくなどなどして）町がある程度整備されるまでは、急に、迎えに来いと言われても、悪天候の中の町内を運転するのは大変怖い。 ・歩道は、広くて自転車も通れるようにしてほしい。

62	道路が狭く、冠水してしまうと通れないところがあり大変不便なので、もっと道路の幅を広くして石巻へのアクセスも海沿いを通らなくてもいいような道路を早く整備して欲しい。買い物をする場所を安全なところにまとめてつくってそこに行けば1回で何でも揃うようにして欲しい。わざわざ石巻まで出なくてもいいように。土地勘が無いまま住んでいる人も居るので、わかりやすい場所に公共施設を作って、かつ避難場所にもなる機能を備えておいた方がいいと思う。
63	1.道路の整備について、現在398号だけですが、もう一本、アクセス道路の整備をしてはどうですか。 2.私は当分今の住いで暮らそうと思っているわけでありますが、水産業が復活した場合、または住宅の造成が進んだ場合、果たして女川町で就業して生活の基盤が作れるのか。 3.原発の運転も未だ再開してない状況で、何ら情報も入ってこないのは、大変不信感を持っています。
64	水産の町である為、大型車が行き来しやすい道路環境を整備する事で長期的には大きく成長できる町となると考えます。以前のようにソフトボールや柔道をはじめとして様々なスポーツ大会を誘致したり、たくさんの祭りがある元気な町に戻ってほしい。
65	三陸道から女川へのアクセス道路を早めに整備して女川町に定住しながらでも町外でも仕事ができるように人が離れないようにすればいいと思います。安い町営住宅を町のまんなかにビル形式で建築するように
66	国道398号線とは別に石巻港から日和大橋万石浦を通して女川バイパスまで道を作って欲しい（東京→千葉うみほたるの様な道）又は電車と道路を上下一対レインボーブリッジの様に。
67	幸いにも自宅に老夫婦二人で住んでいます。主人は今、入院しております。私達は何も言うことは有りません。ただ、地震で崩れた道路が何とかならないか見て欲しいと思い、書きました。
68	住み慣れた土地に再建したいが、通勤の事を考えると、石巻市に移住する気持ちもあるが、石巻市内へ15分前後の通勤時間に道路を整備して頂きたい。なお原発の事故の事も考えるとやはり道路整備が懸念されるところである。
69	・それぞれの土地には所有者がいますが、土地ゾーニングイメージどおり、スムーズに土地の確保ができるのか心配です。 ・主要幹線道路（398号）を整備するようですが、できる限り広くして欲しい。現在の道路中では、ちょっとした交通事故や、冠水等でマヒが起こります。できれば現在の倍がほしいものです。
70	道路の整備なくして、安心、安全なまちづくりは？　主要幹線道路国道398号の整備（バイパスも併せて）「陸の孤島」にならない様強く要望します。
71	道路整備…嵩上げし、堤防を兼ねた道路。道幅に余裕をもって、大型車両通行を考慮。所有地（被災地）の利用制限の解除の見込みがたたないと、地震の再建計画の目処が立ない。
72	ふるさと林道（女川＝井内間）を避難道として早急に通行する様に整備をお願いします。（県道にしては？）
73	水産業の活性化を一日も早く復旧させると共に、海岸を避けて安全な道路を作って、避難もより早く出来るようお願いしたいと思います。
74	安全性が高い（災害に強い）町。活気のある町。地場産業の‥‥（漁業以外、たとえば観光業の復興）。石巻方面への道路の確保（複数のルートを作る）。現所有地は町ががれき置場として使用しているが、一言くらい「使わせてくれ」ぐらい伝えられなかったのか？今後どの様につながるのかはっきりさせてほしい。

75	①迂回路道路整備の要望…今回の震災でも明らかのように、1本の道しかないことで陸の孤島となることの回避。町の発展においても道路整備は重要と思われる。清水から石巻へ抜ける道路を作ってもらえないだろうか。 ②町の基幹産業である漁業の充実と共に関連企業の誘致…日水の撤退は雇用の面からしても痛手である。 ③介護施設の充実…年配者は特に、故郷女川の地に戻りたいと思っている人が多いと思う。町全体が年寄りの方々ばかりと危惧する反面、若い人の雇用（ヘルパーetc）も増えるのではないだろうか。 ④住宅建設における要望…造成地に住宅を建設しようと思ってはいるが、資金面や周りの状況や地盤を考えると2,3年での建設に躊躇してしまう。できれば、清水にあったような町営住宅、アパートを建設してもらい、入居し、様子を見て住宅建設を行いたいと考えている。よって公的借家の早期充実を希望します。 ⑤町造りにおいての希望…策定プランでは、旭が丘地区、現総合運動場地区etcと住宅ゾーンをおいているようだが、それらの地区をうまく結べるような（点と点を繋いで線となるような）町全体のデザインを考えて欲しい。仙台の台原公園のように森林公園の中に文学館、イベント館、シアターetcのコミュニケーション、癒しのソフト面における充実も計って欲しい。
76	「復興の考え方」には、基本的に賛成である。その上で、①ゾーニングの造成及び整備の具体化、明確化、財源、措置等の情報提供、広報周知が必要である。　②道路整備と浸水区域の盛り土等（海岸線の保金）等。復興させる事業の明確化と推進。　③スピード化なしに女川の復興発展はない。
77	道路を広く
78	この機会にぜひ仕掛してもらいたいこと　・道路が狭い。消防車、救急車も入れない所です。・道路を広くしてバイパス道路にでもつないでもらいたい、この辺の部落住民の要望です。よろしくお願い致します。
79	若年層の町外への流出を防ぐための対策について、より具体的な取り組みを示して実行に移してもらいたい。避難道路を整備してほしい。
80	女川町は自然に恵まれた住みよい町です。アクセス道路の整備が早く実現できますように願っております。皆様に支えられながら被災した日から今日まで生活をしてきました事に深く感謝しております。どうか健康に留意され公務に励んでください。「取り戻そう・笑顔溢れる女川町」、復興計画（案）に賛成です。
81	居住地の早期の開発整備をお願いします。それと現在398号線ですので広い道路をもう一本石巻方面にお願いしたいです。それと就業場所の拡充をお願いします。
82	復興するにあたって、何より優先されるのは、原発とのしっかりした（四車線程度の）アクセス道路を作り整備し、それをもとに各ゾーンを設定すべきであろうと考えます。原発事故は「あってはならないものでは無く、起きるもの」の前提で計画を立ってて頂かなければ、近隣に住む人間の命はおざなりになり、優先順位からはずれているようにしか見えません。いくら素晴らしい各ゾーンが整備されても、命が優先されない所に居を構える気持ちは起きません。福島の教訓をもっと真摯に受け止め、命とは何か、生活し生きて行くとは何か、豊かさとは何かなのか、しっかり考える絶好の機会であろうと思っています。
83	町外に抜ける道が多いほうがいい。

84	1、道路の整備…国道398号線のみでは町が孤立する。今回の震災前に整備すべきだったと思う。 2、原発の安全性・将来…町として原発に頼りすぎていた面が多いと思う。将来のエネルギー産業に町として原発に代わる発電所などへの参入をどう考えるか。 3、水産業、他…町の基幹産業だが、サンマに頼りすぎていないか。新商品の開発をしたり、どんどん町のPRをしてほしい。震災後、テレビ等でほとんど女川町のニュースをみない。なぜなんだろうと思う。気仙沼や南三陸町は毎日のように取り上げられているのに。水産業だけでなく、これから山間地などを利用して花や果物栽培、それらの商品開発なども良いのでは？　将来的には観光スポットになれば。　・町外へ避難している人に女川町の情報を。公報が読みにくい。情報収集は個人では限界があったり、単なるウワサだったりする。町を離れてしまっていても、やっぱり女川町のことが気になります。
85	一日も早い復興を願っています。石巻で働いているため、安心して通れる道路の整備をお願いします。
86	女川町に日蕨（清水）～稲井（石巻）に抜ける、4車線の生活道路又非難トンネルを建設してほしい。
87	とても難しく大変なことは分かりますが、石巻方面への道路が海沿いでないところにもできたら良いと思っています。
88	1・照原寺入口よりにマリンパルまでの道路幅の拡張。2. 石浜より、崎山公園までの道路の直線化。3. 大原3区、4区民の一中への避難道（階段）
89	1. 国道398号線の道路の整備仮舗装を早急にしてもらいたいです。（車で通勤するのに女川の町を走行するのが苦痛です。特に雨天時）　2. 外灯の設置　3. 女川町の冠水道路の整備　◎女川町の町づくりの復興計画の前に、現状の改善をしてもらいたいです。（毎日の生活に支障をきたさない様にお願いします）
90	私達は3日後清水の林道から避難しました。清水からの避難道を作っていただきたいです。若者達が安心して生活できる町、女川は自然豊かな町です。できるなら女川で生活したいと思っています。
91	女川へのアクセスは国道398のみであるため、孤立する可能性が高い。（今回の震災ではたまたま通行できたが、以前に大雨等で通行止めになっている）避難する時や物資の搬入ができなくなるため、アクセスの強化も必要。JRの復旧も時間がかかるため、時間帯によっては渋滞が発生しており不便である。
92	交通の良い道路をつくって海の方を整備して店も皆買い物しやすい町になってほしいです。
93	山沿いの林道を整備して町道にしてほしい（宮ヶ崎、石浜）清水町の奥から井内金山方面へ行く道路を整備してほしい。商店街を早く作ってほしい。
94	道路は広くしてもらいたいと思います。町営アパートをいっぱい作った方が良いと思いました。今から家を建てる人って大変だと思ったから
95	確実な避難通路、避難場所を設置してほしい。一日でも早い復興を望みます。
96	・道路の幅を少しでも広げて欲しい。 ・居住禁止区域にある土地の買い上げを望む。

97	石巻へ行く道路を作るべき（稲井方面へ直通）。原発に頼らないでいく。商業ゾーンは水産業ばかりで住むには買物などが不便になる。今まであった店が営業するのでしょうか？　色々なことを考えると、女川には住まなくなるかもしれない。女川町独自の支援策を期待したいです。そうしないと女川に戻る人が少なくなる。原発も恐いので若い人はなおさら住まなくなる。
98	道路が1本しかないのでとても不便。まるで独立している。収入が少ない人やお年寄りにとても住みにくいと思う。
99	町づくりは道路との係わりが大きいと思います。1つに、道幅を広くしてどんな所でもゆとりを持って車両が往来出来るようになれば素晴らしい。広くする事で空間が生まれ、景色が変わります。町のイメージがよくなり住みよい町づくりに繋がると思います。2つ目に高齢運転者の事故防止にも役立つ？
100	もっと港や道路を整備してもらいたい。
101	女川町アクセス道路を増加する検討も進めてほしい。交通が遮断された場合、隔離されるため。
102	交通（電車）の利便性を良くしてほしい。原発事故の避難者確保の為、道路整備。
103	・国道398号線だけでなく、石浜、宮ヶ崎の後方を開発し、高台を通って石巻まで行けるような道路がないと災害時にも産業的にもダメだと思います。 ・現在女川に住んでいて、石巻その他に通勤などで通いたいとき、バスなどの本数が少なく夜も早く終わってしまうので、車の無い人はなかなか働きにいけなくなっている。もっと停車場所を増やし、本数を増加させて欲しいです。
104	国道298号線を修理してほしい。
105	防災無線や外灯の整備、道路を舗装して欲しい。銀行や郵便局が無いのは厳しい。食堂が無いのも町にとってマイナスかも。やる気のある店には町の後押しが必要では。高台に仮事務所を建て水道を引きましたが、それに対する補助金をお願いしたい。
106	石巻へできるだけ短時間でいけるような道路が欲しい。
107	まず、道路を広く。交通を便利にしてほしい。
108	1.リュウマネージメント再考する。2.道路（近隣地区／国道含む）と災害時の兼用化。3.現復興計画案で･･･と思う。1.2ありき。
109	・住居に関する事。市街地調整区域を改めて町に早く、家を求めたい人に対応して下さい。 ・新しい道路を作ってほしい ・398号以外。 ・老人、障害者関係の施設の増設により、人口の増と仕事場を与える。 ・高等支援学校の町内への新設を行っていただきたい。 ・町内の墓地（霊園）を新設し、大震災の慰霊碑を新設下さい。 ・浦宿駅が女川の玄関口ではいかかがでしょうか。 ・メモリアル公園は今回の大地震だけでなく過去の記録も併せて他市町村にない内容が必要かと思える。
110	安心して住める場所、医療の充実。1日も早い道路の復興、働く場所。それには女川市場の復興、それにともない1日も早い加工業の（水産業の）復帰が望まれます。

（8）災害遺構の保存等	
111	海があり山があり、女川の町は本当に美しい町でした。まだ美しい山と海と人が残っています。再び女川の人が生き生きと生活できる町が希望です。まず女川での住居と仕事が町民の心配事です。叶う事なら同じ場所に住みたいです。　　女川町メモリアル施設保存について。旧江ノ島会館がメモリアルの1つと聞いていますが、反対です。研究のためならデータとして今の時代色々な方法で記録できます。公的建物でもないし、残す必要があるのでしょうか？　津波を忘れないようにと言うなら、ジオラマにするとか（津波の前と後）まだ家族が見つかっていない者にとって「この下にいないだろうか？」「この中にいないだろうか？」見つけてあげられない気持ちが…。あの辺は埋立地なので家を建てるとき杭を長く、本数も増やして建てました。きちんと建っている建物もたくさんあります。見るのが辛いです。お願いです！まだ見つかっていない人の捜索も続けてください！前に進めません。
112	親族もいない我家の場合、女川町との関係も希薄になってしまうかもしれませんが、何人かの同級生を訪ねたり、お墓への行き来には来る必要があるので、今のままで女川町が失われてしまうのは、絶対に避けなければなりません。他の市町村にもできるかもしれませんが、津波メモリアルパークなどの形で、今回の震災を忘れずに後世に伝えていける取組が必要で、これまでの漁業中心の経済に、震災メモリアルによる復興事業も加えた新たな街づくりができれば良いと思います。幸い（？）女川原発は無事だったということなので今後も見込める交付金を有効に使って、復興のトップランナーとして、街づくりの復興ができれば良いと思います。
113	津波の被害を受けた建造物を歴史的遺産として保存するという企画が行政主導で進められているようだが、津波による犠牲者を出している方々から見れば、不愉快以外の何ものでもない。例えば、広島の原爆ドームが歴史的遺産として保存されているのは、それが当時の「人間」がとった誤った行為を記憶し、後世の人間たちに対して反省を促すという意味合いがあるからである。しかしながら、今回の震災はあくまでも「自然」がもたらした災害であり、我々人間の行為とは一切関係なく発生したものである。従って、我々人間が自らの行為を反省する必要は一切ないはずである。それにもかかわらず、津波被害を受けた建造物を残すというのは、一体何の意味があると言うのだろうか。その倒壊した建物を見て、我々は何を反省すれば良いのだろうか。自分たちだけ生き残ってしまったことを悔やめとでも言うのだろうか。ただただ、被災者たちに、長きに渡って、精神的な苦痛を与え続けるだけではないのか。このような独善的な企画は、即刻中止すべきである。（家族代筆）
114	・倒壊ビルを保存し、広島ドームのように記念の土地にして人を呼び込んでも良いと思う。 ・自然海水のみならず、陸地でも、バイオ水を利用した養殖を町のレベルで運営しても良いと思う。 ・明確なゾーニングエリアを早めに測量で出して欲しい。

合計114意見

2.港町産業の再生と発展《産業》

(1)水産業の応急復旧による早期再開	
1	復興の5つの柱の下、基幹産業である水産の町、水産業関係者への早期復旧支援。若年者が町に残るためにも就労支援などに力を入れてほしい。
(2)漁港の再整備と水産業の再生	
2	1日でも早く水産加工業の仕事がしたい。生活が苦しい。
3	早く復興し、活気のある女川になる様に、漁業の復興も早くなる様に、祈ります。ホタテやホヤなど早く出来る様に町の活気にサンマや、ホヤやカツオ、サバなど市場の早期復興を祈っております。運が良く会社は、大丈夫だったので早く、市場さえ復興すればと願います。
4	水産業の復興第一。
5	漁師をしていきたいが生計を支えていけるほどの収入があるのか不安ですが…。漁業や市場や加工場を盛り上げていただければ、しかし問題がある様子ですよね。山の上の方への民家を移すのは良いですが、水産加工場など海の近くでする仕事は、土地の関係で出来ませんよね。何もかもがむずかしいですね。でも要望は上で答えたとおりです。
6	問2－8に記入済。水産業で町を復興させるには膨大な費用と時間がかかる。町内だけで考えても知恵が出ないだろうから、日本国内や海外からの英知を利用して、今後の復興計画を策定してほしい。野村総研や電通などの民間企業に委託したほうが、学者より早く計画できるだろう。今までと違う女川町を作らせなければ、石巻市に吸収合併の道しかないのでは。協力は惜しまないが、時間がかかると人口が5千人を切るだろうから、住民が安心できるプランを早く明確に出してほしい。
7	原発も今後廃止の方向へ向かうのであれば、やはり女川は漁業でしか復興の道は無いと思いますので、漁業や加工業を中心とした町の整備をお願いします。復興が遅くなればなるほど、町民が戻ってくる可能性は低くなります。どうか迅速な対応をお願いします。
8	女川町と云えば漁業の町ですが出来れば市場関係や水産加工業等の一日も早い復興に全力をあげて頑張ってほしいと思っております。本当に皆様の努力に感謝致しております。御苦労様です。
9	女川町の復興については水産業の復活が第一義と考えられます。実施にあたっては財政的な問題も多々あろうかと思いますが、破壊された港湾及び市場、加工施設の修繕をスピード実施していただきたい。昨年（H22年10月）宮城県が内閣府に申請した「みやぎ水産都市活性化特区」そのプランの検討と検証が必要と考察されます。業界との会合、水産特区創設の検討課題の検討と推進をお願いしたい。
10	原発が問題の多い状況からして、当町の場合は水産業の一日も早い再建が必要と思います。
11	復興に際し、何事も早急に決断、実行せよ。水産業、加工業、町の整備、なかなか、出来ない。早く、一刻も早く整備、仕事させろ
12	今まで通りの港町女川として水産業を栄えさせてほしい。復興計画通り住宅はたかだいに移し、老人に住みやすい巡回バスを出し、病院や買い物に行きやすいようにしてほしい。現在の398号線も広くし歩道も広く取り、シルバーカーを押して歩いても安全な街創りをお願いしたい。
13	地場産業、企業、水産業があってこその女川だと思います。働ける所がないと町民は他町村へ流れてしまいます。水産会社、魚市場、港の整備、そして漁業これが復興さえすれば、女川町民は皆女川に留まるはずです。働ける所さえあれば、安心して仮設での生活でも皆頑張れると思います。若者と子供達に将来への希望の地となる様、早い復興をお願いします。

14	H23年11月午後2時46分1,000年に一度とも言われる大地震及び場所に依り20m前後の津波により、女川町は大打撃を受けて、半年近くになりますが、女川広報や復興ニュース等を拝見し色々な計画等が出されてますので心強く思いますが、出来るかぎり早く実行に移す事が一番です。先ず、自分の思う事は、女川町の復興には少なくとも10年以上かかると思います。住宅の高台への移転、地盤沈下のかさ上げ、岩壁の整備、それに先立ちガレキ処理等色あり大変な事と思われます。第一に大事な事は、女川町民の過疎化防止、被災者の働く場の確保、そして生活基盤に力を入れなければなりません。女川町は昔ながらの水産の町。1区画でも仮設的水揚げ出来る場所を早く確保整備し、カツオ、サンマ等を少しでも水揚げ出来るようにする。そのためには各方面への働きかけが大事だと思う。船の出入港にしても安全を期するように、船食の仕込みも出来るよう、以上の事に対し、製氷や冷蔵庫が必要となります。被災者は仮設住宅に入居しているので何かと不自由な事もあるでしょうがひとまず安心でしょう。頑張ってもらうより仕方ありません。原子力発電所の件についても、これまで大変お世話になり電気を使わせて頂き助かっていました。今震災により色々大事故が起きていますが、今迄何十年も許して稼動してたものを撤退させる事より、今迄以上に安全に期してもらい東北電力の事故を良くわきまえ、安全性に力を入れ稼動した方が良いと思う。
15	•水産のまち女川 •観光のまち女川 •発電所のまち女川 •誰が住んでも住みよいまち女川 •女川の人はみんな、女川に住めるようにしてください。
16	女川町へ来て年数は浅いですが、これまでの四季折々のイベント等の風景が思い出となってしまわないように、また取り戻し、人々の笑顔と優しさあふれる町づくりを望んでいます。又、漁業やそれに伴う産業の再建を期待しています。
17	まず、完全に町のほぼ全体が平地になったのだから、きちんとした今後の女川がどのようにして活きて行くか、目先のことでなく将来的に、きちんとしたプランニングで行って欲しい。私の今後の女川は、漁業、それの加工業、海を活かした観光、マリンスポーツ、それに付随した商業。女川に住んでいて、自分が楽しい町になって欲しい。それにはまず今回の予想もしなかった巨大津波に女川は襲われたということを各自、認識し、その事実を風化させないようにし、子々孫々まで伝承することだと思います。今後、その犠牲、被害を少しでも少なくするということは、復興計画策定委員会の皆様と同じです。　町づくりの要素としてまず、働く場所がなければ人は集まらない。女川の基幹産業は漁業ですが、震災前でも漁業とそれを扱う加工業も大変な時でした。それを経営者は頑張って維持してきました。今、工場等も全て壊滅したとき、これからどれだけ自力再生出来るか。働く場を作るためにも、援助が必要と思います。加工業だけではありません。商店の再生も同じことです。震災前、10年後には女川の人口が6300人前後になると言われてました。そうならないよう、水産会、商工会、みんなでいろいろ考えて行動してきました。平時でもマイナス傾向だったのに、この震災です。自分での再生というのは各自大変なことだと思います。構想は結構誰もが考えますが、そのいい構想を成し遂げるモノはお金です。それを国より県よりその他色々ファンドとか、復興に必要な金をどのように引っ張ってくるかが一番の問題だと思います。今回の震災は範囲も広い。皆色々考えます。構想倒れにならないようにお願いします。
18	女川町でも都市計画を一応早く考えている事でしょうが、まず第1に女川は漁港の街ですから防波堤並びに、海岸の整備又市場の魚を水揚げを出来るように早く進めて下さい。
19	•町の基幹産業である水産業（漁業養殖業）また観光産業の早期復旧。復興し雇用の確保が大事と思う。 •女川町は高齢化率が高いのでは早く公営住宅の整備を進めて、人口の流出を止める事が必要と思う。 •小乗地区高台住宅からコバルトラインへの避難を兼ねた道路が必要と思う。
20	がれき処理と共に道路も早く整備して欲しい。大型ダンプの通行が多いため、自動車や歩くことができない。出来ればバスの運行を多くしてもらいたい。

21	女川町づくりについて･･･漁業者の立ち上がりと、水産関連は、早いと考えます。但し港湾の復旧次第。一般の人達は町内に仕事がありませんので町外に出て行くと思います。商業関連の人達は、町民が少ないので商売が成り立たない。現在は石巻方面に出向き買い物をしている。商売をするにしても、仕入れが大変。町づくりのプランができても、人が集まらなければ町ができない。人を集める方策を町づくりと同時並行で進めないと町づくりは不可能でしょう。･･･交通プランを作る。（石巻線の開通を強力に進める）。水産。漁業。食の町。（食文化を発信する）水産の町。漁業の町。養殖の町を全国に発信する。食については、全国の名物食品を集めた地区を作り観光化的な発想を推進するのも町づくりの一環として考えてはどうでしょうか･･･？上野のアメ横のような･･･又建物は、函館元町のアスクリム屋の外観でテナント･･･etc･･･。そのほか。女川の石浜にある雨降り石の由来と海軍防備隊時代の逸話石にまつわる話等（高齢者は聞いている）伝説的な話。御殿峠の付近にある。貝殻の付着した岩。観光にはなりませんが面白い。女川は大昔、御殿峠付近は磯浜で在った事の証でしょう。　　町の財政について。災害で経済的に余裕がないのでしょう。原子力発電の稼動も出来ない状況で関連業種も撤退、商店は成り立たない。このような状況下では。町会議員の員数も減らすことも考えなければならないのでは、ないでしょうか。　　安全対策について。津波の対策は難物中の難物防波堤を建設するにしても、病院の山の高さにしなければ安全とは言えません。女川の平地の面積から物理的にも大変な工事。　　町づくりの基本は、まず人を集める事。財政は町の根幹。震災でゼロから出発なので既成の概念を捨てて斬新な発想で新しい町のデザインを考える。町並みのデザインは商店、民家など海上から見て日本的ではなく外国の港町を想像させるような港湾と町並み、財政の許すかぎり英知を集め町づくりをお願いしたい。三陸沿岸のモデルになるような港町。このような夢を抱きながら意見を述べました。
22	竹浦の港は、出島、寺間、桐ヶ崎、横浦などの船が利用する港なのに、なぜ拠点港にならないのか、船も18隻発注しているのに。
23	1.復興、復旧には時間がかかるとは思いますが、女川の町づくりには、水産業の発展がかかせないので早急に港や岸壁の復旧により、漁船の入港をし、活気ある港町にしていただければ、いつかと思います。 2.昔から女川には土地が少なく住む場所がないと言われてきましたが、これも早く整地し、住む場所を確保し、出来るだけ人口の流出を食い止め、各地に移動した人を戻すようお願いします。 3.行政の人達も大変でしょうが、これからもがんばっていだきたい。1日も早く震災前の美しい女川町になるよう祈っております。
24	女川の基幹産業の漁業を早く復興させるために、魚市場の再建が第一と思います。早くさんま祭りが再開されることは、町民のみならず全国の皆が待っています。モニュメントについて、広島のドームを見るにつけ忘れる事のないように必要と思いますが、1ヶ所か2ヶ所で良いのではないかと思います。運動公園内の遊歩道の整備についてですが、仮設住宅が運動公園に造られたり、高台に住宅が整備されます。町民の健康増進の為にも足で歩くことが必要だと思います。緑豊かな所に生活することは、財産であり健康に通じると思います。
25	率直にお答えします。あまりにも被害が甚大で、再建、再建と叫んでいるけど、5、6年では絶対無理。8年10年ではどうかしら。被災前の人口は1万ちょっとでしたね。電力の方を含んででしょ。現在人口何人かわかりませんけど、再建が遅れることに比例して、人口も減減だと思う。私含む高齢者は確実にかけていく。又、人口が少なくては収益が出ない。銀行も撤退すると思う。女川駅はどうかしら･･･。女川町は商工業より水産業に力を入れてましたよね。むしろ100％水産業の町にして最寄の港町を研修して日本にない珍しい新しい企画を考案して驚くような港町にしてくださいませ。

26	①女川町のガレキ撤去の対応は、石巻市よりも早く進捗していますが、他道県の業者をさらに導入させ、早期の撤去を希望します（宿泊場所の問題はあるが）　②復興計画（案）の答申を受けましたが、今後は、個別、具体的な取り組み（事業）、アクションプランを策定し、復興に向け取り組んでほしいと思います。　③産業基盤が復興しないと、住民はどんどん町を離れます。仮設住宅のメドはついたので、早急に産業基盤（水産加工業、商店街振興の支援）復興を行う必要があります。国、県などの補助率にかさあげをして、町の上乗せ支援も行い、早急の立て直し措置が必要と思います。　④水産業、特に漁業の復興も必要です。町の支援（補助金のかさあげ）も検討願います。　⑤JR,石巻線の復旧に関しては、仙石線の女川乗り入れも含め、検討して欲しいと考えます。　⑤地域の復興が8年以上要する場合、小中学校はガレキの中での生活で、幼少期を過ごすことになるため、特に子供達の精神的なケアや、少しでも多く楽しくなる催しなどが必要と思います。　⑥高台住宅を整備する計画（案）ですが、各地域（地区）から公共施設地域に到着（行ける）遊歩道の整備が必要ではないかと考えます。例えば、宮ヶ崎から山野を通って、（浦宿から北浦地域からとか）公共施設へ行くことができる遊歩道整備。
27	女川の復旧復興の最大要素は産業の再生、働く場の確保をいかに早く進めるかということにかかっていると思う。それによって女川の定住人口が見えてくるし、復興計画にも反映させることができる。特に力を入れるべきは水産業、中でもこれまで頑張ってきた浅海養殖漁業の再生と活性化を優先すべきと考える。これからは、資源がますます減少傾向をたどることが懸念されることから、つくり育てる漁業の重要性は今後更に更に高まってくるものと思う。先の震災によって、沿岸漁業は壊滅的な状況となり復旧、復興には相当の長い年月と莫大な費用が必要とするが、これから先女川町が生き残り、蘇るための最大の要素であると私は思う。懸念されるのは、財源の確保。東日本全体が何らかの形で被災したため、財源の奪い合いが想定されることから、可能なかぎり経費を圧縮し、事業の実現性を高める努力が必要である。最小の経費で最大の効果を目標に復興方針、更には復興計画の具現化のために町民一丸となって取り組むべきである。
28	私達が期待を致している秋刀魚の盛漁期に入りますが、秋刀魚船の受け入れ態勢の整備が必緊となっております。御存知のように、秋刀魚船には十数人の船員が乗っており、市場や、氷だけでなく、生鮮食品、水、燃料等の物資の補給が必要であります。現在建設規制がなされている現状では、それらの対応業務を行う店舗は市場の地域にはありません。離れた地域と船とのやり取りでは極めて不自然で不自由です。出来れば市場の近くに、仮設の建物とテントを合わせて使用でき、船舶仕込み業者が対応できる場所を提供できればと思います。今回は岩手県、気仙沼、石巻市等秋刀魚船の誘致には必死に取り組むものと推察され、魚の単価だけでは勝負が困難と推察され、船員利用の仮設浴場の設置等入港業船員への配慮が大事かと思います。なんといっても、秋刀魚を受け入れ処理能力の拡充が第一であります。万難を排しあらゆる制度の活用をはかり加工業界への再生に取り組まれんことを切望致します。
29	漁業関連に関しては、直ぐに復興と言うのは、難しいと思うが出来るだけ早い段階でお願いしたい。
30	病院、交通機関等をよく、また、食料品か買い物の店が少ないので、一日も早く復興してくださり、また、漁業の仕事も一日も早く出来る様に。故郷はいつまでも忘れられない。私達は故郷に守られた。また、故郷は私達を守っている。
31	早い復興を望んでいます。漁業従事者への支援を早くして下さい。
32	特区賛成です。人口減少、女川港の地形等、水産業、養殖業だけでの女川町の発展は薄いと思います。女川港の地形を利用して、海へのレジャー等に力を入れて下さい。特に女川港へ全国（世界）から人口が集中するような例えばヨットレースなど、将来が開けるような整備をする。元女川町住民が帰っても常に海へ出られるように、町、組合など話し合いは行っているべきです。特に漁業権は一部だけのものではありません！
33	浜に住んでいる者は再建は厳しく、この6月から水揚げ予定のものが何千万と流失て、（県、国）イカダ一台あたり援助があれば再建する人は増えると思う。

34	早く漁港や岸壁を直してもらいたい。
35	家族がカキ、ホタテの養殖業を継ぐつもりでいます。これからの女川の復興のためにも、漁業やおいしい海の幸、きれいな海をたやすわけにはいきません。できるだけ、今までのように水揚げができるよう、浜全体ががんばっております。海岸の早期復興、水産加工上、市場、安全道路確保再建、若い力が女川町を支える力になると思うので、これ以上町から出ていく人たちが増えないよう、職や希望をすてないよう、今以上に町、浜、・の人たちが、一つにならなければいけないと思います。予算の問題、生活するため生きるための費用の問題、不安、子供たちのこと、海の町でくらす以上危険だからと背をむけるわけにはにはいきません。今日のような犠牲者をまただすことはできません。安全の確保は重要です。にげ道、一本ではこんらんします。町民の意識、小中学校、保育所が町内の学校一つにまとまる(高台)ってむずかしいですよねぇ、保育所の今以上の高台への移転？
36	水産業を前提にしたまちづくり。
37	1.海岸整備一日も早く　2.道路の整備一日も早く　3.部落の整備一日も早く
38	漁業の事業化でも今から借金したくない為、働けたらそれでもいいと思っています。そうなれば便利な町場から通って二人で働けると思います。出来なければ土地を県や国で買い取ってほしいです。
39	代々漁師町としての発展を活かし、民間参入には反対し、「海」と共に生活してきた地域制アピールして内外への海産物のアピールをし、海産業の拠点として行ったらどうか？すでに行われている一口基金を”町”で行い町の特産物セットでお返し出きるような形ではどうか？町の再建で一番は財政面が厳しいと思うのでそれが町税に反映されたら厳しい。まずは、町全体の交通に関する整備で、生活道を安心して使えるようにして欲しい。「生活」する上では不便だと便利を考えてしまうと、町内、前生活区ではコストがかかりすぎます。
40	今後ますます人口減少が予測されます。先ずは雇用の促進を図り公務員等の賃金の格差の是正をしていただき、より多くの働く人達に給料等が配分できる様望みたい。又、港の漁業者人口が半減する恐れがあります。高齢という事もありますができる限り継続していくために希望を抱く様な施設(原発の放射能、水産特区、海中水のプランクトン、震災による泥水の汚染)等の不安事項を除去して安心して再度漁業に専念出来る様お願いします。漁業者として港に作業所の建設と背後地に住宅の建設を強く要望いたします。
41	町づくりの基本は老若男女の人々がいることだと思います。たしかに、女川町の産業は水産業メーンでそれに関連した人、すなわち水産関係者で働く人達が中心になると思いますが、それだけが重点でなく色々な人が集うコミュニティーを作ってもらいたいと思います。そうでないと年老いた人、女川の自然環境の下で暮らしたい人が戻れないような気がします。この点少しご配慮下さい。女川町民は総じて水産業の復興を願っていると思いますし、私も当然そう願っています。女川町の復興も水産復興なくしてはないと思います。私は遠い川崎市の被災者用住宅に仮住まいの身ですが、心はいつも女川、桐ヶ崎にあります。
42	一日も早く安心安全な町民の生活再建、水産業、沿岸地域の漁業の再生を願っております。
43	特区制等、最大限利用し、これまでにない町づくり、日本初と言われるような町が出来るよう取り組んでいただきたいと思います。
44	尾浦でホタテ、カキの養殖をしていますが、早く元の生活に戻したい。その為に漁港の整備、特に早く電気を通していただき、資材の加工等の養殖準備仕事をしたい。又、資材、稚貝の購入する資金が必要で、震災前に借り入れがあっても新たに漁業再建資金として借入すやすい制度を(3～5年継続して)作って欲しい。資金の支援があれば、早く復興でき、水産業から新たな雇用が生まれ、港町女川が復活すると思います。これがなければ、女川の人口は急速に減ります。

45	私たちの仕事は銀鮭養殖業、町の産業も水産業主体なので女川市場、また関連する氷製造、冷凍庫の復活を一日でも早く望みます。それに並行して加工業、商業も復興していくと思います。女川の各浜では震災前、カキ養殖が主流でしたが、津波よりカキ処理場が使用できなくなり、やむなく解体されました。今後養殖再建に向けて働いていても再び処理場を建てるのに自己負担金が高額なので各業者がかなり迷っているようです。このままでカキ養殖業者の再建は難しい。女川町の援助、助成を何としても望みます。
46	私は現在無職ですが（健康上の理由）女川の町は水産業の町です。まず市場へ水揚げできるようにしてもらいたいです。又、各部落の仕事が出来る様に港内の整備が最重要だと思います。
47	何年かかっても震災前の漁業を続けること以外考えられません。それも国や県、町などの支援次第で復興が早いか遅いかの問題でしょう。後継者もそのつもりでいます。行政などの一日も早い復興計画の決定を心待ちにしています。津波が来ても心配の無い高台に住み、近くの漁港へ通う、職住分離を希望します。
48	また、ホタテ、ホヤの養殖を始めたいのです。今は、ホタテの種苗を取ってますので一日も早く（イカダ）を流したいです。
49	港作りを早急に実施していただきたい。
50	女川は漁業の町だから第一に岸壁を速く整備して、魚市場加工場買受人等の受け入れ態勢を急げ。
51	女川町は先ず水産業から整備して、高台に住宅や商業施設を造るしかないと思う。
52	女川町は、なんといっても漁船が多く入港しているので、水揚げして水産加工業や各浜々の漁業が良くならないと女川の街（商業）も良くならないと思います。まずは、水産加工業の操業、海岸や各浜々の護岸工事などをしっかりすれば、8年計画より早く復興すると思います。
53	漁業を守る一人として、製造業の復旧と魚市場の早期復旧以外に漁業者の生活を守ることは出来ないと思う。特に高齢者の我々にとっては、新たなる仕事を求めるなどは不可能なことだと思う。そのため島に残り働けるうちはと思っている。その後は陸により、子供あるいは施設でお世話になりたいと思う。
（3）商工業の再生	
54	早急に各商業が入れる仮設のマーケットを建設し、町内で買物が気軽に出来る施設を。
55	女川町で働いていた次男、三男家族4人は、働いて食べる為に姫路に行きました。働く場所があれば、女川町に戻りたい希望です。一日も早く働ける工場等の再建をお願い致します。早い復興を願って居ります。
56	会社は休業状態ですが、この先給料が下がりますがなんとか解雇はせずに再建していくとのこと、頑張ります。直接町のまちづくり、復興に携わることはできませんが、影ながら応援しています
57	大きな会社が女川から撤退してしまい、働く所がない。職種を選ばなければ仕事はあるのかもしれないが、その収入では生計が成り立たない。家族を養える位の収入がある所で働く為には、町外県外に出て働くしかないのが現実。家を失った人はまず、住むところかもしれないが、仕事がなければ生活できないので、会社が再建できる場所を早く作ってほしいです。そうしないと女川からみんな出て行ってしまうと思います。

58	・活気あふれる町 ・仕事が出来る会社がある街 ・観光客を呼べるイベント、施設のある街 ・老後、安心して暮らせるよう、施設・病院の充実。
59	・住まいが一番重要だと思うが、商業を復興していかないと、町が立ち直る前に人がどんどんへっていくのではないか？ ・被害のあった建物を残すという計画を聞いたが、映像や写真で残せば十分なのではないか？それを見るたびに悲しい気持ちになる人もたくさんいる。
60	町外の店に行かないよう、商店を大型にして商工会員などで運営するのはどうでしょうか。ゴミ置き場にゴミを捨てに行く道路が崩れ落ちて危ないです。早急に直してください。お願いします。
61	自営業（商工業者）に再建する人に助成金を小額でもいいからくばってほしいです。
62	震災から6ヶ月になろうとしてますが、町長さんから役場の皆様には感謝の気持ちで一杯です。天災なので誰も恨んでいません。本当に現実に驚いています。出来たら私は自営業、飲食業、営んでましたが町の人に逢うと店を開かないのか言われますが、今の現状で出来るわけないでしょうと答えてます？でもこの町を豊かにするには私の店なども必要でないかと思われてきました。皆様ストレスがたまって大きい声を出したいと言っています。この女川にも昔のように明るい元気な町にしたいと思っています。女川の町が店もない。飲食業、サービス業もなければ町の人口もだんだん少なくなる事が心配です。力を出し合って頑張るしかないですよね。
63	衣食住の衣食は何とかできても住（仮設住宅）の設置が大幅に遅れてしまったのは大きなスタートの躓きだと思う。大切な時間を費やしてしまったと思います。仕事をなくしてもう少しで失業保険も切れて、これから生活する上で大事なお金を稼ぐ所もないのでは大変な事です。早い女川町全体の復興も大事ですが、今一番望んでいるのは早く仕事が出来る場所が欲しいと思います。とにかくお金がなくなることくらい不安な事はないと思うので、工場を早く建設できるよう容認し仕事を下さい。住む所は後でも良いとして、仕事ができる場所を早く作ってください、お願い申し上げます
64	・問2－8同様　　・個人別の商店などもいいのですが、1つのスーパーみたいに、その中に個々の店が入り、（塩釜、中卸市場の様に）1箇所で全部、用事が足せたらいいのでは？私を始め、石巻方面への買い物がほとんどなので、一つに集まっていればいいと思う。コンテナスーパーではまだまだ足りない。　　・町の世帯数も減っているのに、町会議員をもっと少なくすればいいのでは。経費もったいない。
65	・家の近くにスーパーがあると便利。 ・車の運転が苦手な為、早期電車の復旧をお願いします。
66	水産業、水産加工業などと同様に、商工業（商店、酒店、食料品店、建築下請、職人など）事業者にも、手厚い補助、助成をお願いします。高齢者の方が歩いて買い物できる町にしてください。
67	スーパーがほしい。水が上がる所があるので対策を
68	・水産業に、こだわりすぎだと思います。・他の産業も、取り入れたらどうでしょうか。
69	・ペット可の町営、県営住宅。・大きいスーパーマーケット（イオンやヨークなど大型店）。・太陽光発電の県営、町営、町の建物

70	今回の津波で被害はなかったのですけど、今生活するのに大変困っています。店がないことです。バスとタクシーで買い物しています。いつ店できるのですか。清水の方にも何か少しでも買い物できるような所一日でも早くできるといいですね。お願いします。女川の町は人口が少ないから仕方ないと思いますけど、何か楽しいイベントなどあったらいいですね。今の私の気持ちですけど、今回の震災で家族ともバラバラになってしまいました。今とても不安です。
71	•町営住宅のような町営の貸店舗を作り、誰でも商売がしやすいようにする。（石巻ホット横丁のような感じで数件） •女川に観光客が来るように今までの女川とは変える。人口の海水浴場を作る。キャンプ場を作る。 •ゆぽっぽのような入浴施設や宿泊施設を作り、季節関係なく観光客が来るようにする。 •町並みをカッコよくする。 •若者の意見を聞くように。 •一部損壊の人へも義捐金。 震災前の女川に石巻方面の人が遊びに来るとすると、夏に塚浜に泳ぎにかみなと祭に来るぐらいであとはなんにもないので仙台、石巻人や県外の人も女川に来てもらえるように考えなければないと思います。町営でいろいろな施設を作れば雇用が必要になるし、観光客が1年中来るならば、商売もしやすくなると思うので、漁業の町だけじゃなく、若者が女川に住みたいと思うような町づくりをしなきゃ女川から人がいなくなると思います。そのためには古い考えを捨て新しい考え方をしないと漁業者や老人だけが残るような感じです。今がいい機会だと思います。
72	•公共施設等は出来るだけ一ヶ所に建設お願いします。•商店は一ヶ所で買い物出来るように大型建物にまとめた方が良いと思います。•子供達（孫）通学（石巻の方の学校）が出来るように早期お願いします。（JR）
73	•女川町内にスーパーが欲しいです。　•近くに郵便局（簡易）などがあれば便利です。
74	新しい住み良い町づくりとして、役場等の公共施設、病院、銀行、スーパーマーケット等の店舗が同地区内にまとまっていて、その回りに居住地があれば、ご高齢の方でも大きな移動をしなくても一度に用事がこなせて、簡単に利用できる。利便性に富み、よく整備された住み良い町づくりを望みます。円形の中心部に色々な施設があり、その周りに放射状に居住区が整備されているような形態。
75	水産業だけでなく、工商業の企業誘致も視野に入れたゾーニングも必要と思いました。ゼロからのスタートなのでいかようにも土地利用は考えられると思います。南境•稲井とを結ぶバイパス通りは切望です。商業発展には必要です。住宅に関する部分は早く何とか決まって進めてほしいです。5畳一間の仮設に2人で暮らす事に限界を感じています。早く家を建てたい。原発に関しても今後を明確にする必要はあります。原発無しでの復興は予算的に厳しいでしょうし、雇用の減少も必至。それを見越した計画も視野に入れてほしいです。新エネルギーのプラント誘致とか。
76	女川は石巻と比べて物価が高いと思う。買い物は車でいってもガソリン代が浮く程安くわざわざ石巻迄買い物に行きます。他の大手のスーパー等、又はホームセンター的な店を誘致するのも一つの方法だと思います。
77	一日でも早く職場で働きたいな
78	私は仕事については年齢も70才ですから、考えられませんけど、若い人達の仕事を考えると仕事のある女川を要望します。一日も早い復興することを願います。私たちも前向きになって前進します。住みよい女川町としてがんばります。
79	どういう形でもいいですから、今までしていた仕事に就きたい。知人や親類の方たちと変わらず一緒に働いていきたい。

80	女川町にスーパーとか病院を早くたてて町民を早く町にもどれるような町にして下さい。そうしないと年よりの人達は毎日不安ばっかりです、一日も早くおちついた生活にして下さい。
81	町内に住みたいが、お店がないと大変不便です。
（4）新たな雇用の創出	
82	この度の震災で女川町の中心は壊滅的な被災されましたこと、本当に残念でなりません。又、建物だけでなく、多くの犠牲者まで出たことについては本当に残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、一丸となって復興に努めなければなりません。今、復興委員の先生方は懸命にご努力されているところであります。私もこれからの住宅地については、やはり津波に安全な高台に限ると思います。それと同じに上下水道や電気などのライフラインが十分に行き届いた集落であるべきと考えます。したがって、町民は常に津波に対しては少なくとも安心して暮せる住宅地でなければなりません。又、今尚避難所生活をされている方、仮設住宅で暮されている方が多くいらっしゃいます。私は、人々の本当の幸せは住宅だけでなく"住宅プラス職場"ではないかと思います。今、仮設あるいは持家であっても、生活費は自分で捻出していかなければなりません。住宅だけの復興をしても、仕事が出来ないことには真の幸せとはいえません。何とかできるだけ多くの雇用を生み出す会社の復興を支援していくべきではないかと思います。
83	仕事をしたいが年齢が高齢になると仕事がありません。現在67才ですが年齢によって仕事がない。
84	今の若い世代の人達が女川から流出しないで働ける企業の誘致、大事な水産業界、観光、商店が前以上に賑わい、他の地域から人々が来てくれ、そしてこれから女川を担う子供たちが安心に暮らせて女川で留まり女川でガンバローとする魅力のある町にしてほしいと思います。ふれあいのある町が私は大好きです!!それと女川の源泉（旧ゆぽっぽ）は大丈夫なのでしょうか？もし無事であれば、例えば、さくらの湯みたいな大きな施設を作ったり、女川は年配の人が多く、一人暮らしの人たちのいますので、源泉つきの老人ホーム（そういう感じ）建設がよいと私は思っています。何度も足を運んでくれる魅力ある町作りをお願いします。最後に、石巻に行ける道路の確保をお願いしたいです。
85	壊滅状況に合った住民の間で、今、盛んに話されていることは、危機的な不安ばかりであります。井戸端会議的な場所で話し合われている声をありのまま、まとめてみました。深刻です行政の適切な対応が急がれます。複雑で大変でしょうけど、真剣に対応しなければなりません。私は、自分が代表を務める組織の運行責任は99%代表にあると公言し、それを自分の命を賭けで実行してきました。行政にもそういう姿勢と気概を強く要望します。 •働く場所がない、その見通しも立たない。 •建築制限があり住宅の再建もできない、資金もない。 •毎日押し寄せる高潮のため住み続けられない。 •放射能漏れという危険な原子力発電所があり、とても住み続けられない。だから女川から出て行かざるを得ない。 •現状では子孫の安全にとても責任もてない。将来不安が強まっている。 私はビホロ会館という活動拠点が壊滅したけど、大震災に絶対負けることもなく、家庭と事業の再生、地域の復旧、復興のため自分の全てを懸けて戦い続けます。「笑顔あふれ、持続可能な女川を形成していくため」。行政の皆さんもお体に気をつけ、新しいまちづくりのため、住民と協働して戦いましょう。サラリーマン、雇われ者根性から脱皮しましょう。地域再生に体を張りましょう。
86	•高齢化率が高い女川町は、若者の定着する仕事場を確保してほしいと思います。高政様の再開は復興の一助で多いに利用させていただいています。 •自宅再建が不可能な時は復興住宅（町営住宅）に入居することも考えています。（世帯主が年金生活になるので）

87	若い人の働き場所や60歳過ぎの人達の仕事場が早く欲しい。早くしないと町を出て行く人が多くなる。
88	災害前の町のようにしてほしい。多くの町民が住む町（働く場所の充実）。仕事場が無くては居住する人も少なくなると思う。
89	震災で仕事場を失った方々が再就職できるように、仕事場の確保をしてほしい。避難場所や仮設住宅で生活している人達は重要視されていますが、避難場所から在宅に戻って生活している方々にも健康相談や心のケアが必要ではないのでしょうか？　金融機関再建を要望。※上二区は民生委員、区長さんが不在です。町内の情報は町内アナウンスと広報のみです。区民には広報が届きません。一有志の方に配っていただいております。上二区にも世帯はあります。忘れないでほしい…。
90	若い人たちが一刻も早く、仕事につくことができるよう、お願いします。
91	女川町では仕事がない。
92	町内の人が町内で働ける場所があれば良いが、町外から働きに来ている人の方が多いような気がします。今回の震災で、石巻市では、震災時に石巻市に住所を有する人を採用というような形をとっていたようですが、そういった対応等は町民が離れていかないようにするには良いと思いました。女川町ではどうなっているのかはわかりませんが…。
93	住宅の再建は各家庭の状況によって様々なので、まずは町内で働く場の確保が先決と考えます。
94	若い人の雇用の安定が女川復興の条件と思いますが個人的に仕事を探すのが大変な時期です。町政が率先して臨時でもパートでも何でもいいから若い人に仕事を与えてやってください。
95	高齢者への働く場所を。
96	•若い人達の雇用のある町にして下さい。 •リアス式海岸の景観を上手くとりこんで町外からもドライブし、行きたくなるような魅力のある町にして下さい。 •大好きな女川町の復興を心から願っています。がんばって下さい。祈ってます。
97	家族全員が女川町で働けることを望んでおります。面接などをしても中々雇っていただけないので、困っています。町内に仕事がないと、町外に住まないといけないのかと心配しています。どうか、町内で仕事が出来ますようにお願いいたします。
（6）産業その他	
98	駅を中心に大型スーパーの中に郵便局銀行各商店のテナント、飲食店等、1箇所で用事がすむように道路を広くし、子供たちが女川に行こうと話せるように、石巻より早く前に進む事を願います。
99	スーパーとかあればとても便利いいです
100	町が復興したら、又同じ仕事をしたいが店の物はすべて流され、行政の助成がないと無理だと思う。
101	町内の津波で流されて悲しい思い出ばかりになってしまった女川。それではいけないので、立ち上がろう女川で、女川の駅から総体付近にかけ、ただの遊園地ではつまらないのでディズニーランドを作ろう！！またはユニバーサルなど…。活気もあふれ、帰りには水産物をおみやげに買う人も増え、女川ににぎわいのあふれる明るい町になるよう祈ります。

102	・町外へ避難している町民が早く帰ってこれるような町づくりをお願いしたいです。　・女川町は「お祭りの町」だと思うので、お祭りの回数を増やして、町民が集う場、憩いの場を提供して頂きたいです。　・運動場を開放して、スポーツを通して町を活気付けるようにして頂きたいです。
103	女川の町を作るにあたって基本となる産業、それは漁業かと思います。それに伴って、加工業、商業とつながっていく。震災前のように個人個人が勝手に自分都合利益だけを求め、都合が悪いと企業のせいにするというのではなく、子々孫々まで安定的にリスクの少ないやり方をこのチャンスに変えてやっていかなければならないと思います。我が知事が言われる特区及び法人化といったものを本町がいち早く取り入れ老いも若きも漁業に携われるようにする事が女川町がいち早く発展していくし復興してのです。一部抜け駆けて好き勝手行動する方がおるかもしれません。それを押さえていくのも組合であり、行政の仕事とかと思います。わが町も後世に反省点を残さぬよう強い指導を持ってやっていこうではありませんか。

合計103意見

3. 住みよい港町づくり《住環境》

(1)応急仮設住宅の確保

1	要望を書いても聞いてもらえないと思う。仮設の役場にお金をかけすぎだと思う。町民の仮設にもっと力をいれてほしい。
2	現在すすめられている2階(3階)建ての仮設は、お年寄りなどを考えると、昇り降りが大変ではないでしょうか。ますます当選してもキャンセルしそうだと思います。早く避難所を閉めていただきたいし、第一小学校へも早く子供たちを以前のように通学させてほしいです。仮設入居を2年以上認めるような声もありますが、2年我慢すれば一小に戻れると思っていた子供たちは大ショックを受けています。避難者だけでなく、こういう子供たちのことも考えていただきたいです。
3	多くの人が奮闘され、疲れがたまり、心身に症状が出る人が増えてきていると感じます。復興と言えば頑張るものですが、今後とも積極的にボランティアの人に関与してもらい、体を休めたり、心をケアしてもらったりするのを、まちづくりをしながらも続けてほしいと感じます。仮設住宅地域のバリアフリー化を進め、被災した人が少しでも外に出やすい状況、我慢しなくてもいい状況をじょじょにでも整えて頂きたいと思います。加工場を町の中心となって再建して、養殖業の再建の道筋が立つようにしてほしいと思います。
4	一日も早く、自分の家へ入りたいです。8月に入っても仮設住宅へも入れず、老いた母を連れ妹の家へお世話になり、今日か今日かとここまで、長い間世話になっています。きっと、私達だけでなく、こんな日々を送られている方々がいると思います。新しい町づくりも大切ですが、もう少し町民の心も考えて欲しいです。
5	仮設について •雨天時にヒサシがないため、雨や風が吹き付けて出入りがひどい。 •入り口の靴脱ぎ場のスペースが少しぐらいあっても良かったのではないか •お風呂のお湯の温度設定が付いていないため、使いづらい→急に熱湯になったり、冷水になったりするので危険。他の仮設は温度設定ができると聞いた。危険を伴うので統一してもらいたかった。今後、取り付けを検討してもらいたい。 •流し台の脇部分にまな板や物を置くスペースが欲しかった。これでは洗い物をしたり食事を作ったりしても置く場所がない。 •駐車場のスペースが縦列駐車する場所になり、中は広めに取ってあるが停めにくい。夜間は特に区切りのロープの線が見えない。戸数が多い為か、入居しても駐車場所の立て札がされていない。初日から他の車に止められたり、別の日にも他の車に止められて不自由な思いをした。仕方なく、自分で看板を作り、フェンスに取り付けた。他の仮設には取り付けてあるのに、手抜きではないか。 •地方の番組が見られないのは、この震災後の情報も入りにくいということなので、いまだからこそ見たい。なんとかできないものか。
6	女川町の考えをもう少し詳しくおしえて下さい。今の考えは、女川高校で話したことですのであの時から、女川町の考え方が前に進んでいません。もうすこし、今から二年ぐらいのことを考えてください。仮設住宅も最初のころのように、住みにくくなっています。もうすこし考えて、仮設を作って下さい。

7	安全な宅地については賛成です。しかし、町の方針が住民に届いてないのが現状です。仮設住宅についても大人2人子ども2人では、思っていた以上に狭すぎます。布団も4つ敷くことができず、子供の勉強できるスペースもまったくありません。現実の生活と町が考えている生活ではあまりにもかけ離れているのが残念です。1日も早く、今後の指針をはっきりしてほしい。改善できるところは改善してほしい。今後の未来を背負う子供が勉強などできないような所で生活をさせて良いものか親としては考える所です。数年後にはかなりの人口が流出すると思われます。本当にそれで良いのでしょうか。今後は危機管理能力を強化してほしい。危機管理能力とは？震災等が発生した時の防御とその後発生した後のケアです。女川町はどちらも不足。特にその後のケアがダメ。
8	•仕事先が仙台だったため、仙台の民間仮設住宅に入居させていただいています。現状は、仙石線の復旧のめどが立たず、高校生の通学が大変です。世帯数1つの仮設住宅入居となっていますが、人数も多いため、仙台と女川の仮設住宅に世帯数を2つにして入居させていただきたい。どうか良い返答をお願いします。 •来年には、震災前の同じ居住区に家が建てられるようにお願いしたい。精神面、生活面に対しても、長い年数はもちません。 •津波対策はもちろんですが、原子力発電は100%事故を起こしてはいけない。津波と原発のリスクを考えて、女川に住むか重要なポイントとなります。高台に集団移転とか後々しこりの残らないような方向を望みます。高台に避難、避難タワーなど、シミュレーションはありますが大事なことはいかに避難させるか（するか）だと思います。人が離れないように就業場の確保。どの地域も山が隣接しているので均等に避難階段などを設置。 •女川町営住宅を建てる事を希望します。一戸建てを新築する資金がない、または国民年金だけの収入しかない人は、これから家を建てられないと思います。
9	仮設住宅には家財道具を全てそろえ、アパート等には家電6点セットプラス2年間の家賃免除（援助）はされますが、それ以外の避難者には何の援助もないのですか？エアコンがなく暑いし家にやっかいになっていて一人増えると炊飯器、冷蔵庫等の容量が小さく困っています。被災者は皆、平等ではないのですか？
10	東日本震災では人間のほうがよほどむごいと感じました。地震等で3回の転校をよぎなくされ、なんかいも仮設をことわられ地元をはなれて家族が遠方にひきとられていきました。仮設にあたれは戻って女川でくらしたいと言っています。老も、若きも子供もたのしくくらせる町であってほしいです。震災の孤児になった子供達もたくさんいるときき心をいためています。女川はむごい町。
11	仮設住宅の申請をしてから4回も外れて、娘の仮設住宅にお世話になっていますが、とても待ちどうしく月日ばかりを追っている今、血圧の上る思いで毎日がノイローゼになりそうになり、とても苦痛です。もっと早い入居が可能ではなかったのでしょうか？また、せっかくの仮設住宅なのに、お風呂の温度がとてもぬるくて大変です。夏場だから我慢もできますが、冬場の事を考えると心配です。
12	仮設住宅の抽選について、どのような方向で行っているのかは知りませんが、老人や子供達のいる家族が優先的に入居できると聞いていましたが、そのようなことも無く、町の対応に失望し、女川に住みたくないと思うようになりました。この先も今回のようでは、町民の生活に不便をかけることと思います。もう少し町民に思いやりを。
13	皆様のご苦労は分かります。私達女川町が一日も早く、元の元気のある姿に、町から外に出たくないのが本心で、定年まであと少しです。行く先が不安で家が無い、お金が無い、老人ホームにも金がかかり、本当にこれからが苦しいと思います。どうしたらいいのか、わかりません。病院で薬を貰い、夜を眠る日々を過ごしています。仮設住宅にも慣れず、出島地区の部落で町内の仮設で生活したかった。また島に戻る人は別ですが。

14	仮設住宅の入居をお願いします。私も高齢で旭が丘にお世話になっております。まだ3回も申込しましたが江島からきてから7ヶ月もなります。お世話する方、される私も大変です。今度の住宅にはくれぐれもお願いします。
（2）町中心部の安全な居住地の確保	
15	1、現在の運動公園の敷地を宅地化する案ですが、私達全町民の自慢してきた施設を壊さないで下さい。現在の好条件の環境と広さ等多種にわたる施設配置は二度と復元出来ないし、これからも発生する災害時の対応場所として最適だと想います。 2、今回被災したビルの建物の一部をモニュメントととして保存する運動ですが、復興時に支障があると思います、又維持管理問題が発生し危険構造物としか見られません。 3、復興計画を早期実現する為、県の出張事務所を町内に設置してもらい町との交流体制を計る。（チリ地震津波復旧時に町内にあったのでその役割は大きかった）
17	被災されたか方々に対しての国や町の支援など次々と受けられるのに対し、自宅など一部の被災で済んでいる町民に対しての支援も、考えて頂きたい。その方々も女川町民、少なくとも被災を受け一生懸命生活をしています。支援金や義援金、支援を受けている方々の方が今では生活にある程度の余裕が出来たのではないでしょうか。支援を受けられない町民に対してもう少し耳、目を傾けて頂きたい。これからの子供達の学習、運動する場所の確保をきちんとしてほしい。避難場所の縮小を早くすべきである。
18	一部損壊であっても、自宅の方はけっこう被害もありましたが、何ひとつ見てくれません。大変でした。あぶないとの事で赤い紙をはられましたけど、一応は屋根だけ直していただいたけど、まだまだ大工を頼まなくてはなりませんけど、今いそがしいとの事で我慢をしてます。こちらの方にも何か見ていただきたいっと思います。浦宿であっても軒下に水が来ました。津波の水なので、どうかなぁーと思っております。
19	この度の津波は千年に一度と言われている。記録によれば869年の貞観の地震と同規模とのこと。東日本大震災とは1142年ぶりとなる。その間、明治の津波1896年（明治29年）、昭和の津波1933年（昭和8年）、チリ津波1960年（昭和35年）があったが、これらは2～3mである（浸水高）。これらの事から今後の復興が1000年に一回の18m余の津波に対応する施策では、その規模は計り知れない。早期の復興を考えるのであれば、平坦地のかさ上げは2～3mで計画し、所々に避難場所を設けて減災の方向性を打ち出すべきである。水産加工場の再開は急ぐべきであり、町の再興の礎である。
20	歴史的に見ても女川町は万石浦方面は意外と被害は少ない。交通の便等を考えても住居にしても工業地にしてももう少し目を向けてもと思うが
21	女川町では住宅地用地が少ないのでこの地区で活用できるところがあれば協力はしたいと思っております。
22	持家は、浦宿浜の国道沿いですが、高潮の際には、敷地内の排水路に入ってきます。いずれ床下～床上と浸水してくるのではと心配しています。万石浦に接している地域の高潮対策も金面的に考えて下さい。
23	どうでもいいです。町民の声はどうせ届かないし、叶わないから。町づくりよりも、一部損壊の世帯のことも考え検討してほしい。同じ危険家屋の赤紙でも、ある一部に義援金が下りているのにおかしいです。だったら、雨漏り、風呂場のゆがみ直しに来て下さい。他の地域では一部損壊への見直しもしているようです。
24	万石浦に面した地域に住んでいます。おかげ様で住宅は残り、以前と変わらない生活ができています。しかし今、高潮の被害に毎日あい、暗い気持ちで海を眺めて生活しています。高潮の度に庭先まで海水が湧いて来ています。女川湾に面した甚大な被害の所ばかりでなく、万石浦に面した地域の具体的な復旧計画、復興計画も一緒にお示しいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

25	私の住んでいる大沢には土地が多くあるため、何人かの人達に土地を買入したいと声をかけられているが、市街化区域のため、また、名義変更できない土地のため、その人達の要望に応えられない。その為町外に土地を求めた人もいる。せっかく女川に住みたくても、土地がないと言っている人もたくさんいるのが現実です。法律だから仕方ないが、どうにかならないものか！！
26	自宅のお風呂等が壊れ、住めない状態。そのほかにも壁が抜けたり、引き戸が3枚外れ、廊下の引き戸は8枚中5枚が動かなくなり、基礎等も大きく割れている。ブロック塀も倒壊。それでも一部損壊で何の助けもない。女川に戻りたいがそんな女川ってどうなの？と思う！　流出した人達も大変だが、残されて生活していかなければいけない人も、もっと考えてほしい。他の市町村では（雄勝）もっと被害が少なくても半壊のところがあった。
27	復興のゾーニングイメージについて、概ね良いと思うけど鷲の神に住宅・商業ゾーンはどうなんだろ？そもそも防波堤があって、あのダメージ受けたんだから、新しい防波堤にそうとうの信頼がないと、ダメなんじゃないかな？それと凹形の高台より凸形の高台の両サイドにいたほうが安全な気がする。ただ凸形っても、キーワードは流線形だと思います。いろんな地区を見てまわったけど、流線形の凸形に近い地区は被害が少ないように思ういます。女川町は完全に凹形の地形で、住宅地も奥に奥にするどい凹形だから、逆に凸にするのも後にじゃなくて左右にした方が…。物理的にいえば、アーチ状の構造は強いはずだから、鉄をダイヤモンドにするんじゃなくて、そのままの素材を工夫して丈夫にして欲しいです。んー上手く説明できないけど、防波堤と住宅の位置を先に考えて欲しいです。あと別に紙2枚付けました。
28	東日本大震災は各地にその爪あとを残しました。その直後、女川町の大沢地区に対する認識は「無傷」である。確かに町内の惨状からすれば「無傷」。しかし、地区内各戸では屋根瓦の落下、ブロック塀の損壊などや、万石浦周辺部では津波の浸水による床下浸水がありました。この地震で地盤沈下もあり、震災後、本日現在高潮に悩まされています。他地区では対策されている所もあるようですが、安住地区には嵩上げ処理が対処療法的に施されました。が、この工事により別のところからの浸水が見られます。どうか、切り捨てることなく、この地区にも目を向けてください。
29	今の生活の拠点は、浦宿、旭ヶ丘、大沢、針の浜といった万石浦に面した部分が大半である。なのに復興計画は女川湾の方面ばかり、JR浦宿駅付近の満潮時の道路状況や住民の方々の様子を町では本当に分かっているのか？早急に浦宿方面のかさ上げ工事、防波堤工事をせよ!!!住宅の一部損壊者へも義援金支給対象にして欲しい!!!雇用促進を図り、住民を町外へ出すことは避ける手段を具体的に示して欲しい。子供の通学、やはりがれき、冠水の中をわざわざ通わせるのは、いやです。子供もいやがってます。子供の気持ちも考えてください。それと早くJRの運行
30	住める所を確保したい。
31	住宅地について高台は当然ですが、もっと幅広く宅地を見て回ってはいかがでしょう。低い山を宅地にできる場所はまだまだ在る様に見えます。委員になって居る方は地形がわからない方が居る様です。机上だけでは分からないと思います。山（場所）に入って、足で判断して下さい。もっともっと場所があります。
32	高台移転については反対意見が多いように報道されていますが、無理に移転をさせようとしても反発されると思うので、道路を整備し駅を設置して「住みたい」と思わせるよう環境整備をしたら良いと思います。ゾーニングを中心にまつづくりのイメージが出来ていますが、道路という骨格をどのように通すか早期に提案したら良いと考えます。町が壊滅的な被害を受け、役場の仕事は大変だと推察します、頑張って下さい。

33	現在三部地方は市街化調整区域になっておりますが、この件を考慮してこの地区に住宅を建設する事を検討して下さい。この方法が色々な事案を考えるとなると最良と思います。この時期で間に合うはずです。
34	針浜の農地荒れ放題です。なんとか良き利用法はございませんでしょうか。老人施設とか宅地住宅など如何なものでしょうか。
35	女川町は、高台への住宅建設を考えている様だが、高台の整地は時間がかかるので震災（津波）にあわなかった浦宿、針浜、大沢などの平地でも住宅地ができるのではないかと思います。8年復興を目指している様だが、8年もかけていたら住民は町外へ出て行くのではないでしょうか。震災があった場所ばかりに目をやらず、震災がなかった場所でどうするかを考えるべきだと思います。今からの事を考えると不安な人たちがいっぱいだと思いますので、一日も早い復興を願います。
36	高台への住宅建設ではなく、被災しなかった針沢、浦宿、大沢への住宅建設の方が良いのではないか？　復興への時間がかかりすぎると町民も町外へ移り住む可能性もあるので、早急に住宅を建設できる場所を考えるべきだと思う。
37	・住宅地の造成について。旭が丘団地上部の山の造成。①旭が丘～針浜まで林道が整備されており、不測の事態に迂回できる。②JR浦宿駅、学校、保育所、老人施設等もあり、公害も無く自然環境にも恵まれている。 ・生活に直結する金融機関（郵便事業含む）の仮設店舗再開について　○企業努力だけでなく、自治体も一体となって早期の業務開始が必要である。 ・高潮対策に係る護岸工事について　　○針浜仮設住宅が建てられましたが、地盤沈下等により、現状では大潮に集中豪雨等が発生した場合、浸水が予測されます。
38	津波から町民を守るため高台への移転をお願いします。
39	旭が丘1-15-6　自宅地盤沈下がひどい。今後宅地造成工事には十二分に…地盤沈下のないように注意。
40	復興計画は町の中心部が中心だが、浦宿・針浜・万石方面の計画はないのでしょうか？避難道路が398号線とスーパー林道だけでは不安。石巻方面に向かう道路もしくはトンネルが必要、あわせてJRも女川から河北へ行く事も検討してほしい。8年後の女川町の人口はどれ位を考えているのか？
41	ゾーニングイメージの住宅・商業ゾーンについてですが、総合運動場はやめていただきたいと思います。何故かといいいますと、県下に誇る施設であり、今までそれによって女川は活気づいていたからです。各種大会や高校・大学の合宿などで随分使われていたからです。特に大会があると町内のホテルあるいは商店等はかなりの恩恵を得ていたからです。スポーツ施設ゾーンを別な場所に移すということになっておりますが、運動場は電源三法交付金で作った施設です。現在、国の方で脱原発などと言っている中で、今後もし女川原発もなくなるようなことがあれば、当然交付金はもらえずこのような施設も作ることができなくなるのではないでしょうか。こういうことからして現在の総合運動場は是非とも残してほしいと思います。宅地造成するところは、女川にも結構あると思います。例えば、奥清水、大沢、針浜等があります。また、旭が丘も造成する気であればできると思います（針浜側）。よろしくお願いします。
42	地盤沈下をどうにかしなければ何も進まないと思う。未来ある子供達が女川町に住みたいと思う様な町づくりを希望します。

43	・居住地域は安全な高台に移すべきと考える。平地の少ない女川では、山を切り崩し居住地にすべきと思う。 ・港は集合にするのではなく、今までどおり各地区に整備し、業業を営む。 ・道路を整備し、海岸近くを通らないようなルートを確保する。 ・太陽光発電を全戸に設置し、非常時対応の補助とする。
44	震災後の女川を見てがっかりしました。町の様子とは対称的に海はいつものように穏やかでした。鷲神浜、清水地区を公園にするのにはあまりにも広範囲で、一部は公園でも被災した場所に住居や店舗があってもいいかと思います。　女川の復興は、魚市場なくしては考えられません。まず、漁港の整備、マリンパルのような観光客を呼び込む施設の建設ができたらいいですね。このような津波は100年は来ないのではと考えています。　すべての土地の嵩上げは難しいと思うので、一部でも高くして、住居などに充てたらと思います。女川は気候もよく、海もきれいで住みよい町でした。魚市場を中心とした町づくり、各地から観光客が集まる女川町にぜひ期待したいところです。
45	①冠水のない道路を通して欲しい。山の方に道路は作らないのですか？　一つしかない国道では、今後の防災対策が不安です。　②町内での買い物だけでは物が揃いにくく不便である。車での販売、または仮設付近に簡易の商店など整備促進しては。御前屋だけでは足りないのではないですか？　③避難所が解除になったら学校も整備してもらい、子供たちの学習環境、運動するスペースを確保してもらいたい。　④仮設、避難所、津波被害の無い地域、それぞれですが、情報は不平のないようにきちんと流してください。学校でも1小、2小の違いで遅れがありましたので。⑤人数の少ない避難所は総体にまとめるなどして手間を少なくしたらどうですか。　⑥仮設住宅が建ち今までよりも人口密度が高くなり、子供たちが安全に遊べるスペース（公園、広場など）が不足しています。車との接触なども起きていて、非常に危ないです。早めに遊べるスペース確保して欲しいです。　⑦街灯つけてください。夜歩いていると暗くて怖いです。　⑧町立病院では今後専門医は置かないのですか？　今の現状だとあまり頼りにならないので、結局石巻に通院することになりそうです。
46	女川の人口が減少するのは目に見えていると思います。本格復興まで8年も要するのでは、女川から人がどんどんいなくなるのではと心配です。町内の高台の民有地を町が買収、用地造成を行うなどして、町営住宅、住宅地を安く分譲する（町に残ってもらうため町が一部助成する形）などを、すぐにでも取り掛かることが必要と思う。大規模造成では年数が掛かるので、5戸でも10戸でもまとめて建てられる場所でも良いと思うが。
47	女川町復興計画（案）の答申を実行してください。住宅地は高台に孫子代まで二度と災害は見たくありません。8月31日女川町議会と県議会大震災対策調査特別委員会が町役場内で行われた意見交換では、県震災復興計画案に盛り込まれた「高台移転」に町議会より異論が出たようですが気にしないで実行してください。又女川原子力発電所は今回の大震災で軽傷で済んだが福島原子力発電所のような被害になった場合はどうなったでしょうか、問題です。
48	女川町は、震災後の津波で甚大な被害がありました。今回家屋が流出した地域の居住の高台への移転を早急に実現してほしいと思います。大潮になると浦宿、安住、針浜方面地区で地盤沈下したため冠水していますが、防波堤の整備、ポンプの設置で冠水対策をしてほしいと思います。女川町の家屋の罹災の判断基準が他の市町村と比べ厳しいと思います。震災で被害があり修理費用等で出費があります。一部損壊でも修理費の助成対象にしてもらいたいと思います。よろしくお願いします。
49	早く宅地や仕事が出来る所を作って町民の流出を止める事が大事だと思う。女川町も高齢化で5年先10年先をまっていては家もなにも出きなくなる。

50	自分の住家は高台にあり3月11日の津波では無事でしたが、地震で壊れて石垣の方が40～50cmくらい下がりました。住家を2部屋やられて柱が1本折れ土台も7～8ヶ所折れ、カベが落ち窓がしまらなくなり、大規模半壊です。高台は津波が来ないように、地震にも強い住宅地を、町民が安心して暮らせる町づくりをすることをよろしくお願いいたします。
51	今まで通り皆さん、自分の土地に住みたいと思っている人達が多いと思います。その思いを是非、実現してほしいです。自分土地で仕事をして行きたいと思っている一人です。
52	女川町が好きで女川から出る事が出来ない私は、自分の家を建てるのが夢です。女川復興のためには、震災前と同じ場所に建てるのは無理な事だとすれば変わりの土地が欲しいです。もしそれが叶わなければ他の土地に移るしかないと思っています。
53	女川町復興計画（案）には賛成ですが、住居を全部高台に移すというのには大変無理があると思います。人類は今まで自然との戦いと思いますので津波を100％防ぐということは出来ないと思いますとともに、高台に移しても様々な問題が出てくると思います。それよりも減災、埋め立て、復興の方が時間的に早いと思います。1000年に1度あるかないかの津波を防ぐと言う事は出来ないと思います。それと女川町から出て行った人達に女川町に戻ってもらえるような魅力ある町づくりを希望します。
54	一日でも早く宅地を確保していただきたい。一日でも早く我が家に戻りたい。
55	津波被害のなかった西二区の高台に建築制限がかかっているのは、おかしいと思う。
56	自分の土地がどうなるのか明確にされていないのに女川に戻るかどうか決めるのは判断がつかない。町は各個人の所有地の明確な計画を出してほしい。住む場所が無ければ女川には戻れないと思う。
57	住み慣れた場所に早期に町営住宅を望みます。JR石巻線の開通を早く！　水産業は町外に出ています。町内で仕事が出来る様に。
58	女川町復興案、良いですけど、財源は国、県。ちょっと待ってください。これ税金ですよネ。孫、子供に借金残しますか。女川町水産業で再建できますか。高台移転OKです。自然は女川町だけではないですよネ。東北全部とは言わないですが、森林がなくなる自然破壊ですよネ。異常気象、大雨降れば（考えると恐いですね）。今度の津波、千年に一度というけれど（東日本大震災）東北大学の先生が言っていましたが、何百年に何回か、三陸に大規模津波が発生していると言ってましたが、備えあれば憂い無しですが、人知を超えるも大自然です。女川の町は魚と原子力でもってきた町ですから、原発が働かないことには。ただ、福島県みたいではダメですが。
59	高台の移転を進めてほしいです。防波堤を高くしてほしい。一日でも早い復興、若い人達が安心して働けるような環境がほしい。

60	復旧事業や復興に向けた時間があまりにも長すぎる。町民がそれまで待てない仕事がない。生活費がなくなる。女川から皆離れていってしまします。もっとはやくせめて住宅地を整備して、仮の仕事も出来るように経済的な面も国、地方、町で早期に支援しなければ、女川から離れて人口は前の半分以下になるでしょう。簡単に7～8年で復興させると言いますが、それまで町民は耐え切れないと思いますよ。とりあえず3～4年で復興させてほしいです。女川が土地がないので港全体を埋め立て、堤防があった場所から新たに外側に新漁港を作ってもいいのではないですか！漁港だけでなく、工業地を作り雇用の確保も重要なことだと思います。水産業だけではだめです。
61	早急に住宅地（土地）を確保しないと町外へ出てしまいます。一度出た人は戻れない（戻れない）と思います。
62	一日早く復興方針を成立してほしい。自分所有土地は、どうなるのか、早く決めてほしい。国と健の話し合いをもうすこし回数を増やし中身をふかめてほしい
63	高台に所有地があるので、早々に建築許可が欲しい。
64	角浜地区の後背地の高台へ居住地を希望します。土地利用ゾーニングイメージの地図を見ますと、角浜地区に居住地がないので検討して頂きたいと思います。日蕨地区がスポーツ施設ゾーンになっていますが、宮崎の山と第一中学校の山の間に防波堤を作り、川には水門を取り付け、又出来れば防波堤を二重にすれば津波は食い止められると考えます。そうすれば今の総合運動場を壊さないで済むと思います。魚市場は宮崎地区から角浜地区へ移転した方が良いと考えます。角浜地区の岸壁は水深があるので、大嵐やしけ等のとき、漁船は皆、角浜地区へ避難するようです。昔は角浜地区に魚市場があったと記憶しております。
65	出来れば女川に住みたい（代替地が無い場合は町外へ）。とにかく自分達の住む所がほしい。仮設は狭くてどうしようもないので、自分の家を1日も早く建てたい。まず自分たちの住む所を造ってから、町づくりを考えたい。
66	仕事は町外で従事しており、女川町に住居を構えている家庭です。もちろん女川町の漁業、事業所、観光も大事ですが、住居を早急に進めて欲しい。女川にすみたいが、離れざるを得ない。
67	高台移転については基本的に賛成である。想定される津波の高さによって住宅団地の高さが決まると思うが、10mなのか20mなのかのどちらを想定するかだが今回の津波は防波堤が機能したとしても地形的に20mに達したと思う。しかし20mを想定した町づくりは物理的に金と時間かかる。千年に一度の津波といってしまえばそれまでだが、想定する津波の高さを10mとした町づくりを考えて、20mの津波がきても構造物件によって減水対策と引き波の威力を抑えることで住宅地が冠水程度で済む。壊滅的な被害は免れるのではないかと思う。例えば、自宅にいて津波が来た場合、一階まで津波が来ても二階に避難すれば助かるといった程度で20mの津波が届かない高台を作る必要は無いと思う。ただし、女川地区のように運動公園が利用できるところは問題ないので、女川地区以外の宅地についての提案である。

68	先ず、自分の土地（財産）は大丈夫だと安心させること。わずかな光明でも見出せるよう早く告知する。個人、企業の野外流出を防ぐ必要から。雇用確保のため、企業誘致との考えに立ち、立地環境整備を最優先とし、投資しやすい政策の実施。全く無くなったと同じなのだから、港町＝水産業の発想ではない、全く新たな発想も必要ではないでしょうか？例　教育、観光、新エネルギー、IT等。
69	問4　本町の基幹産業である水産業の施設については、住宅地並みの高台への移転は、用地の確保・機能上・環境上も無理があると思われるので、住宅地と漁港施設・湾岸施設との、中間の高さに設置されるものと思われます。これらの事業所の車両や、ここに勤務される従業員の車両、乗り合いバス、観光・視察のためのバス・個人の乗用車、復興のための工事車両等、数多くの車両は津波発生等の緊急時に、高台は居住・商業ゾーンとなっており、どこに避難するのか、女川地区、鷲神地区にそれらの車両の駐車スペースが必要と思われる。その一つが総合運動場ではないのか。また将来今回のような災害が発生したとき、救助隊がまとまって活動できるスペースが必要と思われる。このようなことを考えると、現総合運動場を、先行して住宅建設を考えるのは、まだ早いのでは。もっと地形的・現場を見て住宅・商業ゾーンを確保すべきと思う。切土を優先にして、谷間は架橋等により住宅地はなるべく途切れないように、出来れば。女川町の人が、なるべく多くの女川の人が、また女川に住めるように、そして他の町からも女川に住みたいと思われるような、町にして下さい。女川町復興計画策定委員会の皆様の、御健康と御活躍をお祈りします。
70	①町復興計画の詳細を早く決定し、職場の再建および住宅の再建が1日も早く出来るよう努力してもらいたい。 ②住宅地の造成について、鷲神地区を女川・清水地区などから分断しないような形態にしてもらいたい。 ③運動公園について、現在の計画では住宅にするようですが、全部を壊して別の場所に移設するようですが、費用的にどうなるのか。修繕など出来ないのか、陸上競技場などの復元には相当な費用が必要と言われていますが、必ずしも必要と思われませんが？　他の利用法を考えられないか。
71	かさあげ住宅地、一日も早く実行してもらいたい！
72	震災にあった、私有地の方向性を早く、示さなければいけない。
73	震災前と同じ地区の人達と暮らせるように集落を作ってほしい。
74	東京での生活を考えていますが、女川町が再建出来た時には、戻りたい、とも思っています。（勝手な言い分とも思いますが）　やはり、自分（親）の土地は離したくないと思いますので、（まだまだ先のことですが）　きちんとした形で返していただきたいです。代替地、金銭面のことなどとても心配と、不安です。やはり魚の町としての女川町の再建を希望します。
75	女川町をはなれ、仮設住宅で生活していますが。テレビや新聞で女川の事が出ると、すぐに気になり注意して見たり読んだりします。とても気になります。「女川にいる人たちがんばっているんだな」ととてもうれしくなります。こちらに住んでいると何の手伝いもできないもどかしも感じます。女川町のまちづくりの計画では、将来の女川の姿、また1000年に一度の津波を受けても耐えうる街の姿を考えての計画だと思います。十分に練られた計画だと思いますが、それをなるべく早く実行に移してほしいです。できる所から住宅地の造成を早目に。チリ地震と今回と2回も津波にあっている親に仮設住宅にいつまでもいさせたくないのです。ゆっくり広い部屋に住まわせたいのです。今はこの気持ちだけです。

76	土地、山林を多数所有しております。復興に活用して頂きたく、別途ご相談させて頂ければ幸いです。
77	早く恒久的な住宅の建設や就業の場所を確保しないと人口流出してしまうので早急に、土地の問題なども買い上げなのか、代替地になるのか、明示してほしい。
78	前の方で書いたと思いますが、本当は震災前の家に住みたい。でも震災の被害がここまで及ぶと、わがままは言えないと思う。やっぱり一番の不安は、どこに住めるのか？震災前の所有地の代わりに新たに前所有地くらいの所有地を与えてくれるのか？土地がないと家も建てられない。義援金は、まだ続くのか？本当、家も父も流され、1からの家財道具をそろえるのも正直、お金がかかる。もちろん家だって建てられない。女川町の町づくりは、高台でいいと思う。下の地区は、ある程度公園（例えば、みちのく湖畔みたいな？）海沿いなので水族館（例えば、横浜八景島みたいな？）道路は広めの道路で、渋滞が起きないように、2つは回避路を。なぜなら今後原発事故が起きないとは限らないから、防波堤は高いのもつくる必要があるが、二重、三重に防波堤をつくってほしい。
79	自己所有の土地はどのようになるのか？
80	現在二重ローンを抱えているため、住宅を求めたくとも求められない状況にあります。早急に土地の買い上げを切望する次第です。
81	復興計画案を見て思ったのですが、今回の津波の被害が少なかった浦宿を町の中心にした方がいいと思います。どうして、公共施設等を女川浜につくらなければいけないのでしょうか。浦宿を町の中心部にして住宅地をつくったらどうでしょうか。復興期間の8年に女川町にどれ位の人口がいて、どれ位の人が家を建て生活を再建するのか、できるのか、今後も定期的に住民へのアンケートをとり、本当に女川町に住む人が何人いるのか把握しておかないと、無駄になってしまう事ができてしまうと思う。安全な場所の宅地造成を早くして下さい。宜しくお願いします。
82	町づくりや事業の再開もいいが、自分の家（土地、建物）や家庭の再建の方がはるかに優先されるべきものだと思う。
83	私は持ち家で被害も一部損で済みましたが、今後この様な災害を繰り返さないためにも高台が望ましいと考えます。又、女川町は道路が狭く、子供達の通学路も無いに等しく、この際安全な整備がされたら幸いです。
84	•とにかくスピード感が重要です。早く仮設から出たいし、家を建てたいです。生活の基盤が整ってこそ、仕事にも励めます。 •必ずしも、高台移転が第一とは考えません。元の住居の土地を整備し、かさ上げするなりして、また、道路を整備して非難の方法を確立しているならば、同じ居住地でもいいかと考えます。スピードが大事です。
85	未来の子供達のために、居住区は高台への移転を希望します。10数年ではなく、何百年先を考えて。元の町に戻すのではなく、震災にも津波にも強く、しっかりとかさ上げをした港、道路を造って下さい。（今回沈下した所は、私64才が中学生の頃までは海でした）仮設住宅での生活を頑張っている皆様、何とか不満や不便な所があると思いますが、ここがガマンの為所、足並みを揃えて明日に向かいましょう。
86	自然との調和を大切にしたコンパクトタウンを目指すべきと考える。具体的には無用な開発はせず、遊歩道の整備、建築制限など、統一感の取れた建物とすべきです。

87	我々に分かりません勿論高台と思います。役職の方々には本当にご苦労様ですが専門家と話し合い後良き方向におねがいします。
88	安心して住める高台に生活の場を移すのがいいが、港など不可能なものも多い。前の赤、白の灯台のところをうめたて、コンクリートのがれきを土台に盛り土をして、植林し、20mほどの高台を左右両側に作る。船の水路があるので、津波は止められないが、遅らせることは出来る。その間に逃げることができればいい。その高台にガンダムの白灯台、ザクの赤灯台を設置、その他出島や江島にもモビルスーツを設置する。サンライズの協力が必要だが、ガンダム人気はすごいから、日本各地から観光客を集めることが出来る。
89	津波災害はやはり受けたくはないので、安全な高台へ居住地をまとめた方が良い。
90	震災前の土地所有権は、かさ上げ•盛土工事後どのように確保されるのか示してほしい。例えば減歩されるのか、換地となるのかなど。
91	早急に町の復興を望んでいます。（住む場所、仕事の確保）
92	震災前の土地に住みたい気持ち。誰もいない土地（荒れ果てた地）に住みたくない気持ち。8年も（長い時間）かかるとこの世にいる時間が少なくなる。
93	働く所と高台居住地を早く作って欲しい。居住地ですが、何年完成などはっきり明記して欲しい。
94	•全てが高台移転ではなく、現在地でも自宅の建設が可能な手法も考えるべきである。 •全てが国庫補助で出来るわけがないのであれば本町の財政力に見合った計画が必要である。 •各行政区のコミュニティの形成には神社の存在が大きいと考えたとき、五部浦•北浦とも集約できなかった。このことは市街地においても同じと考えるので高台への住宅地として石浜地区も考えるべきである。
95	女川町の復興計画では、高台を住宅ゾーンに向け、計画を立て、安心安全の生活が出来る町づくりのようですが、少子高齢化の時代すべての町民が楽しく暮らせる、町政を強く要望すると供に高台への生活道を早く実現させて戴きたい。現在高台で生活していますが道路が大変厳しい状況です。一日も早く、解消してもらいたい。
96	早く代替地を用意して下さい。
97	•女川町の地形を考慮し、想定外であっても従来町民の高台移転計画を念頭に置いた町行政、町議会に誰一人いない構想もなかったとの事、残念 •確実に人口減少は高齢化と共に目に見える　6千人か7千人か歯止め人口は早々の調査を。8年計画は大幅な人口減では、苦労も水の泡となる。若年齢層20～40代の意思を大いに引き出しつつ計画進行を思う。 •復興計画要員メンバーは町行事等においても常に同じメンバー苦労を味わうことが少ない方々と思う •机上議論で無く地に足をつけた再建を

98	総合体育館を取り壊し、移転構想には大反対である。その費用財源はどうするのか疑問である･･･？私なら、第一議に個人の土地（被災）を持主の土地として保証する。本町は山林は86％強の土地がらで山と山合い町である。高台移転する為には、山を削らなければなりません。それで高台に平地を造成するには、山のふもとから取り崩せば時間がかかる（年数）まず、、拠点造りをします（例）女川、清水、大原は総合体育館を拠点として周辺の山を山頂から取り崩して平地を造る。石浜、宮ヶ崎の拠点は水産加工団地、鷲神方面は周辺の山を山頂から取り崩し高台に平地を造成する。海岸周辺の土地所有者が高台に移転したければ等価で交換する条件付きで被災した土地の規制を緩和する。大きな川には所々に水門を設置する等、文面でなかなか表現することができませんがいろいろな方策がある。財源的にもあまり心配する必要はない。
99	知人は津波で家を流されました。（清水地区で）町の復興構想案でも、ギリギリの所でした。清水地区、新田地区に仮設住宅が出来たと言う事は、家を新築する事は可能なのでしょうか？（清水･新田地区他）今が復旧期なのは、良く分かっていますが、町民の不安を少しでも解決できる様に早目早目の見通しを周知させてもらいたいです。本当に御苦労様ですが、具体的な目標が無ければ、町民の流出は止められません。･･･と思います。1年でも1ヶ月でも1日でも計画より早い結果が出せる様に、行動を迅速にお願いします。
100	･高台への移転計画について　二千世帯以上の移転は、財政上問題が生じる。国の第三次補正予算で高台移転が認められたとしても、一部各自治体の負担が考えられ、その額が何百億円位になるのか？借金をし、町税を引き上げは生じないのか。そこで海岸より150m以上の距離があり20m～30m範囲に高台がある場合住宅の建設を認め高台の階段等避難道を整備するべきと思う。その為には堤防を高く強固にし、国道398号線をかさ上げに樹木等により、津波を弱める対策が必要である。 ･海岸近郊の土地利用について　この地帯にはサッカー場、ソフトボール場、グランドゴルフ場等町民が利用できる維持経費を必要としないスポーツ施設、中央に大駐車場を整備し、イベント事業に活用、併せて公園も行う。建物建築は会社関係何社が入居し、鉄筋の建物三階10m以上の建物、屋上には避難対策を義務付ける。商店街は町内二ヶ所くらいの集団で店舗を行う、ただし業務と住居は別建物とする。住居は高台へ。 ･JR駅について乗客が減少傾向にあり、町で示した計画では、建設費用等負担の問題がありJRが理解されるとは思われない。･町民への周知　実効性のある計画それらにかかわる財政面の数字、町民が理解できるできるだけ正確性のある計画を示していただきたい。
101	現段階では、イメージした地図でしか私達は知ることが出来ません。だからこそ、自分たちが居た地域がどうなっていくのか大まかなゾーニングイメージだけでは不安がいっぱいです。地域的に具体例が欲しい。復興の考え方の中での予測される世帯数の減少とありますが、今回、亡くなった方もたくさんいらしたと思います。その中で残ってる町民に戻って欲しいという思いも前面に出して欲しいと思います。委員会メンバーの中には、今後女川を担っていこうであろう、子供達（小学生、中学生、高校生）、10代の社会人、各年代から数人ずつ代表となってもらい、復興への考えも取り入れた方が良いのではないかと思います。今後は週末の休みは交替制にしたり、町民にもっと開かれた役所も目指して欲しい。
102	･女川町に住みたいですが、親が高齢のため、長い間待つことができない。女川町で生まれ育った者として、離れたくないか、現状としては他の土地へ自宅をと考えています。仮設等の入居も考えましたが（当たりません）自立するしかないです。様々な支援を考えていただく方も多いですが、私たちは支援もないです。不公平だと思います。以前は税金も多く納税してると思います。もっと、平等に支援をしていただきたいと思います。情報もありません。
103	同じ町民でも家を流された人と流されなかった人の温度差はかなりあると思います。失職した時は、この町を出て仕事を探す事をしましたが、仕事も見つかりここで暮らすと決めました。住宅地造成を早くお願いします。町長は話が長いけどリーダーシップがあると思います。頑張って下さい。

104	現在町外ですので情報が少なく、町が何を考えているのかわからない。代替地と言われるものが「いつ、どこの、広さが」教えてほしい。自宅の土地、買い上げの件の情報を知りたい。
105	①自分の所有地でも自分の思うように行かないことが予想されます。しかし長年苦労して手に入れた土地です。復興計画にあるよう高台に造成される市街地に代替として自分の土地を与えられることを希望します。この件は私個人だけでなく、多くの人たちが同様の考えと思います。自分の土地を持った場合、自分自身の力では持家を建てることは無理ですが、子供たちが女川に帰ってきてこの土地に家を建てると考えています。 ②女川町を元に復旧させ、復興することは非常に大切なことと思います。我々高齢者の力では難しいことです。若い人たちが女川にとどまり、復旧、復興させることが大切と思います。その為には先ず、住む所働く場所がなくてはならないと思います。一日も早く高台を造成し、市街地を作り、住宅を建てられる状態とし、主幹産業である水産業を復旧させ、若い人たちに職を与えることが必要だと思います。もしこの計画が遅れると、若い人たちが流出し人口が減少し、女川町が成り立たなくなると思います。H25年といわず計画を前倒しして進めていただきたいと思います。
106	所有地の処分には場所によって違うと思うが、今後どのような方法で決められるか心配で、気がかりです。場所によって金額はどのように裁定されるのか知りたい。
107	・所有地について、今後どうなるのか、分からないので教えていただきたい。・津波が来たことで、今まであった場所に家が建てられない。年老いた母親一人が残され今年どうしたらいいのかも悩んでいる。家を建てるべきなのかどうか・・・？
108	所有地が、どのようになるのか示して下さい。
109	女川町のお金も無限にあるものでもないのだから、既存の体育館や陸上競技などは、これまでの利用頻度をみても現状維持で、修理すれば良いと思う。また、高台の造成については、山の材質、川や沢などの地形を最大限に考慮して行ってもらいたい。（以前、沢だった所に盛り土をして造成し、家を建てた民家が、現在湿気等で困っていることを聞いた事があるので・・・）　女川町復興計画策定委員会メンバーは、どこかの今日教授、どっかの理事長、どっかの会長だけでなく、ユニークな人選方法がなかったのだろうか？また、今の委員会に下部組織をつくってたたき台を提出させるなどしても、役色（役職）の強いメンバーだけというのが、いかにも役人の好む無難なメンバーだと思うので、他市町村とは違う味付けがほしかった。
110	現在複数のエリア分けがされていますが、エリアの中の中心地のような場所を決めていくのも必要かと思います。女川のように人口も事業者も少ない地域で活気を持たせるには、集中的にものを配置することで人も集中させることが重要だからです。道路や駐車場も中心地を決めると配置しやすいと思います。水産加工エリアからも市街地を通らなくていいような産業道路的なものがあるとより通行がしやすくなると思います。　災害遺構の中心部の建物は期間を限定（5～8年）して保存すべきと思います。（研究価値はいずれ無くなります）その代わり、浸水区域の目印として、境に町の桜を植樹して、春の行楽シーズン限定の観光の一つとして、一目で津波の到達点を分かりやすくする方が、後世への教訓として残しやすいと思います。　女川の魅力は、港町らしい「活気」です。そのためにも若い人に残る、移り住む気持ちを起こさせるよう、意見を積極的に求めて、自分たちが再生した町として愛着を持って貰える町づくりをお願いします。

111	壊滅的な被害を受けた町を美しい町並みに一度は足を運びたくなる町に変えて下さい。①海岸線は、地中海、それともハワイを思わせるような絶景に。のんびりと散歩する人達でにぎわうポイントにする。②高台に建つ家々は高さや色を揃えて、海。山々にはえるものにする。③商業地には津波にも耐える高さ、強度を持つ避難ビルを設ける。復興計画では住宅再建先行推進地区として現在の総合運動場をあげていますが、津波前の女川で唯一残っているのもこのエリア。メモリアルという言葉で津波の恐ろしさを残すのも一つですが、メモリアルとしてウォーキングをする人達で賑やかだった陸上運動場付近を町民の心のよりどころとして残すことも大事なのではないでしょうか。現在の居住地を広げていくことを先行した方が良いと思います。（宮ヶ崎・鷲神浜、小乗浜、旭ヶ丘西部）。暮らしていく為には安心なくしては考えられません。湾内の整備、津波を少しでも遅らせる防潮堤の建設を早急に行い、町内の人達が他の地域に流出しないようにすることも必要だと思います。
112	7月31日時点は石巻の次男の家に居たのですが、8月25日時点では女川に戻り、移転再開するので事情が違っております。店舗は場所を選ぶので、借地でもかまいませんが、住宅分は代替地で以前よりも少なくても良いので、所有地（戸建）が望ましいと思います。
113	自己所有の土地はどうなるのか心配です。
114	外国の歴史的な街を訪れると、坂の上の街、山の上の街をたくさん見かけます（防衛上）。今回の津波が1000年に1回とはいえ、30年ごとに中規模の津波は来ていました。それに対する備えは十分ではなかったというのが今回の最大の反省点です。したがって、街は山の上でも結構だと思います。しかし居住地地域交通網を整備する必要があります。これは全国各地の自治体を参考にされるとよいでしょう。父は今年90歳ですが、私（子供）がぜひ住んでみたい町になればと期待しています。女川はなにより魚が美味い。ぜひ復興に成功して都会に出ている者たちがUターンしたい町にして下さい。そして将来的には原発のない町になればうれしいです。
115	居住地は高台に用意する。水産加工場、市場、商業地等は山を崩し地盤の括上げを急ぎ、企業の再起を呼びかけなければ10年、20年でも復興は望めない。長引けば長引くほど労働人口は減少におちいり、町の人口も減る。学者の理想論と現実は異なる。環境問題は後からついてくる。
116	個人所有地への対応策の早急化、それにより今後の住宅再建対策が決まってくる。
117	現在の自分の土地がどうなるのか心配。買い上げされるのかどうか？　高台に移転する場合、今までと同じ面積の土地がもらえるのかどうか？　いつごろ家を建てることができるかどうか？知りたいことはいっぱいです。多くの情報が欲しいです。とにかく女川町には高齢者がたくさんいるので、少しでも早く女川町に家を建てれるようにして下さい。「死んでからしか家は建てられない」という年寄りの言葉に何も言ってあげられないほどくやしいことはありません。
118	女川町は災害に対する安全な高台が少ないといいますが、裏山に持ち山（共有林）があるのでその辺を開発し利用したら良いと思います。前のように活力のある町に戻すには何と言ってもスピード感を持って復興してもらいたいです（瓦礫の山がいつになっても消えません）。これまで長年住んでいた（自宅の）土地がどのようになるのか（価値があるのか）早急に指針を示してほしいです。それによってよその市町村に移転するか、このまま町内に住むか区切りがつきますので。
119	①津波の被害を受けない高台の住いで、安心して暮せること。 ②多種多様な仕事があること。水産業等で仕事をして生活が送れる方はいいのですが、それ以外でも仕事があり生活が送れること。

120	高い所（安全に住めて、皆で働ける場にして欲しい）海岸を高くして、ビルをたて、下は役所や働ける場所、上は住みところにして欲しい。復興を一日も早くしないと、町民は離れてしまうと働くところがなければ戻れません。
121	両親が築き上げた土地を離れるのは、十分考えました。石巻市で福祉の仕事についていますが、高齢者にやさしい町づくりをお願いします。又、土地の建築制限がある以上、戻っても生活が出来ない為、妻の実家を立て直し、石巻市民にならざるを得ない。女川の土地は、別宅に考えています。
122	沿岸部のかさ上げや道路の整備、商店の誘致などを早急に行ってもらいたい。津波で侵食した土地の区画整理事業を急いでもらいたい。土地ががあるので価格に関係なく、町等で利用するのであれば買い上げ、借り上げなどよろしくご検討願います。
123	壊滅的な損害により、個人、事業者の資産、財産が一瞬にして失ってしまい精神的なダメージも含めて、再建への道筋も考えられない町民がいると思います。新しく町を作り直すことは今までよりも住みやすい環境にすることが町に残れる条件だと思います。住みやすいとは町民それぞれで感覚は変わりますが、安定した生活ができることが基本だと思います。安定した生活ができるための女川の復興計画が提示されることで町に残れると思う町民も多くでると思います。そのためには国の支援なくしては実現できません。町民の再建には地盤が沈下して住めない土地の買取問題、二重ローン問題など早く国の方針が決定しなければ再建への方向性も見えず判断ができませんので、早期に被災者救済の再建支援になるよう働きかけをお願いします。又、女川町として雇用の安定が図られるよう新たな企業誘致に積極的な姿勢を町民に公開していくことが重要と思います。
124	◎県外へ避難していたため、復興計画の説明会（公聴会）等に出席していないので、具体的な内容が分からないので、今回配布された資料に基づいて回答いたします。 ◎町の復興計画は分かるが、高台等への移転の計画で、その土地は有償なのか無償なのか、被災した既存の各人の所有土地はどうなるのか、またその時期はいつになるかなど、町民に具体的に説明してほしい。 ◎総合運動場内の施設について、今回の震災で修繕に多額のお金がかかるために施設を解体し、その跡地を住宅地の計画となっているが、何十億円と投資した施設をダメにするのか？当時運動場建設にあたり、土地を取得するのに大変苦労した経緯（町政を揺るがす問題もあった）があり、清水の奥に代替施設を建てる計画となっているようだが、そう簡単に用地取得が計画通りに進まないと思う。また、運動場は町民のスポーツなどコミュニティの場として、多くの町民が利用していた施設であり、今後とも町民が気軽にスポーツや散策などが楽しめる身近な場所として残してほしい。 ◎被災者は、今後どのような復興計画ができるのか不安が大きい（現時の土地に家を建てて住めるのか、住めないのか等）もっとスピード感を持って進めてもらいたい。復興計画・実施計画が具体的に早く提示されないと、町外移転者が増えるのでないか
125	両親が高齢の為父は介護老人保健施設に入所し、母も高齢で再建は望めませんので早急に土地等の買い上げをお願いします。
126	より具体的な計画（案）を早急に示してほしい。特に住宅地の確保（地区）や規制地区への取り組みについては、時期も含めて明確に教えてほしい。
127	所有している土地がどのようになるのか？　町で土地の買取ができるのか？　原子力発電がどうなるのか？

128	復興案の高台へ住居を移すのは賛成です。問題は、高台へ移転する際、各自の希望する広さの土地面積を確保できるのか？　土地の価格はいくらになるのか？建ぺい率がどのくらいなのか。復興案から先の工程が見えない。復興案の肉付けを早く示して欲しい。従来の所有地の件についても早急にどういう取り扱いをするのか示して欲しい。我々が復興案に対して先を考えることが出来るのは、従来の所有地の扱い方で各自が先を考える、希望が持てることです。町長が言った等価交換方式とはどういう事なのか？　同じ広さの土地面積なのか？　土地価格はどうなのか？我々町民は高台移転を賛成しても、その場所の土地の価格、価値に何の情報を持っていない。たとえ土地を手に入れても、そこに立てる家の価格を考えると出るのはため息ばかり！この先はすべて金がからむので町・県・国からの融資の件についても被災者に優遇される処置をとってもらいたい。この先は希望が持てるよう、早め早めの動きで被災者を援助していただきたい。
129	現在、石巻のアパートを借りてますが、やっぱり女川がいいです。亡き母の実家で経営しているアパートなのですが、仮設に住んでいる人達の事を思えば幸せなのかもしれません。でも早く、住宅地が出来たら女川に帰りたいです。今、住んでいた場所に行くと、段々水没していってるように思います。その土地が買い上げになるのか、それとも代替地になるのか、それが気になります。
130	女川町長は地元出身者であること。今回の東日本大震災において避難所生活（総体育館内）で、町長から何の言葉もありませんでした。こんな時こそ町長の励ましの言葉がほしかったのです。また、議員さんたちも被災者であるのはわかっています。住民の代表者らしい振る舞いが声掛けがほしいと思いました。女川町の町づくりとして。清水仮設住宅に住んでいる。地区内に盛土を終えたらプレハブでよいからコンビニストアがあったらなあと思う。鷲神と浦宿地区にあり遠すぎる。居住地の高台も安心であるが、JR石巻線はどのようになるのか。その点の説明がほしい。清水仮設住宅1号橋の奥は平地もあり、住居建設は出来ないか。新田仮設住宅の奥は杉山であるが、昔は田や畑が多くあった。その土地の利用（町有地）を生かしてほしい。30mの大津波を防ぐ手段はどのように考えているのか説明がない。佐藤良一議員さんの考え方に的を得ているようだ（報告会8月11日）。原子力発電所に頼る財政のあり方を考えてほしい。福島第一、第二原子力発電所の水素爆発が地元原発にない、とは言えない。私は3年前プルサーマル反対意見として女川町に文章を提出している。
131	いくら津波の災害を受けたからといって、そう簡単には、自分の土地かを離したくないです。またいつ来るかわからないこのような巨大津波のため、この土地を離れ高台に移ったり、他の土地に家を建てたいので規制を解いてほしいです。近所にいた人達も同じ考えの人が多いようです。スポーツ施設なんかいらない返してほしい。
132	町民の最大関心事は、いつどこに住宅を再建できるかどうかである。早期の住宅再建のためには、具体的な高台移転場所、建設可能な時期を早い時期に示すべきである。また、浸水した区域でも一定区域での嵩上げを行い、住宅の基礎の基準を設けるなどして住宅再建を認めるべきである。場所、年限が見えないと他市町へ住宅を求める人など人口流出が加速される恐れが生じる。
133	居住地は高台でなくとも、海岸から3km以上離れ、現在の道路より2m以上かさあげや盛り土工事をして造成したら良いのではないか。
134	・仮設住宅の入居期間が2年間となっていますが、2年以内に住宅の建設が可能となるのですか。 ・どれ位の期間で住宅地ゾーンが造成されるのですか。 ・造成後の土地が被災前の土地と単価交換になるのか、それとも購入しなければならないのか。

135	持家で個人の土地があるが、現在はがれき置き場になっている。津波で家も流され、これから先この土地を町ではどの様に対応してくれるのでしょうか？仮設に入居できたが2年後には退去しなければならなく、又住居を求めて探さなきゃならない時、手助けはしてくれるのでしょうか。引越しの時、手助けはしてくれるのか？など不安がいっぱいです。町の半分以上が全壊した状態からどの様な形で復興して行こうとしているのか、もっと町民と話し合いの場を作り意見交換が必要と考えてます。出来るだけ町民の意見を多く取り入れた内容の復興を目指してほしいです。
136	以前の様に近くに知人がいないと何かと不安です。できるならば地区の移動など希望します。こういうアンケートを高齢者に記入といっても誰かに頼まなければいけないし、近くに知人等いない人は大変だと思います。そういう事も考えて頂きたい。アンケートならば名前の記入は必要がないのでは？とも思います。震災前に受けていた、高齢者に対してのサービス等（食事提供など）早く再開して欲しいです。役場の人も大変でしょうが、高齢者世帯はとても不安です。早めに対応して頂きたいです。宜しくお願いします
137	総合体育館真下の小の坂地区を盛土し造成して（空地）に3階建のアパートなど建設計画に組み入れてはいかがでしょうか？　震災前の人数よりも多くの町民を確保できるのではないでしょうか（緊急時の避難場所も近いし）
138	被災地は家の傍は学校通学路で坂道で災害時は体育館が近く、避難もすぐ出来る。被災地に家を建築を考えている。出来れば町役場被災地の中台の利用も考えてほしい。土盛して家を建築する場所がある。被災地を土盛する資金がない。買物の出来る場所。旧役場の辺の中高の所利用。
139	自分の土地はどうなる？　代替地はよこすのか全然わからない！！　色々な会社が女川から出ているのに町は何もしないの？　2、3年工場を作るのはダメってそうしたら女川で働くところが無いってことだろ！　それから女川町に2、3年後に来てくれる会社はあるんですか。
140	高台にある私有地の山林持ち主と早く交渉し（多少の高額でも）宅地にし残土は町内の盛土にし工場を建設する。もし私有地主と交渉不成立のときは強制執行でも良いと思う。早くしないと働ける若者たちは仕事や住宅を求め他市町村または他県へ移住する。早く高台に公営住宅を大大的に建設したら、女川に移住する人も増加すると思います。
141	仮設住宅が2年、3年後の住宅、又は自分の家に住みたく、女川の高台に土地を早く作ってください。
142	山を削って宅地を分譲してほしい！
143	高台での住宅地を造成確保する場合には、盛土部分について地盤強化（液状化現象防止等）を図ると共に、背後山地から流出する小河川についても、水害が生じないよう配慮されたい。安全安心な、そして震災前よりも住みやすい女川になることを望みます。
144	震災前の所有地が今後どうなるのか早く知りたい。
145	仮設住宅での生活は2年となっておりますが、土地が限られている女川にとって津波の上がらない土地といえばわずかです。清水地区（奥清水）を開拓したならば、宅地、商店も充分可能かと思います。これ以上人口を減少させる事はまちづくりとしても、先行き暗いものがあります。この際ですから、若人が町から離れないようなアイデアで、是非このピンチを乗り切るべきだと思います。

146	津波で被災して、全壊となった土地を買い取ってほしい。
147	早く港町女川を復興してほしいと思います。住居の高台移転と、奥（清水2～3区）に移ることは必要だと思います。全流失地域も鷲神、清水地区ありますが、平地の少ない女川にとって山を削り全てを高台移転することは時間もお金もかかりすぎるため、早期の復興の妨げとなるばかりでなく、町外人口流出になってしまいます。早く町民に家を建設することの出来る場所、区域を提示して、余力、経済力のある町民にはどんどん家を復興してもらい元気になってほしいです。絶対女川に住み続けるという強い気持ちのある人々が、一人でも多く居る間に是非是非お願いします。漁港整備、水産加工場の復旧、二重ローンとかテレビ新聞などで言われてますが、一般町民ありき！！を忘れないでほしい！　原発については廃炉にしてもらいたい。多くの人々が経済的な恩恵を受けてきたけれど、福島のようになったら元も子もない。多くの欲と過剰な便利さばかり求めずに3.11を契機にして、私たちの生活も見直すべきだと思います。ですから原発に私たちの使う電気エネルギーは頼りたくありません。最後に、消防署が新築移転なった時に多くの町民が何であんな場所にと疑問を持ちました。結果あの通りです。
148	・早期に住宅地の確保　・所有地がどうなるのか　・大きな防波堤
149	現住所に住む事を強く希望しています。1日も早く町当局の住宅整備を強くお願い致します。
150	山をくずして住宅を造るのもいいが谷間の土地に当たった家はどうなるのか。震災で土地がくずれたらどうするのか。人々は助かっても、仕事場が海岸ではまた同じことになる。仕事場がなければ生活できない。防潮堤や防波堤を高くして町中心部及び住宅、仕事場全体をまもった方が良いと思います。仕事ができて生活が安定すると思います。女川町住民の声を最大級に参考にしてほしい。住民の声を無駄にしないでほしい。石巻の仮設から早く女川に戻らせてほしい。震災前にあった会社が戻ってくるように努力してほしい。通学が大変です。
151	被災土地等どのようになるのか説明を。
152	「千年に1度の大震災」という事が確認されたか、確認されつつある様だが、「明治や昭和8年の大津波」との間に被災エリアにどの程度の差があるのか、被災エリアに差があるのであれば、千年先に備えるのはじっくり時間をかけて備える様にして、とりあえず「明治や昭和8年」の津波程度に耐えられる様な街づくりという考え方も有るのではないだろうか？
153	町作りの安心安全はもっともであるが、幸い女川町は山に囲まれて女川湾（万石浦）を目の前に眺める事が出来る場所が何ヶ所かあります。同じ造成するなら、そろそろ場所を早めに開発して、女川らしい生活を出来る住宅地を安価で提供していただきたい。石巻地区、東松島地区に相当被災した方々が多いので、魅力ある住宅地であれば、女川町の人口減をある程度防ぐ事にもなるし、他町からの移住を期待できるのではないか。
154	道路復旧を早くしてほしい。女川で仕事が無い場合、他町へ働きに行くのに、水没箇所や未舗装の道を通るのは辛い。一日も早い住宅地の造成と現所有地の処分方法の確定をしてほしい。住宅地は各地区の山を切り崩して平地を埋め立てて、高い所に住めるようにしてほしい。

155	•今は子供達の生活、安全を思い、町外にいますが、女川に戻りたいと思う気持ちはあります。ただ、新しい仕事を町外でした時、またその仕事をやめて女川町に帰れるか、女川町で仕事があるか不安です。町外にいる人は、女川を離れている期間が長ければ長いほど、女川に戻る人も減ってくると思うので、早めに復興計画の案ではなく、決定したものを決めてほしいです。 •建築規制がかかっている土地でも、津波が上がっていない土地もあります。その土地に新たに建物を建てられるのか？　建てられない時の土地は買い上げてもらえるのか？ •町外にいると女川の情報が何も入ってきません。郵便局も、転送届けは出していますが、届くのに半月かかるので提出期限があるものだと期日をすぎてしまうものもあります。回収期間をもう少し長くとってもらえると良いです。町外にいる人へも女川の情報が届くよう、インターネットだけでなく違う方法でも届けて欲しいです。
156	早い時期の安全な土地造成を早急に完成を期待します。高年齢の人達にも間に合うような早さを！！　行政のお力でどうぞお願い致します。
157	できるだけ早く住宅地をもうけてほしい。このままでは女川に住む若者が減少していくと思う。
158	町が示す復興計画（案）に賛同いたします。生活できる居住地の整備と、雇用の場の確保を迅速に図ることで、一人でも多くの人が女川町内にとどまると考えます。これがひいては今後の町の復興に大きな力になると思われますので、計画の早期実現が図られることを望みます。
159	津波以前に住んでいた土地はどうなるのか。早く結論を出して欲しい。石浜地区はほとんどが波に飲まれて新築でないようですが。山を切り崩して家を建てるような状態にして欲しい。早くしないと地区の人達は皆離れ離れになりかねないと思う。
160	石浜地区にも山を崩して高台を造り、そこに集落を作ってください。
161	とにかく住宅の再建が最優先であり、遅れる事によって、他の地域への人口流出がどんどん進んでしまいます。すべての世帯が住宅再建できるとは限らないので「経済的に難しい人は町営的な集合住宅」「ある程度余力のある人は戸建」など選択肢のある、積極的な支援対策が必要だと思います。原子力発電所立地の恩恵を受けていながら、女川はこの震災で同じ被災地よりも取り残されたと感じている人が多くいます。「やっぱり女川に居て良かった」と思えるような支援を是非お願いします。
162	高台移転、2～3年をめどに確実に実行、移転できるように。
163	町づくりの要望とは少々違いますが、代々受け継いだ土地を離れ、なれない土地で老後幾許もない年月を過ごす事となり、不安もあります。この先「慣れない」「住めない」土地がどのように処理手続きされていくのか先の短い私にとっては心配です。
（3）離半島部の安全な居住地の確保	

164	私は漁業（養殖）でありますが、住宅地は高台移転は良いのでありますが、各部落に高台移転については良く理解できますが、子供たちは複数地区が1ヶ所に集まって団地を造り、各地区ごとに住んで、一つの町を造った方が良いのではないか。今の親たちは地区の漁業権を心配する人が多いが、将来地域人口が少なくなる事は確実です。各地区の漁業権さえしっかり守られて、自分の地区に5～10分以内で仕事にかかる事が出来ればよいのではないか。車社会であり、人口が多くなれば、それなりに嫁も来るし、町化するのではないか。いつまでも漁村では若い人がいなくなると思います。
165	津波の上がらなかった高台に公営住宅で暮らしたい。地元の高台に公営住宅を希望します。水産業（漁業）が（ほたて、カキ、ホヤ、銀鮭）など。自分の仕事が始まり、収入が安定すれば、また、女川町に住みたい人達が増えると思います。津波の上がった震災地を国、県、町で買い上げてもらいたい。地元の高台を整備してもらい、仮設住宅を出た後、公営住宅を希望しますが、個人で1／3位の金額で家が持てるならば町民も希望と夢が持てると思います。経済的に自分で家を建てることが（預貯金が少ない）できないので公的に支援してもらいたい。若い人が楽しく希望と夢を持って働けるように先ずは住宅と仕事の充実を一番に望みます。
166	高台の山があるので、それを買ってもらい…ならばそこに住めればいいと思う。
167	浸水区域での道路のかさ上げ、盛土に大変興味がありますが、河川からの浸水防止対策も示してほしいです。排水用側溝のマンホールの固定とかも考えてください。
168	現在仮設住宅に入っていますが、いつ頃になったら（もし）現在地に家を建てることができるんですか？
169	自己責任で元の場所に家を建てさせてほしいです。
170	最初に住む場所を作って欲しい。家があればみんな今よりも頑張れると思う。
171	住む土地を早く決めてください。
172	またいつか津波が来るので、是非高台へ建物を作ってもらいたいです。
173	代々からの土地、建物などの保証を今後どうして頂くのか、不安です。代替地なのか、その規模はどうなるのか、買い上げなのか、その価格はどうなるのか、何も分からない状態では。不安でございます。国、県、町と一緒になって取り組んでいただきたいと願っております。
174	漁業を営んでいる方が海岸まで歩いて5分位で行けるような場所に住宅を作りたい。養殖業は家族での作業で有るので海に近い所がよい
175	前と同じよう地区では人が少なくたいへんだと思います。これから新しい地域コミュニティをつくった方がよいと思います。（コンパクトな街づくり）ただ新聞報道の街づくりだと、時間がかかりすぎると思います。時間はかかっても2,3年だとみんなが安心してまつことができると思います。土地の買上げをしてもらうか家を建ててくれるかがいいと思う。交通はJRは必須。
176	高台への移転は希望しております。高台は風が強いので、台風被害に気をつけてもらいたいです。
177	・現在、所有土地がどのようになるのか早期に答えを知りたい。それによって、再建選択が変わると思う。・子供達の学校は必ず安全な場所に建設してほしい。居住地より、学校が下であれば、災害時また子供へ向かう親が多いのではないか？それにより、二次災害者が増えると思う。
178	早く家を立てる土地がほしいです。

179	受け継がれてきた一つ一つの部落をバラバラに離れさせないように安心して暮らせる高台に移転させてほしい。
180	残された人達・家族がバラバラに生活することなく、仕事も近くにあり、地域の人達が住み慣れた所を離れる事なく生活できるようにしてほしいと思います。それには、町民も妥協する所はして協力し合い女川町をより良くしていったら良いと思う。
181	御前浜地区外に、道路、電気、水道あり、便利な高台がありますので、その土地を造成に下さい
182	女川町の要望はアンケートの中で色々な要望や仕事などの希望など示されていますが、自分の望みはとりあえず、津波前に住んでいた場所、土地を利用して簡単な建設の物ので住いとしてとりあえず町の復興を一日も早く作り上げてはどうか。ただし、海面から5m以上の高台を目標にして住いを建設させてはどうですか。その後、女川町が定める建設予定地を町の高台に持っていくような方法で考えてもらえば良いと思う。そう考えてもらえば町の復興も早くなると思う。町づくりの計画は地場の水産業も良いけど、さらに観光の面でも考えてもらいたい。①東北ではどこない、トド、ラッコの海上ショウ。②星の見える館。③女川から万石浦を結ぶ水路。この海道を作ることによって次に来る津波を逃がすことができると思う。
183	基本的には元の場所に居住を希望するが、今回の津波による被害を思うと、高台への移転もやむを得ないと思います。ただし、高層化住宅となると、私が女川町へ移住した目的とも異なりますが、結果的には県・町の方針に従うしか方法がないのかとも思います。又今後の町づくりにおいて、脱原発、人口の減少、高齢化等、いろいろと問題もあり、そして原発、漁業を主とした町の財政にも町民の一人として将来に不安を感じます。
184	できるだけ早く高台を造成してもらいたいです。いつまでも仮設にはいたくないです。
185	居住地の造成を急がないと町外へ建売などの住まいを購入している友人も多く、少し淋しく感じられます。私たちは町内でこれからも頑張っていくことに決めたので、早く土地を決めてほしいと願っています。
186	高台への住宅地をつくってもらい、家を建てられない人の為にも公営住宅を各地区に建ててもらいたい。
187	我々の住み慣れた島であり、また土地なので震災前と同じ居住地で住みたいです。
188	もし、島へ帰るようになると現在の所には家は建てることができない（地盤沈下）。高台への移転を言う場合、交通の便が悪くなる。だんだん年をとっていく、歩くのも大変になってくる。もし子供達が結婚した場合、学校問題がある。女川町内に家を建てる時、土地の問題、お金の問題がでてくる。
189	我々が暮らしている離島はこの先どうなるのか。学校の事、医療の事、学生のいる家庭では当然島には住む事が出来ないので町内外に住み通い漁師をする事態に陥っている現状である。女川あるいは石巻から通う事は極めて困難である。事を考えて欲しい。橋でもあれば別ですが、漁業者は勤め人と違い時間が不規則である事、夜昼の別なく、車で船で島に渡る事になる。架橋の話はどうなったのか、気にかかる。診療所はどうなるのか…。女川の街中の道路は曲がりくねって狭すぎる。この際、思い切って広く真直ぐにしては。病院の近くに保育所を設けてはどうか（看護師の問題）。原発はどうなるのか、その昔反対運動した事を思い出した。（デモ行進）以上

190	私はこれから子供たちの学校があるので、女川町で暮らしたいと思います。今は仮設に住んでいるのですが、総合運動場などの宅地造成をしたのならば家を建てたいと思うのですが、仮設は2年で退去しなければならないので、宅地造成が出来なければ、どうなるのかわかりません。国の家を立替かその補助200万円は3年以内となっていますが、造成が遅れれば、補助はもらえないのかなど心配です。女川町で暮らしたいと思うので宅地などの造成など早くしてほしいと思います。
191	とにかくビジョンを示して欲しいです。津波の被害を受けた土地は、どのようにすれば良いか？
192	震災前は養殖業（ホタテ、ホヤ等）でした。寺間地区には将来家を建てられるのでしょうか？　現在、石巻バイパスの仮設住宅にお世話になってますが、生活の事（収入）を考えると、一日も早く島に戻り元の仕事をしたいと考えています。すぐに戻れない状況の人もいれば、震災後、すぐに家のある人たちは島に住んでいます。足並みの揃わない状況の中、皆が同じ気持ちで復興を望んでいることは間違いないと思いますが、島民の気持ちがバラバラにならないよう、切に行政にお願いしたいです。女川町が中心となり、私達を明るい希望の持てるこれからが待っているということを示してください。
193	離島等や海沿いに建設せず、安全な地域へ住宅を建設し、住み慣れた島を離れたくないが現状況を考慮し、町中心等にお金をかけてほしいです。皆様、日々大変お疲れ様です。そして、感謝致します。
（4）恒久住宅の再建・供給	
194	女川高校が廃校になったらそこへ大型の町営住宅団地を作ってはどうでしょうか？　町民が安心できる案を早急に提示することで、一人でも多く女川町から離れないでいてくれると思います。今すぐにでなくても住みつづけられること（公営住宅等の整備）、仕事に通えること、それらがなくならなければ、皆女川にいたいと思います。
195	お年よりはきっと町内で同じ場所に住みたいと思っていると思う。でも先はあまりないし、今さら1000万とか2000万などかけて新しい家を建てる人は少ないはず。また若い人も、特に海の仕事をしている人は、町内に家を建てたいと思っているが、上に同じく難しいと思う。だから、町内に住んで町内やその近隣で仕事をする人は、特に優遇するべきではと思う。町外で暮らす人にも、ある程度の仕事の紹介や援助があっても良いと思う。高速道路を無料にするぐらいになら、その高速料金を本当に困っている人達に上げるべきだと思う。
196	・自分自身、家の事が心配でこのまま住めるのか？住めない状態になった時は女川に残るかどうかわかりません。女川に残った時は、石巻線ですが女川駅は何年位で出来るかわかりませんが、浦宿までだったら少しは、早くなるのではないでしょうか。家をなくした人達は、新しい家を建てるにしてもお金の面でも大変な事だと思います。私もこの家に住めなくなると家を建てることは出来ません。自分の土地に家を建てる事が出来ない人がほとんどだと思います。人は住む家があれば何とか生活していけるのではないでしょうか？よろしくお願いします。　※私事ですがおばあさんが在宅避難して来ています。最近になって救援物資が貰えることがわかり、1度尿取りパットなど頂いてきました。もう少し情報を知るにはどうしたらいいのですか。半年近くなって、初めて物資をいただきました。在宅避難に情報があったらお願いします。
197	家族のうち半分は震災前から仕事や通学先の都合で女川から出たいとの話をしていたが、震災後、その気持ちが強くなっている。私が女川出身であるため、このような町の様子を見るたび、女川を出るイコール女川を捨てるような気がして町外に出るのを留まっている。仮設住宅に入居予定だが、2年後が心配です。女川を出る人が多いのではないか？　私も石巻の主人の実家近所に土地があり、再建を考えることも出来るが、女川に住みたいと思っている。公営の復興住宅もマンションタイプや戸建てがあってもいいと思う。女川町独自の特徴ある、住みたいと思えるような住宅を建設してほしい。
198	一部損壊の家でも、損傷があり、修理するにも資金が必要であり、義捐金等の配分があっても良いと思いますが、いかがなものでしょうか。

199	早期に町営住宅を建設し、人口流出に歯止めが必要と思います。
200	一部損壊といっても補修の費用がかかります。ぜひ助成の拡大をお願いします。
201	・一日でも早く町民が安全で安心できる町に復興してほしい。 ・福島のような原発事故が起きた場合の女川町民の避難場所や対応の仕方のマップを作成してほしい。 ・仮設住宅を出た後の住居の確保をお願いしたい、特に一人暮らしの高齢者が安心して住む事の出来る町営住宅の整備。 ・一部損壊の被害にも修繕などに多額の費用がかかるので、何らかの援助を考えてもらいたい。 ・清水地区へのスポーツ施設ゾーン移転は、津波が来た場所なのでとても不安です。総合体育館はそのまま残してほしいです。
202	今回の震災で家や仕事を失った人が多く、これを機会に女川から離れていく方が出てくると思います。そのため女川町の人口はますます減少していくことでしょう。また、65歳以上の方が多く、これから自分で土地を探し、家を建てることも難しいと思われます。仮設住宅の住める期間の延長、5～10年くらい。高齢者用の集合住宅。低い家賃のアパート。町営住宅など。女川に住み続けたい方もいると思うので、山を切り開いて土地の確保。ニュータウンを作る。早急に代替地を確保し、定住を進める。メモリアルパークなんて二の次だと思う。
203	仮設住宅一部に娘と二人で入るけど、出来るだけ早く町営住宅とか町営アパート望む。出来ればずっと女川で暮らしたい。
204	町営住宅を建設し仮設住宅から町営住宅の入居を願います。
205	①女川町の復興は少しづつは見えてきましたが、まだまだ遅れている感を受けます。女川に行く度絶望して帰ります。悲しいです。 ②以前の区民たちが同じ仮設に入ることが出来ないのが地域との交流も出来ず、孤独感を受けていることを聞きました。残念です。 ③町民が戻ってこられるような美しい港、町、安心して仕事が出来るアパート等の住宅を望みます。 ④一人暮らし、二人暮らし、老人は新居は無理です。 ⑤一日も早い女川町の復興をお願い致します。
206	・公営住宅の増設。他市町に居住している35歳以下の女川町民以外の家族用としてびっくりする格安家賃で。損して得する政策。 ・工場誘致、雇用の確保。水産関連以外の工場誘致。 ・第一第二小学校の統合。第二小学校に統合し、第一小跡地に工場用地、もしくは公営住宅用地にする。 ・道路網の拡充。清水～稲井間の思い切った道路整備、避難道路、観光道路として位置づける。
207	町の復興計画の工事と同時平行して、町営住宅の建築等も進めていかなければどんどん人が女川からいなくなってしまうと思うので、早急にそのあたりの事も考えていく必要があると思う
208	女川に戻らないです。家が一部損壊でもお金は出ないと言っています。そんなことあったので女川に戻らないと言ってましたよ。少し考えてください。みんな不満ですよ。女川はだめですよ。これからのことを考えるなら少しは出さないと、そこらへん考えればみんな女川に戻ってくるかもな。全壊半壊にはお金を出して、一部損壊には何もしてくれないのでは女川も終わりですね。区別をすることでみんな怒っています。

209	定年（60歳）を迎え、離職した高齢者は（多分この年齢層が被災した数（割合）は多いと思われます）個々の持家、借家、アパートに住むのではなく、グループホームのような1つの建物の中に協同生活するタイプを望みます。つまり、休憩・食事・風呂等は共同使用、ダイニング・キッチン・風呂・就寝は各個室というもの。これはホテルに準じますが、これを住民管理で行うものです。そうすれば安い費用で質の高い施設を得る事ができます。アパート、マンション、公営住宅ではなく、高齢者にはこの「公営ホーム」が最適と考えます。
210	町営住宅に住んでいますが災害状況は一部損壊だそうです。まわりはほとんど仮設住宅に移転しました。東日本大震災と老朽化で壁はひび割れ床は腐って底抜けていて、それでも居住可能と言う事で住んでいます。テレビで仙台や他の仮設住宅があまっていると放送されているのに仮設に移転できないのかと思っています。女川から人口が流出しないようにしなきゃ職場が女川にないから皆出て行くと思う。
211	上三区にある古い町営住宅をリフォーム、あるいは再建して、家をなくした人達の安住の地にしてほしい。若い世代をなくして、町づくりは実現できないので、働く場の確保や老人ホームと保育園を一体化した施設でお年寄りも地元で共働きの家庭も安心して子供を預ける保育園を。そして町外、県外で生活を始めた元女川町民が戻って来たくなる、新女川町を作って行きたい。
212	女川町のまちづくり、再建はとても大切なことだけどその前に生活をしていくためのお金が必要となるのが現実。義援金や支援金といったものはすべて半壊以上ということもあり一部損壊などの世帯はすべてが自己負担まずは一部の人達にも配布が必要だと思う町にはさまざまな理由で家をなくした人がいるはず。借家に住んでいたが出なくてはならなくなった人そういった世帯にも、半壊以上の判定にしてあげるなどそのようなことをまず始めに考えてあげるべきだと思う。実際、我が家も借家を出た世帯。今は実家に身を寄せてはいるが、生活していくには義援金などもなく本当に大変です。町に残るかどうか考え中です。今のままでは不安だらけです。
213	一日でも早い復興と2.3年中に公営住宅を作って欲しい。
214	震災前に女川町に引っ越してきました。かろうじて家は残ったものの、同じように被災し、同じように苦しい日々を過ごしてきたのにもかかわらず、家が残ったというだけで、貯金（生活費で）も、私の仕事先も失ったのに町民の方から白い目で見られたりしました。義援金の分配の仕方もかなり不公平だと思ったのが、一人暮らしの学生さんにも配分しているのに、なぜ子供のいる被災地区に住んでいる（家の残った）家庭には配分されないのか分かりません。親との同居を考えなければさっさと女川町から引っ越したいです。家が残った方々からは、かなりの不満が出ています。その事を女川町ではどうかんがえていますか？アンケートの回収にあたってについて、ご自宅で生活されている皆様9月2日までに投函下さいとありますが。女川町のどこにポストがあるんでしょう？
215	土地の問題が早く解決出来ないと私たち老人にとっては時間がなくなってしまうので1日も早い解決をしていただきたい。‘町へ戻ることが出来る日を待っている1人です。‘または、出来るだけ多くの人が女川町に戻って暮せるように住宅（戸建て）、アパートを建設できたらと思っております（私はもちろん、代替地を望んでいるのですが）。お願い事ですが私達の様に女川に住んでいない人にも、もしも女川公報が発行されましたら配布していただきたいと思います。女川に帰れるのを待っている1人として色々町の様子を知りたいと思っております。1人暮らしで遠く離れて頑張っている人達もいることを念頭においてくださいね。交通機関が不便のためわが町に帰れない1人です。
216	一日も早く公営住宅を作ってもらいたい
217	総合運動場を復興のまちづくち地区としましたら住宅地造成する場合において高齢者も多く家を新築することも大変かと思いますので公営住宅を建設する事を望みます。また清水地区から石巻方面への道路建設も要望します。

218	•今まで自分の家があった人でも再建が難しいという人が多いので、宅地確保と共に、町営（公営）住宅を早く建築し、入れるようにしたほうが良いと思います。町営住宅に一生住んでもよいと言う人が回りに多いように思います。
219	現在（震災前の土地）があって、それを活用して小さな家を建てるならともかく、高台に新しい土地を求めてとなると、とても無理だと思われます。これから高台に住宅ゾーンということですが、山を切り崩して造成してとなると、土地も限られてきます。狭い土地に一戸建てはそう多くは建てられないと思います。むしろマンション形式にして地域ごとにまとまり、入居できるようにした方が良いと思います。高齢者も安心して住めるよう、エレベーターも設置し、安全安心の住い造りを提供してほしいと思います。仮設はあくまで二年間という短期間ですし、多くの人を早く入居させるには仕方がなかったのかもしれませんが、正直狭さに皆不自由を感じているはずです。これからの住いは1LDK（一人暮らしでも）とか、2LDKとか、昼の居住空間と夜の寝室くらいは分けたほうが快適な生活が望めると思います。そういう住宅を公営住宅として建てていただきたいと思います。今私たちが二次避難して入居させていただいているアパートは、コニカミノルタの社員寮です。三階建てのアパートが七棟あり、2LDKですが広さも十分あり、ゆったりした住いです。緑も豊かで周りに木々も公園も多く、東京にいて、この夏降るような蝉時雨の中で過ごさせていただきました。でも女川を離れてみて女川の良さを再認識することも多々ありました。故郷、女川に帰りたいと切に思いました。高齢になって住み慣れた土地を離れることはとても淋しいものです。地域のコミニケーションを密にするためにも、マンション部分の一階フロアを交流の場にし、気軽にお茶したり、お互いの部屋を訪ねなくても安否確認できるようになればと思います。
220	まさか津波でこれほどの大きな被害になるとは思ってもいませんでした。これからの女川は災害に強い町づくり（時間がかかっても）でも、住む所は早くしてほしいと思います。人が他に移らない為にも。私も住む所がなくて、渡波に住むことになりました。女川から出たことがないので不安です。高齢の母はなおさら知ってる人が周りにいないので不安だと思います。そのためには一日も早く、町営アパートでも作って、町外にいる人たちを呼び寄せて、落ち着かせてください。そこに入ってじっくり考え、これからの家作りを考えたいと思います。観光としては、水族館などはどうでしょうか。サンマを主体としたもので、女川の水族館に行けばサンマの形態が分かるというようなもの、アクアマリン福島が鰹で、東京の鮪の葛西臨海水族館のようなもの。観光客を呼ぶのには道路を整備し、利便よくしなければならないと思います。将来子供達が女川で働き、人が集まってくるような環境づくりが大切かと思われます。
221	町営住宅を作ってほしい
222	①家族4人で、仮設住宅、2DKは、せまいので、はやく、町営住宅、などの建設、石巻より、町営などの建設がおくれると、町民が、石巻にいって、女川町がさびしくなるから。②ガレキで、清水町の土地を。5m位あげて、ガレキをへらすことは、できないの？③清水町に住宅地ができるなら、山をこえて石巻にでる、道路をつくってほしい。
223	町営住宅など早めにできるだけ多く建設してほしいです。
224	自力で家を建てることのできない町民のことを一番に考えてほしいと思います。仮設住宅を出た後”ここに住めます”という安心を与えてほしい。グループホーム等
225	1.高校生、大学生のために（町に戻り女川に貢献できる人作り）、石巻•仙台や東京等に大きめのアパート等を借り上げ、女川寮として住居費を応援したり食費を援助する。 2.震災後、女川に住むことが出来なくなった人や実家がなくなってしまった人のために、ペンションを作り女川町立として経営する（女川を何度も訪れやすくするために）。 3.現在も停まる場所は女川湾が見えるところみ泊まりたいという方は多いですね。

226	諸々の事情により、女川の地を離れ、生活しなければならない方々も数多くいるように思われます。「笑顔あふれる女川町」に一日も早く取り戻していただくことが、心の復興になるように思います。高齢一人ぐらし、高齢家族の方々も仮設住宅後も公営住宅等で安心して住める町であってほしいと願います。住む人にも離れた人にも「笑顔あふれる女川」に取り戻して生きていける力になる心の復興だと確信します。
227	•女川町は高齢化がますます進んでいくものと思われます。高齢者が誰にも気兼ねすることなくのびのびと楽しく、活力ある生計ができるよう、公営によるグループホームの建設を数多く願います。国民年金でも入居できる料金で。 •被災された中高年層の住居として、持家では負担増の世帯が多いと推測されます。公営の賃貸住宅の建設に向け、入居希望者のアンケートを実施してみてはいかがでしょうか。 •働く場所が無い。地元の水産会社は何社再建するかわからないが、企業の誘致に力を入れて欲しい。 •国道398号1本しかない道路では災害時不安。道も狭いので早急に他の道路も整備して欲しい。 •防災無線の改良。停電でも町民に災害の状況が迅速かつ正確に伝達されるようにして欲しい。今回の災害では、全然機能していないと思われる。家の中にいて流されてしまった方々が多数いたことからも明らかである。
228	①震災前から、女川の活力は落ちていたので、復興しても効果は上がらないと思う。 ②女川にある仮設住宅を町営住宅にして貸し出して欲しい。安く貸し出して、若い人が共働きで最低時給で働ける環境を作っていくしかないと思う。 ③ハイキングコースや管理釣堀を作ったりして、年寄りやリタイアした人達がゆっくり暮らせる町づくりをして欲しい。
229	町営アパートを作ってほしい
230	仮設住宅も10月上期で終了するようですが、一日も早く仮設を出なければならない後の事の心配が位置も早く、安心出来て住める場所が出来る事を願っています。
231	復興計画の策定にあたって、こうしたアンケートや住民の意向を十分に聞いた上で、すみやかに行うのがスジだと思います。計画を決めてからアンケートをとる手法はいかがなものかと思います。(1)地域のコミュニティーを大切にして下さい。(2)一日も早く、町営住宅を各地域につくって下さい。(3)私たちは、二世帯なので、自分の家を持ちたいと思います。(4)原発はおそろしいものです。できるだけ早くやめるよう(スケジュールを示し)お願いします。(5)漁業につきたい若者もいます。水産加工場も早く再建して欲しいです。(6)運動公園は残して下さい。(7)避難道路を整備し、できるだけ現在地にかさ上げして家を再び建てさせて下さい。
232	現在、高潮との戦いで、道路も町の形もデコボコのパッチワークのようです。高台への住宅移転の場合、冬場道路の凍結も考えて下さい。高齢者が多くなると思いますので、復興住宅は5階以上でエレベーター付き、屋上はヘリポート、非常用品の備蓄倉庫を取り付ける。※奥清水から真野への林道整備と、総合体育館脇からの金山への林道の整備を早急に完成させて下さい。　今回、女川町のあらゆる所に水が流れていて、生活するのにとても役に立ちました。この水を何とか保護し、有効に使っていけたらと思います。　※あらゆるトラック屋さんが、水を運んでくださり、とても助かりました。何もしていない私達町民も、ガレキの1本でも片付けられたらと••••役に立ちたいです。
233	県営、町営住宅の早期の完成。※県営仙台松陵にある中高層タイプの住宅を建設することがベスト。
234	先ずは瓦礫を片付けて、その後宅地や住宅建設(町営住宅)、その後食事どころがほしいです。例。ラーメン屋や食堂、コーヒーショップ•••。観光に来ても食べるところがないと客数は減ると思う。

235	1、公営住宅の建設　2、働く場所の確保（お金の取れる場所）　3、町として箱物の建物を多く作らない事　4、町の人口に合った町役場職員の減にする事　5、役場職員はなるべく女川町の人を多く採用して職場の確保をしてほしい　6、震災時の道路の確保を早めにすること　7、町の所有地の活用を早急にするように、早急に進め、公営住宅を早く建設をする事が大切と思う。（他町へ人口が流れないように）　8、町の議員を出来るだけ少なく（9名ぐらいに）
236	早急に復興を進めてほしい。今後の女川町を担う核となる、子育て世代は町外へ移転することを考えている人が多数おります。避難所などの人々が優遇され、自宅避難者（仮設含む）自立しようとしてる人との差があり不公平だと思います。それでも以前と同じ場所に住みたいと願う人達に対してどうかあたたかなご支援をお願いしたいです。自宅を補修して住む人などに援助してほしいです。その地区の最後の一人になっても以前からの土地に住みたいと願う人もおります。私達や子どもたちにとってのふるさとがなくなるのは大変さみしいです。1日も早く女川の再生をお願いしたいです。
237	町営住宅を建ててほしい。連帯保証人がいないので、関係ない人をいれてほしい。できれば、交通手段があるとこ、役場の近くの所が望ましい。
238	被災者生活再建支援金（加算支援金）の申請を3ヶ月以内に利用できればと思っていますが。高台土地取得が予算面で難しく。　加算支援金200万で9坪タイプの住宅を町から購入できれば望ましいのですが（上下水道など完備）法的にはどうですか？
239	1. 仮設の入居期間は何年が限度なのか知りたい。 2. 昨年の年齢構成状況は把握していないが、高齢者は35%位と推測している。仮設に入居中は別として、仮設から出た時に、これらの人々の行き先はどうなるのか、一番心配している。（出所後、自力で土地を求め、自己資金で家を建てることが出切る人々はどれ程居るか。その力のない方々はどうするのか、大変悩んでる方は多い。町の対応はどうなのか知りたい。（例えば町営住宅をどの場所に何戸、何時頃までに建設するという具体的な計画が重要で、それを望んでいる） 3. 基幹産業である水産業、特に加工業者が以前の様な仕事ができるような手助けを早急に行うこと、雇用の促進と濃い関わりがあるので、重要と考える。（遅くなれば女川町から水産業者は町外に移動してしまう） 4. 復興計画では石浜地区はサラ地のままになる様だが、その通りと考えていいのか知りたい
240	仮設住宅から2～3年で出た時、生活できる公営住宅、町営住宅が石浜地区に建設されなければ、せっかく石浜の多くの皆さんが住み慣れた石浜地区から離れたくない多くの人たちがいます。又地区のお祭りや獅子振り等の伝統ある行事等を守りたい若い人たちが多くいます。これから地区を再建するには、住宅、仕事場、健康、生活費等がさければ町、地区の再建にはなりません。一日も早く復興し、町民が安心して暮らせる町づくりをお願いします。最後に石浜地区に宅地造成し、公営住宅を建設してください。お願いします。
241	その他、女川町の町づくりの要望、石浜地区の皆さんが住み慣れた石浜から離れたくない人達が多く居ます。また、地区のお祭り、獅子振等の伝統ある行事を守り続けてきた若い人達が多く居ますので、ぜひ石浜地区に公営住宅をお願いします。
242	仮設住宅が1間なので大変です。公営住宅（町営）は、2年間はほしいです。
243	早急に公営の戸建の住宅を建設してほしい。
244	施設での生活。年金で間に合う。町営の施設が欲しいです。

245	飯子浜地区に町営住宅を建ててほしい。
246	•今、仮設住宅に移って1ヶ月過ぎましたが、今後震災前と同じ所に又家を建てることは難しいのであれば同じ地区の高台に町営住宅でも建てて頂いて、仮設住宅からそちらに2～3年後かわからないけど、移動できれば良いかと思います。 •震災前から早5ヶ月過ぎだいぶ町も浜の方も片付いてきましたが、業業の方はまだ再建は難しく船はあっても海へ…というのはまだまだ先の様です。一日も早く漁業が出来る状態になれば町の復興にも繋がるのではないでしょうか？私達もがんばりますので町の方でも、協力のほどよろしくお願い致します。
247	•崎山の道路を直してください。 •町営アパートを建てて下さい。
248	今後仕事無いし、暮らしていくのに不安です。早く公営住宅を完成することを希望いたします。老人の、医療•保健を復旧をお願いします。
249	今後出島にも町営住宅を建ててほしい。海の近くにほしい!　海岸から仮設住宅へ小型バスがほしいです。
250	離島での生活は不可能なので町の高台に町営住宅を造って頂き、入居出来れば高齢化になり、有難いです。出島に町営住宅が出来、地区民が一緒に生活出来ればお互いに助け合い、漁業従事する方も多く安定した生活を送れるのではと理想論かも知れませんが、望んでいる面もあります。これから先町での計画がどうなるのか、それにより将来の生活も変わるかも知れません。一日も早い復興を期待しています。
251	要望というより意見ですが、今さらどうしようもないのは百も承知です。国の問題ですが。今回津波で被災され、私もですが特に沿岸、半島部の家は二階まで津波が上がり、ほとんど9.5割は解体しました。現在もやってますが、津波一階180cm以上のを全壊基準のようでしたが、二階が無事で住めるところも多少見受けます。修理して。最初から修理不可能で解体やむを得ない家に対してはり災証明を全壊の上で大全壊としてランク別してほしかったです。もちろん金額も差はつきます。全壊（解体）は加算支援金が適用されないのは残念です。今後義援金を期待します。
（5）公共交通機関の再開・整備	
252	鉄道は何年後になるか、実現できそうにない話なのであきらめて、バスのみにしぼり、一小前の路線を取りはらい、もっと広くて高土のある、病院と同じ高さになるような道路を造ってほしいと思います。小学生はスクールバスを継続してもらい、中学生は家が遠い生徒をのぞき、体力増のため、自転車通学ができるように、自転車専用道路を造ってほしいと思います。住民が安全に自転車に乗れるし、エコにもなるし、町外の方も利用できるようなサイクリングロードを造り、町の目玉にしてはいかがでしょうか？
253	•公共交通機関の早期復旧を望みます。•大型スーパーの出店を望みます。
254	此の度の大地震では多くの方々が亡くなり又住み慣れた町も流され本当に悲しく残念なことです。自衛隊や全国からのボランティアの方々に助けられていただき本当に感謝申し上げます。尾田峰住宅も今は立替中ですが、上の住宅は足場が悪く買い物に行くのも足の弱い者は一寸しんどいです。町立病院に行くのもタクシーも黄金しかなく前のようにシーパールを出して下さると助かります。少しずつ浦宿に店が出来るようですが、浦宿に郵便局はほしいですね。

255	転勤を伴う仕事のため、また子供の進路先によっても、今後、女川に居住するかどうかわかりませんが、早く以前のように活気ある町に復興することを願っています。JRが現在不通ですが、早めの復旧を望みます。高校生達も、朝早く、かなりの負担と思われます。現在、小学生の我が子がその年頃になってもこの状態が続くなら、確実に女川から転出する予定です。
256	震災で車を流されてしまいました。早く交通機関の復旧をお願いします。
257	今まで同様、住みよい女川に一日でも早い復興お願いします。せめて浦宿まで汽車を通してください。
258	俺は今は身体の都合で、独りで浦宿で生活していますが、出身は出島です。以前のように島への航路復旧と一日も早い女川町の復活を望みます。
259	女川は高齢化しています。住宅を高台にということはよいことですが、高齢者にとって交通手段がないのが悩みだと思います。 •JRの早期復旧とバスの本数をもっと多く希望します。 •子供たちが早く自分たちの学校で授業が受けられるように仮設に一層の整備を。 •働き場を求めて人々が流出しています。女川へもう一度戻りたいという人達も多く、住まいの整備や働き場の確保など早期に必要なことだと思います。
260	年寄りの人達の便利なバスがあればいい。例えば今までのシーパル号みたいな。桜ヶ丘高台に、マーケットがあれば助かります。
261	車が津波により流失し、新車を入手するまでの期間は、食料や生活用品の調達に苦労しました。その原因は、説明することでもないのですが、2つあります。1つは、公共交通機関がないこと。バスの本数が少ない。2つ目は、スーパーが町内にないことと、金融機関がないこと。住みやすさ、暮らしやすさからは、程遠い状態でした。今後、高齢化社会が益々進む一方、自分の自由になる足（公共交通機関や車）が無いということは家に閉じこもりがちになり、食料品の買い控えや、衛生面で好ましくない状況に陥るのではないかと思われます。地域のコミュニケーションの場となるであろう、このような場所の復興が急がれます。皆が町外に流出する前に。　現在は高台の地区に住んでおりますが、津波で浸水した町の中心部を目の当たりにすると、地盤沈下による冠水地域も、高潮時には広がりを見せ、今度大きな地震が来て津波災害が来れば、高台の地区であっても安心できないと感じております。防潮堤の設置と低地のかさあげ工事は急務です。一歩ずつ、着実に進めて行っていただければ幸いです。
262	私、個人の意見として申し上げます。町当局の復興方針はよく理解できますが、町民の皆さんが両手を上げて全員が賛成をすることはないと思います。妻と私が50年もかけて築いた全ても一瞬にして全く無くなりました。最愛の人を失い、大切な品も流されて、未だに3月11日のことが夢に出ます。この気持ちをどこに向ければいいのかと思います。私としては、小さくとも家を建て、未だに見つからない最愛の妻を待ちたいと思います。見つからなければ残り少ない年月を、一緒に暮らした土地の上で菩提を弔いたいと思っている。新聞、テレビによれば、千年に一度の大災害といわれていますが、果たしているかどうかもわかりません。どうぞ今生きている人間様を大切にしてはどうでしょうか。私の妻は愛知県出身で、親族友人が浜松、東京、栃木、千葉と多方面なので、見舞いに来たい人まだ。やってませんが葬儀などで、車は別としてJRの交通手段では仙台迄です。仙台よりは、バス石巻行きは特に混雑で、バスに並んでも、バスの定員で乗れません。又30分か40分待たなければなりません。女川迄が又遠い、大変な思いで女川に行きます。現在、娘の所に長い事世話になっております。女川で腰を落ち着けることを祈っております。年寄りの世迷言と思っても結構です。毎回、町よりの連絡その他、感謝致しております。
263	路線バスでの要望や心身面での体調の不安がとても多く、町内で安心して病院にかかれる様に。

264	女川町に帰りたいが、住む家もなく、親戚も死亡や流出、知人宅も流出、女川に帰るのになかなか困難です。一日も早い仙石線や石巻線が開通することを希望します。
265	女川町で生まれ育ち、他の土地で生活したことがありません。今も移動手段がなく買い物などとても不自由をしています。商店街や公共の交通機関、郵便局や銀行等早く復活していただきたいです。病院も絶対になくして欲しくないです。女川が再建、復興していける手助けが出来ることには、少しでも協力して行きたいと思っています。
266	娘が稲井の仮設に住んでいて孫が高校まで通うのに大変ぜひバスの手配をお願いします。
267	年が年なので復興を待ってられない。交通の便がいい方に移りたい。長男もまだ働けるので、仕事を探すのも石巻周辺しかないと思う。人口も少なくなり、今後流出も激しくなるでしょうから冷たい言い方になると思うが、石巻合併して、お金を使わない方向でやってほしい。復興も結構だが、これだけの自然災害を目の前にして人間の力など微々たる物なので…。8年も10年もかかるようなら石巻と思い切って合併した方がいいと思います。
268	私たち地域17世帯は、電話が不通になっております。ぜひ早期に電話の復旧をお願い致します。女川町の今後の世帯数、及び人口をどの程度で予測推計されておりますが、それにより今後の復旧、復興に変動されると思います。人々の流出を防止するには現在において子育年齢層が安心と安全に働く職場が重要です。そして高校生が通学するための交通機関の確保が大変重要と思います。町内全域に亘り建築の規制がされておりますが、早期に高台部分等に建築許可を与えてください。現時点では食料品等の買物は石巻方面で買物されております。高齢者や自家用車の保有されていない方々は大変困っております。ぜひスーパーが必要だと思います。仮設住宅に入居者は2年後の生活が大変に心配であると多く方々が申しております。以上でございます。
269	高潮等を考えると、海の近くより女川町立病院や総合運動場付近や、清水の奥を整地し、海のそばを通らなくても石巻や仙台方面へ出られるよう早急に道路を通して欲しい。また、JRも山を通して欲しい。
270	人がもっと増えて、交通がもっと便利な町
271	まず、公共交通機関の整備、バスだけでなく電車の早い復旧が必要だと思います。石巻線だけでなく、仙石線の復旧が必要不可欠です。他の自治体も含めJRを一日も早く利用できるようになることが町づくりにも大切だと考えてます。女川町まで帰ってくることがとても大変だと、町外県外へ出た方は皆感じていると思うので今一番の要望です。
272	・鉄道の早期復旧、駅を移転するのであれば、旧女川駅の場所又は同地域に駅を設置、駅の増設。 ・町営、県営住宅の建設。 ・地元雇用創造。 ・観光や施設による女川へ人が流れるシステムを作り住んでいて、楽しく活気があり、愛着が持てる女川町になってほしい。 ・町並みの娯楽施設があってっても良い。
273	年齢的に交通に利便性が整えば日々安心して過ごせると思います。

(6)住環境その他	
274	何年も住んでいたわけではありませんが、海あり山ありでとても好きな町です。私は確信しております。女川町が何年か先、2011、3,11以前よりすばらしい景観のある町に変わりゆく事を。その力は充分持っていると考えております。魚だけをあてにするのではなく、美しい景観を利用するだけ利用して、ああ、この景色を望みながら「暮らして行きたい」と想わせるような町にしましょう。浜辺のゴミは以前から気になっていましたが、今後はきれいな海を山を、そして町を作ってゆきましょう。女川町は大好きですから。クリーンな町に。
275	浦宿は満潮時の浸水で駅前は大変です。災害時の安全ということは時がたつにつれ忘れ去られます。復興を考える時は第一は安全が大切だと思います。
276	港町女川の復興は、水産業を基幹産業として更なる発展を目指すのはいい考えだけど、若者は町外に出て行っています。女川町の人口は減る一方で若者が町外に引越している。震災前の水産業を基幹産業としても女川町の人口は増えないで減って行くと思う。震災前の様な箱物は要らない。土地を増やし、若者や子供の住みやすい女川町を考えて欲しい。震災前も震災後も高齢者の方ばかり言っている様に思える。どうせ箱物は作ると思うので、温水プールとか、温泉プールとか、一年中町内町外の人が遊べる様な物を作って欲しい。
277	①早く、銀行、郵便局等ほしい。 ②高齢者の交通便等考えてほしい。 ③早期の復興を望む。(笑顔あふれる町にして下さい)
278	・浦宿地区に公園を作って欲しい。→(すべり台、ブランコ)だけでもイイので。→小さい子供が遊ぶ所がないので。 ・高潮の時。水がアパートの入り口などに(道路)入って来て外出できない時があるので何とかして欲しいです。
279	老人にとって病院や買い物をする場所が近いところです。
280	老人にも住みよい町づくりをしてもらいたいです。
281	震災前より美しく安心して暮せる新しい街を作ってください。
282	我が家では地震で屋根瓦及びブロック塀が全壊です。町の判定は一部損壊です。修繕費用が多額の為一部損壊でも補助がほしいです。町外への移転を考えて居ます。
283	被災のない地区及び被災の少ない地区にもきちんと目を向けた町づくりをお願いしたい。
284	全壊、流失、大規模半壊、半壊とありますが家が全くなくなった人への援助があった方が良い。持ち家ではない人へは、義援金は無駄。その分、自営業への援助がないので、女川町独自で考えて協力してくれれば、元の女川町へ一歩ずつ戻る事が出来ると思う。女川の町内中心部だけでなく、島・浜の方にも目を向けてほしい。道路等がけくずれなど危険。仮にでも、街灯をつけてほしい。

285	1.今までの町の公共施設と言えば、大方役場の付近の女川地区に設置されていたが、この際一部の公共施設例えば、公民館・図書館等を鷲神地区、高台の旭ヶ丘付近に希望する。 2.防犯対策として郊外の住宅地にも防犯灯の設置をしてほしい。 3.車の無い老人に福祉的な町内循環バスのルートの拡大。 4.浦宿駅前を整備し石巻線の始発駅構想は如何なものか。 5.子供達小中高校生等、またごく一般の普通の町民にも復興に関しての意見も聞くべきではないか。何々社長、何々教授等肩書きを持っている方とは別に本当に普通に暮している名もない弱き町民の声も聞くべし。
286	布団、電化製品の買い入れで100万使用した。全壊流出で一人のため、75万振り込まれほっとする。1人住まいなので、公報、会議が何も分からない。有名人やイベントの事も翌日の新聞で知るばかり。仮設住宅が出来たので、自分もコミュニティの会議か、区が出来たら入りたい。
287	娯楽施設を作ってほしい。震災前より人が集まると思う。道路を広くしてほしい。
288	銀行、郵便局、役場が統一されている事。高期高齢で納める書類等が歩いて行くに大変。区ごとの行動にしてほしい。タクシーでは往復2000円、二度歩きした時も大金がかかるので区の方で処理したり、受付してほしい。ポストもなく不便。女川町の生活再建に地域再建してほしい。桜ヶ丘の道路を補修してほしい。
289	・安全な高台へ移転しても。高齢者等が便利に生活できるように配慮して欲しい。 ・若者が離れていかないような努力が必要だと思う。
290	清水に街灯をつけてほしい。清水仮設の道が狭くて危ない。清水仮設と新田仮設の間の川に橋がほしい。うちの家族にも義援金、支援金を出してほしい。清水からだと保育所が遠い。
291	隣近所の人達と暮らしたいです
292	被災前の地区住民が、また同じ地で生活できればと思う。そうなればまたコミュニケーションが取りやすいと思う。
293	悲しい震災で現在仙台在住です。家族の仕事も仙台に移動し、こちらでの生活が続くと思われます。水産業の再生と発展を一番に願っていますが。土日になると町は閑散としている（今までのように）のでは若者は町外へ出て行ってしまいます。自然に恵まれた（海、緑、山、川）すばらしいロケーションを利用し（遊歩道、アスレチック、キャンプ場、プールなど）週末は女川で過ごしたいと思う魅力的な街作りをしてほしい。観光ばかりでなくこの街で暮らしたいと皆が思えるよう音楽、美術、文化活動も充実させ、海を眺めながらランチやお茶ができる。海を見ながら病気療養、介護が出来るそんな街を希望します。
294	災害に強い町づくり。広報の充実（設備）。若い世代が残れる町づくり。
295	仮設住宅に住んでいる町民の皆さんが、2年後にちゃんと住む場所に落ち着ける様に街づくりしてほしいです。そして、子供たちが安心して遊べる町並みにしてほしいです。大変かとは思いますが、漁業・商業・スポーツの町、女川の早い復興を望みます。
296	港の見える丘に住宅が有り潮風の吹きぬける町にしてもらい若者が働き場が有り年寄りが安心して住める町

297	ゆぽっぽの様な、また集まる場所がほしいです。
298	仕事をするにしても飲水の整備をしてほしい。
299	スポーツ施設、メモリアル公園などより住宅建設、人の住めるところを希望します。
300	今後の女川町の町づくりを考えますと、水産の町女川、観光の町女川、原発の町女川を三本柱に雇用を創出し、若い人たちが安心して生活し、町の復興に積極的に参加できる環境整備をして頂きたい。女川町の復興、再興、発展には若い人たちの力が必要だと思います。町の人口減少に歯止めをかけ、住みよい町女川、安全な町女川、子供に笑顔のある女川、いろいろな分野から御支援頂き町民一体となって皆さんと頑張りたいと思います。
301	安全で安心して暮せる町づくり。そして仕事・病院への便利性。買物の便利性。安全な交通。道路安全性、特に崎山公園付近です。
302	自分の気持ちです復興にあたり女川町初め大変ご苦労様です。復興に先きがけ女川町を元の姿に戻しながらも新しい女川町を目指すので海の産業を中心に進めて行くと同時に今まで女川にない全国から注目されるような観光スポットを願っております。色々な面で時間はかかりますが、少年時代は石浜～指浜までの桜並木が今でも目に浮かびますぜひ桜ロードをまた崎山公園も想いでがあります。また女川町に夜の灯を多く灯す事により新しい女川がよみがえるのではないでしょうか。下から見る桜も美しいが見下す夜の女川町も美しいと言われるような町を目指し取組でもらいたいです。一句　春桜、光り輝く、夜の町
303	島（出島）での養殖業の再開は女川町にとってとても大切な産業だと思いますので、島にも是非インターネット（光）ができるようにしていただきたいです。女川町と島との伝達手段、又全国的な情報集や発信のためにも集会場にパソコンの設置もよろしくお願いします。
304	できるだけ町内に住みたい。病院に通院できるところ。
305	・居住地の設計は、高齢者にやさしい設計であってほしいと願います。 ・町中心部の早い復興も大事ですが、小さな浜の方や離島の方も住んでいる人数に関係なく、目を向けて行って頂きたいと思います。 ・被害の大きかった街だからこそここまで出来たという様な、女川独自の防災設備、体制。他の地域の方たちが、手本にしたい、見に行きたいと思うようなものを作って頂きたいです！ ・あらためて「ふるさと」の大切さを思い知らされたこの震災。皆さんが本当に力をなくし、心傷つきました。が、残された人達が力を合わせ頑張りましょう。少しずつ少しずつ取り戻しましょう。「ふるさと」をです！

合計305意見

4.心身ともに健康なまちづくり《保健・医療・福祉》	
（1）避難所、応急仮設住宅での健康被害の予防	
1	大規模な被害はなかった。（塀や車の損壊あり）とは言え、体力的にも金銭的にも大変な生活となりました。復興は大きな事業が優先とは思いますが、例えば仮設に居られる方の中の弱者にも、注意深く見守ってくれるような組織とまでも行かなくても、優しい町であってほしいと願っています。 ・大変さは承知の上ですが、町の情報とかきめ細かな変化を知りたいと思います。家にばかり居る者には何も知りえないので。
2	自然豊かな女川町が震災（津波）でこれほど大きな被害になるとは思ってもみませんでした。変わり果てた町を何度見ても今だ信じられない気持ちです。雪の振る寒い日に大勢の方が亡くなられたことを思うと心が痛みます。約30年住んだ町なので、一日も早い復旧復興を願っています。半年も経つのに今だ避難所で生活されている方もいるので健康面など心配しています。1日も早く震災以前の女川に戻ることを願っています。店舗や公共施設など再開してほしいです。
（3）保健・医療・福祉の連携による保健サービスの提供	
3	高齢の為、特に要望無し。老後の生活が不安。
4	小さな町女川です。でも福祉医療が一番二番でなければ町の人達は便利なところに出て行ってしまいます。だんだんには交通も復旧しますが、車の運転できない人、障害持っている人、私も3月11日の震災から五ヶ月、いろいろな障害を持っている人に買物が出来ないといわれたりしましたが、私も障害を抱える子供がいますので区の民生委員さんに相談してといいましたが福祉の方でも大変なのは分かりますが、目が届いていませんね。
5	1番に安心安全であること。町の活性化のために、町外、県外から観光として魅力ある町になって欲しい。高齢者や子供が住みやすい町。水産業界を高めてほしい。保健医療福祉のモデルケースになって欲しい。
6	震災前と同じ福祉の町に。若者達が仕事のある町に。
7	高齢なので、体が不自由になり、歩けなくなったら、町内の施設に入所したいと思っています。早く、施設、社協さんが、運営するといいですね。（女川町民の方々と（大きな施設を作っていただいて）お話したいです。）
（5）生活環境に応じた町民の自立した生活の支援	
8	老人の住みよい町にしていただきたいです。
9	町立病院、老健施設など老人には恵まれていると言える。財政的にはますます苦しくなると思うが、最低限に縮小してもいいから維持してほしい。高齢者率がますます高くなる。健康知識の豊富な人も掘り起こせば結構いるはずです。どんどん活動していただき病気予防、医療費の無駄に貢献していただきましょう。（組織作りが必要）。　町長さんはじめ、役場職員の皆様は一生懸命、公務員問としての使命を十二分に発揮し、私たちのために働いていただきました。特に町長さんには、心労いかばかりかとお察し申し上げます。ありがとうございます。まだまだ道半ば、どうか、お体に留意されてお励みください。

（6）地域医療・保健・福祉施設の整備と安全性の強化	
10	病院が一つなので病院の数を増やして欲しい。
11	町立病院に小児科や産科を置いてほしい。石巻へのアクセス道路やそれ以外の避難道路を作ってほしい。
12	町立病院を完全復興させてほしい。100円シーパルバスの復興。ゆぽっぽのような温泉があるといい
13	老人にやさしくない町になってほしくありません!!町立病院を中心にするとの事ですが、車イスの人、老人には高台はなかなかしんどいです。車を運転しない人には高台までの坂はしんどいです。女川に戻りたいですが大変です!!
14	現在の福祉施策を継続・向上させていただきたいです。出来るだけ早めにこの指標を公に発表して欲しい。
15	・高齢者が多い町です。医療の充実を図って頂きたい。　・各地区の避難経路の充実。
16	より安全で年よりが多くなって来ているので医療の面をしっかりしてもらいたい。みんなが安心してたのしく住める町づくりをしてもらいたい。役場でも手続きに行ったらあまり面倒でなく、なるべく間単にしてもらいたい。
17	老人でも安心して暮らせる町。老人福祉施設の増設、病院の充実、交通面での充実を望みます。
（7）保健・医療・福祉その他	
18	本当の意味の有る町づくり。漁業だけでなく、福祉の町等、人口を止める案。若者が定着する案などを願います。
19	私のような一人暮らしの老人の為に老人ホームがあり、老後をゆっくり過ごせたら良いかなと思われます。

合計19意見

5.心豊かな人づくり《人材育成》

（1）安心・安全な学校教育の確保

1	・子供たちが伸び伸びと遊べる公園、広場を作って欲しい（浦宿区に公園が無い） ・女川に続く道路を作って欲しい。R398が通行止めになると困る。 ・住宅地の提供 ・道路冠水をどうにかしてほしい ・第一小学校に早く通学できるようにして欲しい
2	子供の遊び場を前より増やして欲しい。子育て支援センターはいつから再開するのでしょうか？
3	・保育所、小学校、中学校のイベントを実行してほしい。
4	現実と夢をどう取り込むか、女川の将来に大切なのは子供達が社会に出ても自在に対応できる力をつけさせる教育が最も大切であると思う。親の姿を子供は見ているので、大人の意識ももっと大切だと思う。
5	高齢者のため、早く女川に住めるようにしてください。
6	これからの女川を担う子供達を大事にしてください。
7	女川町で働いていて、子供の成長も女川で見守っていく予定です。ただし、高校（女川高校）が廃止になり、今後どのような進路へ進むかで他の町へ住むことも考えますが、親とも離れるわけにも行きません。高校（石巻圏内）の通学バスも視野に入れ、成長の過程を安全に安心に暮らせるように、女川町役場内での決定、情報をクリアにしてお知らせ願えれば不安も少しは解消されるのではと思います。又、大人の私も資格、年齢等で就職も限られていますので、雇用の場（就職先）も大幅に拡大をしてほしいと思います。旭が丘地区、浦宿地区、上五区、上四区地区等にも土地はあります。しっかりと各地域を巡回して、町づくり家作りをしてほしいと思います。
8	子供達が安全に暮せる場所に早く我が家を建てたいが、土地が確保できるか心配。3年後には二人目の子供が小学校入学なので、それまでに全て落ち着きたい。
9	世帯主の仕事が女川にあり、子供たちもこの町の学校に行くことを望んだので、ここに留まりました。子供たちの環境（通学、運動施設等）を早く改善していただけるよう、お願いします。実際子供たちの環境を考えて他町へ移転されている方は多い。過疎化しないよう、一刻も早い対応をお願いします。

（2）生涯学習・文化・スポーツ活動の推進

10	「まちの魅力」とは何か？特に若い人々を中心に「この町に住みたい」というまちづくりは何か？生活基盤が整えば、最終的に文化振興も含めた「生涯学習」のまちづくりを推進することにより、町民一人一人の豊かな人生を支援（応援）することである。
11	・最低限、町内の子どもたちが入所できるよう保育所を再開してほしい。このままでは若い人たちが町外に出て行ってしまう。 ・第一小学校を早く再開してほしい。早期再開が困難である場合はバスの運用を見直してほしい。低学年であっても16時まで学校にいなくてはいけないのはかわいそう。 ・女川商工会以外のスーパーの誘致をしてほしい。商工会は価格が高いと感じる。 ・町立病院の早期復活してほしい。

12	小さい子供がいても安心して生活できる環境を整えてほしい。（保育施設、支援センター等々の充実）。震災後、第一保育所のプールぐらいにしか行きません。もっと親と子が遊べるような施設やサービスを充実させてください。
13	・子供が安全に暮らせる街。・震災に対応した設備、意識向上
14	子供が楽しく遊べる安全な場所がほしい。公園や児童館など。
15	子供やお年寄りが安心して暮らせる環境を優先して整えて頂きたいと思います。お年寄りの施設も以前のように増やして頂けると家族はもっと動けるようになり、助かります。子供達は波が道路まで来ることに不安を感じています。出来るだけ早く防波堤の設置をお願いします。
16	気軽に運動を楽しめる街になって欲しいです。もともとの女川の道路はとても狭く、町中をジョギングしたくても、危ないところが多かったので、街の景色を楽しみながらジョギングやサイクリングが出来る道が欲しいです。3on3、フットサル、スケートボード、テニスなどができるコートや花の名所を作って、町外から来た人に女川に住みたいと思われるような街になってもらいたいです。
17	・若い世代が女川から離れていかないように対策を。　・町の中心部の街灯を早く取り付けた方がいいのではないでしょうか。気持ちも違うと思います。　・女川町は、お年寄りに優しい町ですが、これからの事を考えると、子供にやさしい町づくりが大切ではと思う。このままでは子供の数が今よりも少なくなる。
18	女川町に人を引き止めておくには、老人も大切ですが、若い人、特に子供のいる人を中心に考えるべき。若い働き手がなければ、子供たちはどんどん女川を離れていくことでしょう。保育所の件にしても、帳面上のことしか出来ず、固い頭であれもダメこれもダメでは、どんどんもっと若者はこの女川を離れていく。その辺のことをもっと考えて事を進めるべきではないでしょうか。
19	安心して子供を預けて仕事をしたいです。
20	子供が安心して暮せる町、島を目指して復興の中心に子供を置いて、これからの町づくりをすすめていただきたいと思います。

合計20意見

その他

（1）町の復興全般に関する意見

1	女川町内の商業地用漁業もすっかり出来ない状況が続き、高齢化も益々進行している中、とても不安な町になっている。近隣町外も同じように震災の影響が残る地域と全く影響の無い二分しているのが実情で、このまま人口流出も止まりそうにない石巻地域、そして女川町に住むのは大変な不安と苦痛こそあれ、精神的に参りそうである。このようなケースを取っても、はたしてまちづくりに生かされるものやら。宮城県の他地域の町長さんや、対策室の考えをよくTVなどで表明していた場面を振り返ると、女川町はとても積極性があったとは思えず、まさしく陸の孤島化しみじみ思わされた。宮城県や石巻市、東松島市と協力し早々に明確な実現可能な事業から整備し、いつまでにと時期も数えながら進めて行ってほしい。
2	今後世帯数の減少等は避けられません。従来の地域コミュニティは、重要であり尊重しなければなりませんが、限られた復興財源を有効に使用する必要があります。町民には、復興のため予想されるマイナス面も十分伝え、理解して頂く必要があります。町民に安易な、都合のいい話だけでなく、現実的な再建を示す必要があります。100％を8年でする事より、60％くらいでも3年で可能になる施策を選ぶべきです。時間がかかる程、世帯数は減少するでしょう。町が今回示したビジョンは、従来の町の規模も想定しているように思いますが、私は、3割以上減少しても町が成り立つビジョンが必要と思います。
3	早期の再建を望みます。
4	復興の5つの柱、この計画を早急に進めていただきたいと思います。他県に移動した方も故郷（女川）が恋しいとの事、早く戻れる日を一日も早く、計画を実行して頂きたいと思います。
5	時間をかけてもいいので、元の女川に戻れたらいいなと思います。
6	一日も早い復興を
7	もう二度とこんな思いはしたくないので、そうならないようなまちづくりをしてほしいです。
8	一刻も早い復興をお願いします。
9	入社以来、女川町で勤務しておりました。女川町が復興するまで女川町勤務を続けたいと会社に申告しましたので、非力ではありますがお手伝いしたいと考えております。
10	時間がたつにつれて、何から手をつけていいのか、私自身わからないが、千年先を見越して防災しても自然には勝てないと思うし、堤防を数十メートルの高さにしても見えない恐怖があると思う。専門家が出した案はきれいで、メモリアル公園などもあるが、現実を見ると、今住む場所、今働ける場所と地盤沈下したところをどうするのか？　盛土をしても崖崩れをしたら、また被害の拡大にならないか？　漁業特区にしても、町の産業である養殖の取り組みなど、若い人たちの知恵や意見を聞いて、未来の女川をどのような町にしたいか取り組んでほしい。また原発に対しては女川も福島も同じで、町としては潤い、我々も恩恵にあやかっていたのですが、事故が起きてからでは女川のみならず、日本全国までも被害が及ぶので、未来の子供達のためにも考えてほしい。

11	1.復興計画の人選について予期せぬ天災は学者の方々も必要ですが、女川町には表面に出ない優秀な意見を持った人達も多々います。町づくりですから広く20代から70代の人たちを各一名づつ年齢別に入れ肩書きにとらわれない一般町民、特に女の方半数男半数で女川町という町に根を下ろすことを一番に考えることの出来る人たちの意見を聞くこと。2.今回の被災で人間関係が後々尾を引くことのないように、特に町会議員の無能さがよくわかりました。議員は最低の人数で決断力を発し、町のために努力できる人を選出したい。3.復興に向け大変でしょうが、頑張ってください。◎一部損壊は自分で直すのですか？　これは天災です。不平等だと思います。この返事は後日必ずお聞きしたい。
12	女川町の早期復興をできる様に協力していきたいと思います。
13	震災の翌日、避難した総合体育館から自宅へ帰るための道路がガレキで通れず、町立病院から熊野神社の境内を通って帰りました。町内に住んでいたのに初めて登った熊野神社からは、まるで爆撃にあったような景色が広がっていました。その後、熊野神社から撮った震災前の写真を見せてもらいましたが、女川がこんなにもきれいな町だったんだと、改めて感じさせられました。　復興計画（案）が出され、居住、産業、就労、冠水など課題は山積みしていると思いますが、「この町で暮らしたい」と思えるような町づくりをしていただきたいと思います。
14	町民の方々、特に家をなくされた方々のためにできることは何でも協力したい。絶対に復興させたい！
15	女川を愛する人が多いです。一時避難で他地区に行っても戻ってきます。皆が安心して暮せる女川を作ってください。
16	復興が遅ければ遅いほど女川町内に住みたくとも住めません。町外に住んでいると女川町の情報が得にくいので、工夫してほしいです。
17	早い復興を望みます。
18	一日も早い復興を願ってます。
19	・女川町の原発はどの様になるのですか？　復興第一かも知れませんが、女川町は原発がある町ですので、○か×はっきりしてほしい！　・現在、万石浦住宅に住んでいるのですが、住宅の前まで海水が迫り、普通の生活に支障が出ています。早く道路などの嵩上げをしてほしい。　・なぜ復興計画は女川の中心地なのですか？津波の被害の無かった浦宿、針浜、大沢などでもいいのでは？
20	早期の復旧、復興をお祈り致しております。
21	復興計画策定委員会でも、今後の町づくり･･･会でも、今後は女川で頑張って行く若い人の意見や構想等（各界の代表者の意見も勿論大事ですが）、40代、50代の方々の意見大事と思います。私が例えば文化協会や老人クラブ、その他の会議に出て、いつも感じることですが、自分自身年輩故、その都度代表者は年輩者なりに人生勉強した円熟した考えもあると思いますが、若い人達の女川を思う気持ちは決して負けない情熱があります。今後よろしくお願い申し上げます。
22	3,4年で住めるような状況にして欲しい。
23	復興期間8年間と言わず大手企業を入れていくらでも短縮出来ないかね。若者が居なくなると思う。被災者が入居している公共の施設が空いたら今迄通り町民に開放して下さい。
24	以前の町のようにして下さい

25	町づくり①現在の女川湾を二分の一（半分）にする。人口減少、老齢化、世帯数減少等を考慮すると10年後には現在の町全体（諸々の件）の三分の三くらいの町になる。これを→基準に考えると復興計画は今回のゾーニングイメージ図案よりも全体的に大きな町づくりが出来ると思う。町が少なくなると観光客等々は訪れなくなると思う。復興町づくりは石巻市の復興計画を検討しながら特色の町づくりを変えねばならない。3･11以前の女川町現状維持は無理だと思う。復興を考えながら発展の事も考える必要がある。
26	今はただ、いつか必ず本当の笑顔に戻れる日がくることを切に願うだけです。女川町民全ての方に心から幸せが訪れる日を信じています。毎日元気に登校している子供達の未来のためにも前を向いて歩いて行きたいと思います。
27	震災前の女川町に戻るには長い時間がかかると思いますが、私達が生きているうちに実現できますよう願っています。
28	一日も早く震災前の女川の町に復活していただきたいと願っております。
29	･早期の復興を望みます。 ･役場の方も大変かと思いますが、住民、企業、県、国等協力してがんばっていただきたいと思います。私も出来る事をご協力していきたいと思います。
30	●実施工程策定と応急事業の同時進行　　家と職場を失った住民が人口の過半数を占める今、ここに残っている人達を支えているのは町への愛着心だが、失業手当も切れ就労の場もないとなれば、時間とともに経済的･社会的な理由と将来への不安から町を離れざるを得ない状況に追い込まれ、町を愛する人たちがいなくなれば、町の復興プランは絵に描いた餅となる。社会基盤の復旧整備に関するスピード、実施工程策定と応急生活支援施策の並走は復興プランの大きな課題と捉える。早めに復旧の地盤高を示し、仮設でも就労の場を復旧させてほしい。 ●コントロールポイントを押さえて円滑な事業実施を　　時間的制約を前提にすれば、復興をスムーズに実施するため実現可能な現実的プランを策定し、ハード、ソフトともにコントロールされるポイントを押さえなければならない。また、プランを考えている時間と並行して、居住場所の確保（既存宅地の補強、恒久宅地の造成、町営住宅の整備）を示し、住民に見通しを示すことで住民が離れるという最大のリスクを回避することとなる。　コントロールポイントの例･･･ハード:水路法線、女川、JRトンネル高、公共施設配置位置など。特に役場と消防署の位置:鷲神地区･女川地区を見渡せる場所が最適　　ソフト:経済活動の場の確保、恒久居住地の確保の見通し。土地の売買規制又は売却希望者からの先行取得。後日区画整理する際の公共減歩用地とできる。 ●国土の危機と捉え地盤沈下対策は国直轄で　　牡鹿半島は沈下が著しく、女川湾をはじめとする各漁港は、満潮時には海面下となっている。この地殻変動による異常な沈下は、国の危機と捉えなければならないのではないか。一自治体での災害復旧ではなく、「国土地番再生復興特区」として国の直轄で復旧させるべき。 ●計画への追加要望　　浦宿地区の計画が盛り込まれていないが、浦宿駅付近が冠水すると街は孤立する。北部バイパスを含めて石巻市までのルート整備については今より増して強力に働きかけ、万石浦沿岸地区の埋め立ても計画に盛り込むべき。また、万石浦は津波に対して安全であることもわかったので、鈴木衛生社と浦宿駅の間の山を崩し浦宿駅前を埋め立てれば向上用地として活用でき、県が計画している国道（旭ヶ丘万石浦線）を直線で398号へ乗り上げることもできる。　　の中腹に高さを示す印があるだけでよいと思う。

	●ゾーニングについて　　現市街地をほとんど公園化することには反対。海面＋5mの地盤高を沿岸部だけにとどめ、避難道を整備することで従来通りの商業地としなければ動線からも商業は成り立たなくなる。運動施設をつぶさないで清水地区を活かすとすれば、第一中学校と一角付近を結んでダム式堰堤を作り、道路と女川はアンダーパスで水門を設ければ津波を防ぐことができるのではないか。倒壊ビルを啓蒙のために保存する理由は理解できるが、それは町外の第三者から見た意見で、生活者目線からは反対。空洞化した地盤に建っていたビルが浮いて倒されるのは不思議ではなく、狭溢な市街地にいくつもの遺構は不要で、調査が終わったら撤去し、病院の壁や山 ●自然と共生し、津波を減勢する斜面構造物を　　町は段差のある構造になると思うが、コンクリート擁壁やブロック積ではなく、減勢も期待でき、将来は自然に溶け込む自然石溶け込む自然石を利用したブランチブロックのような人口斜面と見えないものを採用してほしい。 ●水路出口に工夫を　　水は全て側溝・水路から逆流してくるため、岸壁の嵩上げ時には遊水スペースを設け、海への出口には全て逆止弁を設けて冠水被害を最小限にすべき。 ●住民ケアと復興推進の行政機構改革　　平常時とは異なる状況下で、復興と住民ケアを並行して行うための組織が必要。住民の半数異常が仮設住宅に居住する現在、仮設住宅・町営住宅建設・既存宅地補強・再生住宅建設相談対応にあたる「住宅課」を新設し、住民の不安解消を図られたい。
31	安全で安心して暮らせる町づくりを望みます。
32	女川町のため、町民のため、一日も早く復興を願います。
33	特にございません。再建にあたっては、いろいろな困難はあると思いますが、計画に感謝申し上げます。震災前のような活気ある女川町と一日も早くなるよう、希望もって歩んでいきたいと思っております。よろしくお願い意申し上げます。
34	早い再建。
35	とにかく先が見えるようにしてほしい。どうなるかわからないのが一番不安です。
36	一日も早く女川に帰りたいが、帰っても店も無く銀行も無く何も無いので帰っても生活が出来ない。以前のように早く生活が出来るようになってもらいたい。住み慣れた自分の地区地域の人達といっしょに暮したいと思います。
37	とにかく早く復興してほしいです。津波が来ても安心して住めるまちづくりを1日も早くお願いします。
38	女川町復興計画（案）の内容をよく読ませて頂きました。まさにその通りだと思いました。一日も早い復興と町民のふるさととも言える女川町が発展されることを願います。
39	老人の声としてお聞き下さい。これからの女川に思う事は沢山あります。災害から5ヶ月間の不満は書かない事にします。町外の仮設住宅に移動したのに町民の方々が、また女川に戻れる様な復興対策を考えてほしいと思います。もし戻る事がなかったら女川はどうなるのだろうと不安です。復興計画に携われる方々は学識のあるプロの先生なので、町民の一人として期待しています。
40	現在の場所へ居住してほぼ一ヶ月経過いたしますが、今回初めて女川町が発行する文書で推察することができました。未だ担当部署などで、事務処理の最中とは存じ上げますが、今後は広報紙、お知らせ文章等の情報をぜひ発送していただきますよう、お願い申し上げます。遠くの場所へ来て見て現在の女川町を知りえる唯一の楽しみがわいてきそうな気がいたします。所属する女川町文化協会のこと並びに民謡舞踊連絡協議会の今後の行方も、他地域の情報交換も取り入れて早く、元の元気な女川にしたいと望んでおります。

41	出来るだけ早くお願いします。
42	震災により問題が一度に降りかかり生活して行くにも日々危機感があり生活の拠点を町外へと移しざるを得ませんでした。病院・仕事・居住においても安定している土地へ自然と望むものです。離れていても故郷は”女川”です。出来る事なら何年経とうがいつかは帰りたい。自然災害に見まわれようが海と山に囲まれた女川は、最高です。まちづくりと言っても一概に作り上げて行くのは難しい。これならば今すぐにでも女川へ戻ろうという何かがないと…。町外に居ると，女川の情報は皆無に等しい。ネット以外で紙面等で知りたい人もいます。
43	震災前から防災意識の低さが見られていました。この震災の教訓を生かし、さらなる防災への取り組み強化。 ・地域防災の拡充へ ・町民の声を取り入れ、復興後も ・住み良い町、防災に強い町へ
44	今回の東日本大震災で被害に遭われた人達が本町を離れても又戻って住む事を希望する安全な町づくりを望みます。
45	一日も早い復興をお願いします。
46	1日でも早く安心して住める女川町に切にお願いいたします。
47	上四区、区長をを早く決め役員や区民全員参加の会議を早く再開してほしい。
48	安心して暮らせる様、町長さん皆さんお願い致します。
49	これだけの大きな震災なので、時間はかかると思いますが、1日も早い復旧を宜しくお願いします。毎日が、これからの事を考えると、不安でなりません。女川町の復興の様子が、1年に一回でもいいですので、分かる資料をいただけると、希望につながるので、お願いできると助かります。※女川町の復興に向けて、関係者の皆様、本当にご苦労様です。どうぞ、お体を大切に無理をなさらず、町民の手が必要な時は、声をかけて下さい。私達の女川ですから。
50	近所の友達が多数亡くなっておりますし、今皆とも会えず本当に淋しいです。せめて残りの人生を顔見知りの人々と暮せたらと思います。一日も早い女川町の未来に希望が持てて、生きる力になってくれたらと心より願っております。
51	現在のところ、日々の暮らしに精一杯で女川町の町づくりの考えまではまだまだ先の事です。毎日が不安との戦いです。現在は病気の子供と生活で、いつ回復するか分からない状態で、女川に戻りたい気持ちは持っておりますが、多分戻る頃には自分たちも80歳になっている頃でしょう。何の答えにもなってなくて申し訳ございません。

52	1日でも早く女川町が復興して震災前の活気ある港町に戻って欲しいと願っております。私も女川町の復興への何かしらの役に立ちたいと思っておりますが、仮設住宅もはずれ、住む場所もなくやむを得ず町内から離れております。大して力にはなれませんが少しでも町の力になりたい、何かお手伝いをしたいと思っております。町内を離れている為、町内の細かい情報が何も分からないので、少しでも女川町の情報を知りたいと思っている毎日です。女川町に戻れる日を心待ちにしております。
53	•できるだけ早い復興を望みます。 •町民の減少が心配です。
54	住宅について。津波被害を受けた場所の地震のみの（場所が近隣である場合）線引きはどのようになるのか不安ばかり。自宅を取り壊した後、住める場所であると認定されても再建築の予定も希望もありません。道路向いの知人の多くが亡くなられた地域で、暮らしてゆくのは精神的にも重く、苦しく、自信がまるで持てない状態です。女川魚市場での仕事を仲間たちと共に続けてゆく為、復興への道を探り、4月から一日も休まず仙台との往復をやめずにおりました。町の復興に続く道は市場再建と故郷女川をあきらめなかったからです。女川を離れず、暮らしていたかったのですが、住居が見つからず、持病の治療があり、避難所は無理と断念。ついに仙台にしか、住まいがありませんでした。仮説申請していたため、仙台のアパートは5ヶ月間自腹でしたが交通費に泣いても、帰る場所は女川しかないと思っています。
55	「復興5の柱」の早期実現で、震災前の活気（観光と産業）あふれる町になるよう希望します。
56	この度の被災にあい、町職員またボランティアの方々の厚い支援には心から感謝いたします。仮設に入居、または親族に身を寄せている方々にとっても心の休まる日はないと思います。住宅ゾーンがどこになるか、私たちはただ復興委員会による復興に考えをゆだねるほかありません。私達年齢は過去、チリ津波にあってます。若かったので苦労とも思わないで復興のさまを見てきましたが、被害は甚大なものですので、高台の構想は絶大なものです。平地があればいろいろと考えもあると思うんですが？　これからの子達の成長に色々の諸問題も出てくると思いますが、日本国上げて頑張り、復興に向かって進まなければと希望がわいてきました。それにしても女川町職員の方々の考えも皆でよく耳をとぎすまし、頑張るつもりですが、職員の方々も心が痛んでいる人々の聞く耳を持って親切に指導の程をよろしくお願いします。部署が違うと手を引くことが以前はありましたが、そんなことのないように色々と相談に乗ってくださることを心からお願いします。
57	町づくりの構想は聞きましたが、一つ一つやっていたのでは、出来た時には町には年寄りだけになってしまう気がします。住む所も仕事先も安全もすべて同時進行で進まなければ女川に住める若い人はどんどん少なくなると思います。◎若い人のいない町に未来はないと思います。
58	役場の方々にはいつも感謝しております。ご苦労様です。少しずつでも前に進めればと思っております。
59	安心して生活できる女川でありたいです。
60	町の関係者はいろいろと考え動いてくれています。自分も少しでも周りのためになるように動きたいと思うが、自分の家族、生活を守って行くことだけで精一杯です。5ヶ月過ぎても何も変わらない今･･･これから先どうなるのか考えても考えつかないでいます。仮設住宅での2年の生活もきっとすぐに過ぎてしまうでしょう。その後、どうのようになるのか不安でいっぱいです。

61	女川に嫁ぎ来て、生まれた所よりも生活を積み重ねた町、子供や孫たちの大切な古里、私は大好きな女川です。一瞬の内に娘夫婦も家も財産も失いましたが、家族が女川町に帰り、1日も早く町の復興に力を出したいとの言葉を聞き、私の心が明るくなりました。役場職員の皆様、御苦労様です。
62	復興にあたり5年も10年も待てない。もっとスピード感を持って復興にあたるべきである。
63	早く近所の方たちと会ってゆっくり話したい。それと高齢になったので女川に住みたい気持ちと不安が先に出て体調も芳しくない日々である。一日も早く昔のような女川に戻ってほしいと願っている。
64	町に残るもの、去るもの、全てが協力なくして再建がありえないので担当するものは誠心誠意頑張ってほしい。
65	地域としての伝統や文化などがあると思うが、災害に強い、また将来性のある町づくりに努めて欲しい。よろしくお願いいたします。
66	住み良い町。
67	女川町に、町民が安心できる、住みよい町に早く復興をお願いします。仮設住宅に入っている年数2年、出来るだけ早くお願いします。無理と思いますが。
68	•一早く復興に着手せヨ。•復興が見えない。
69	生活を立て直すためにも、もっと義援金を配ってほしいです。
70	家や家族を失った人たちの住まいをよりよくしてほしいと思います。
71	住宅地を早急に提供できなければ本世帯のように女川町内に居住したくても他の地域（町外）に宅地を求めるしかなく、女川町を離れてしまうことになる。町民が少なくなればなるほど町の発展（復興）に支障ができるのは明白である。町民を町内に留めるための施策が早い段階で興じられることが重要。自宅跡もどのように対処していただけるのかわからず、そのままの状態である。現在は制限がかけられ、何もできないが、後になって「各自に任せます」などということのないように責任を持って対処願いたい。
72	今までの女川とはちょっと違う、ステキな町並みにして欲しいと思います。
73	町づくりに時間がかかれば町外への流出が大きくなるのでスピード感も重要と考えます。
74	大震災を期に長年に渡って築き携わってきた仕事を年齢をも考え合わせ、不本意ながら存続する事が出来ないと判断し終止符を打ち廃業する事を心に決め、女川を離れる事、離れざるを得ないこととなりました。今まで町の一員として種々の活動に参加してきましたが、町を離れえることで、これまでの地域の人をはじめ多くの人達とのかかわり、そしてその絆が失われることの寂しさ、本当にやりきれない気持ちです。私のように震災の為に、やむなく町を離れた人々も大勢いると思います。出来れば、元の住民町民として、今後の復旧、復興されていくわが町の歴史に参加かかわって、協力できたならと思っているこの頃です。
75	町内に住んでなくても女川町の復興を心から願っています頑張ってください（女川町が好きだから）
76	安心第一安全にしてください。

77	今県外に避難生活で市営アパートで一人でおりますけれど、私は早く女川に戻りたい気持ち。娘に仮設に入って引越しなどで又大変だから24年3月まで家賃がかかりませんがこの先心配です。女川に4回くらい戻り、家の回りとかお墓参りとかして帰っており、早く自分の住むところを見つけ安心して老後暮したい気持ちでおりますので、よろしくお願い致します。役場の皆さんご苦労様です。体に気をつけて頑張ってください。
78	安心、安全な町づくりを宜しくお願い致します。
79	なにより安全な場所に住みたい。海の近くで、あぶないと思うけど、女川をはなれたくないので、なんとか復興してほしいです。
80	・住宅、特区地域のこれからの様子が気になります。店の後地　平成27年度以降が楽しみです。女川浜元通りの復活を夢みてます。頑張って下さい。
81	復興計画の5つの柱を見て私たち町民が生活していく上で一応賛成します。しかし早い発展に向けて進んでください。お願いします。
82	町民が確実に減少に向かっている。子供を始め町民の増加に向けどんな方法があるのか。災害に対する対策は大変かと思いますが、あらゆる知識を集約されて、他の見本となるような斬新なアイディアを積極的に取り入れ、楽しい町づくりをされたい。この度の災害における町のご苦労と各方面からの応援には本当に感謝します。私達も懸命に頑張り、次世代へ繋げてゆきたい。
83	女川町復興計画が最終答申された中で、各業界がそれぞれに復興に取り組むことになると思う。
84	同封した別紙に記載しました。※別紙あり
85	まず住み所の確保が一番かと思います。このままですと町外への人の流出は止まらないでしょう。仕事もない状態では仕方の無いことではあるにしても、先方のアルバイト等の関係から、そちらからの出向の方が多いと思います。基幹産業であはあるものの、すでに町外への転出を決定した業者が多数あると聞きます。ハッキリと期限と仕事（当面ガレキ処理など、町内の人間を採用すると）を明言していただきたい！　聞かれて知るより、リード的に早くしていただきたい。夢でなく、希望を持たせるべくお願いします。
86	震災前は小乗浜に小規模な工場を借りて魚の卸販売をしていましたが、現在の所岸壁のかさ上げも進まず早く整備をしてほしい。
87	一日も早く復興出来る事を願いたい物です。
88	住める家があるので何も要望はありませんが、一日も早い復興を願っています。何をするにも町から出ないと用事がたせないので、……持ち家がなければこの町から出ていたかもしれません。とりあえず、以前のような女川は無理としても早い復興を祈っています。
89	今までと同じ生活ができれば幸いです（生活保護で暮らせれば）。
90	1日でも早く町づくりに取り組み、職場を確保して欲しい。若者が定着して安心な暮らしが出来るように。

91	年齢的に完成された町を見ることは出来ないと思います。復興の考え方の図を見て想像しております。女川にあるもの。”終着駅”　のんびり乗って安心して降りて、ゆっくり地場水産物の食事をして女川駅周辺を歩きたいです。
92	女川町の町役場の皆々様方また、ボランティアの皆々様方、毎日ご苦労さまです。ゾーニングイメージ、良き復興に希望いたします。
93	地元に戻って生活したい気持ちはある。しかし、高齢のため単身で生活することは難しい。自分と同じような高齢者は多いと思う。現状では復興がすぐに見込めないものであり、戻ることは難しいと思う。親族も皆、今回被災していることを思うと、面倒をかけることもできない。
94	皆様日々毎日御苦労様です。わたくし年老いた一老女でございます。この世はひっくり返されてしまい。みんなで力を合わせいつかはみちがえる女川の町になりますよう。心より信じて居ります。がんばってください。
95	一日も早く復興して下さい
96	役場職員を減らす方向。　　人口が減っているのに、やめないのはおかしい。数が減っている。守られる人だけのうのうと生活できるのはどうかと思う。　　•職員を減らす　•有識者を外部から連れてこない。土地の事もなにも理解していない者に、この女川を動かせないし、妙な事になる。•漁業の町といっているが、皆個人の利だけを求めている。　水洗、浄化槽できれいな環境に見えるが、年金生活では無理な金額になるのでは？　生活費がなくなる。
97	現在おかげさまで仮設住宅に入る事ができ、感謝しております。これからの事を考えるにあたり家は一階まで浸水し取り壊しする事としましたが、できればその場で家を建て直し再建したいと思います。息子に意見は家を建てるならば、石巻地区の方がいいのではないか、女川に残る意味がわからない。8年～10年の年月がかかれば、私達も定年になります。早急に町の考えを•••。
98	街灯がないので、夜間の安全性にとても不安です。子供たちも、向学館などを利用しているため、夜に外出することもあります。勤めの帰りなども暗い中とても怖いので、街灯の整備もしてほしいです。
99	一日でも早い復旧、復興を宜しくお願いします。
100	震災後、今の居住地で二ヶ所目です。たまたま女川に用事があって行きますが、やっぱり、ガレキがいっぱいの光景でも、女川に行くとホッとします。私も主人も女川で生まれ、女川で育ち女川以外でた事がありません。今回の震災で初めて、町外へ出ました。やっぱり空気が違うし、お尻が落ち着きません。特に主人は海が大好きなので女川一途です。私たちが元気でいられるうちに、新しい女川を見たいです。女川に戻れる日を心の支えにして、日々暮らして参りたいと思っています。復興までには長い長い時間がかかるのでしょうが、どうぞ、よろしくお願いし致します。がんばれ女川!!

101	アンケートについて。仕事に関するアンケートであるが、海岸、防波堤、その他海岸施設の不備なのに仕事の状況と問われても答えの出しようが見当たらない。漁業者が少ない支部とか、水場が少ないから復旧がいつか分からない現実は不可思議である。やる気のある者、現実に海に向かって出ている者には町なり県なり一緒になって手助けするべきと思う。今現在少しでも市場に何であれ水揚げしている私は人の何倍も頑張っていると自分で思う。これ以上は精一杯です。ムリです、一人では。復興案について。町民の代表は各区長である。区長の代表が一人入っているとはいえ、私の全く知らない中央の人達が協議し、町民の代弁者である町会議員さんも入らない（人選は誰がしたのか私には分からない）復興会議、だからこそ第一次の諮問で五部浦を一つにまとめるとか、そのような話が出てくると思う。余りにも我々一町民には考えられない話が出てきたものと考えます。私に言わせてもらえばこれからの町づくり案は航空写真にただ丸をつけ色分けして居住地、工場地、公園地等々、町はその色をつけ、丸をつけた地権者の同意を得たのですか。きっとこれからの話ですか。丸をつけた地権者が同意をしなかったらどうなるんでか。筏を入れて帆立を養殖しても油臭くないか、放射能は大丈夫か、大きな時化が来たら生き残った船は大丈夫か、漁民も明日のことが見通せない中で頑張っています。女川町の皆さんも（役場の職員）一緒になって水産の町を守らないと漁民が減少するということは人口も減るということを頭において頑張ってください。水産の町女川と言うのなら。
102	震災後の今は、復旧、復興が第一だと思います。その後のコミュニケーションづくりが大切であり、これまでのような、予算の使い方を見直しすべきと考えます。ハード面の復興後には”心の復興”も考えるべき。
103	体調不自由のため当地に賃貸でお世話になっております。買物するにもタクシー利用です。
104	地図による記載あり。
105	一日でも早く震災前の土地に戻れるのか示してほしい。
106	復興、復興といいながら復興の名だけ先ばしないでしょうか。町の場合土地もないし居宅はだいじょうぶでしょうか。
107	女川町に早く帰りたいです。津波が来てもどんな津浪でも女川町が高台になって被害が出ないような町になればいいなあと思います。早く早くもとの女川町になりますように。女川町のみなさんに、親戚・知人のみんなに早く会いたいと毎日思っています。
108	女川町の町づくりについては、まず、スピード感を持って進むこと。ただ、急ぎ過ぎないこと。一つ一つ確実に足元を見つめて進んでください。若い力が根付く、住みたくなるような環境を作ってください。理想だけを追い求めないで下さい。
109	津波や高潮の影響のない高台へ、安心して住めるように、又以前のような賑わいのある町になって、お年寄りも若い人も集まるように。
110	女川復興計画（案）の内容で概ね良いと思う。
111	現在は娘の家に居ますが、やはり女川へ戻りたい。女川町の避難先へ居ない為、いろいろな情報が入ってはきません。南三陸町の町長さんのように、いろいろメディアを使ってほしい。女川町と石巻市の町長、市長はダメだと、みんな口々に言っています。町長にがっかりしています。女川町役場職員の方々にはいろいろ親切にしていただき感謝しております。
112	以前のように女川に住みたいと思っていますので早期の復興を願っています。町外にいるので女川町の情報をよろしくお願いします。

113	すばらしい復興プランですが、国の最大の方針が示されていない。各省庁の縦割り行政で、許認可の特別なる配慮がなされて居ない事。実現には長期間がかかると判断します。
114	町は早急に方針を示すべき。遅れると人口が減少してしまう。
115	住民の意見の入っていない復興案では、意味がないと思う。資料には、『本計画に基づき…』とあるが、町民の意思がほとんど入っていない、復興案ではないのか？•現在。所有している土地の処遇や、権利など、はっきりしないままでは、生活に対する不安が募るばかりで、今のところ、この案には同意しかねる人も多くいると思う。また、復興案についても、細い所は、わからない住民が、ほとんどではないかと思う。町民、全世帯に、復興案の資料（改定していると思う）を配布し、その上で案をまとめるアンケートなりを実施するべきではないかと思う。
116	女川町復興計画に任せたいと思う
117	若い人達が多く住みたがる女川町にしてほしいです。
118	復旧期2年の間、町を離れる人が多くなると思います。それを食い止める為にも、この2年間はもっと具体的な計画、例えば復旧期に行く前の現在の負の資産の取り扱い、それがいつまでに終了？（負→0）になるのはいつか、それがいつから少しずつプラスになるのかがはっきり見えていないと思います。机上の空論にならない様に現実もしっかり見据えていかなければならないと思います。人口流失してからでは遅いと思います。子供達の教育に関しても並行して考えていかなければならない。小中一貫教育とか、物と人両面を考えてほしい。
119	女川町内の駅舎前や鷲神の方に街灯が欲しい。できれば速急に坂の街灯でもいいので設置してほしい。通勤の際危険です。
120	理想論に拘らず、現実的な見地から実行してほしいです。
121	町民が安心して暮らせる町にしてもらいたい
122	住み慣れた震災前の女川町が平成30年度をめどに様変わりした町の姿が整然と区画され住み良い町の様子が目に浮かびます。今は町外で生活を致しておりますが、40年余りお世話になった町にまた戻れる事を期待して、一日も早い復興をと心の中でエールを送っております。何もお手伝いできない身で残念ですが、皆様方には体に気をつけて頑張って下さい！
123	震災以降の女川町職員の皆様の行動、活動に対して心から感謝いたします。私たち一般町民と同じ被災条件にもかかわらず、不眠不休で仕事され、本当にご苦労様です。女川町を離れ、外から女川を見ますと、いいところばかり思い出されます。もうそろそろ六ヶ月にもなります。甘えてばかりいないで、頼ってもいいですから、一人一人が自立を目指してもいいのではないかなと思います。生涯センター、女川町立病院、ゆぽっぽなどなどすばらしい企画力のある職員方が揃っていると思います。声を殺すことなく吸い上げ、生かし、住みよい楽しい女川になることを期待します。

124	毎年、年に数回、盆、正月と、その他にも家族で帰省する息子たち、娘たちのためにもふるさとを失くしてはなりません。ふるさとを離れて見て、改めて、良き女川、住み良い女川の復興を心待ちにして、帰る日が来ることを念じております。
125	身内を3人亡くしました。人の命を守る事を基本にまちづくりを進めて欲しいと思います。
126	これからの若い世代の方々の意見を尊重し、なおかつお年寄りの皆様が元気に暮らせるまちづくり。山と海、緑と青、夢のある魅力的なまちづくりを希望します。
127	私も女川町に45年以上も住んでおりますが、年々人口減などで、空き地が増えて寂しい気持ちになっておりましたが、これからは災害に強い新しい町づくりを、元気のある町づくりを目指してもらいたいと思います。老人も子供も体の弱い人も安心して暮せる町であってほしいと思います。
128	震災後六ヶ月経過し、幾分でも落ち着いてきた感じはしますが、先のことを考えたとき、どうすれば良いのかなどと不安を感じます。特に生活の場がどうなるのか、基本は町の復興計画が一般の人には見えてきていないと思いますので、大変な事は十分承知しておりますし、意見、考えも色々出されていると思いますが、早く決断し、早く女川が復興するようお願いします。
129	先にも書きましたがいずれ必ず帰り、老後は慣れた土地、慣れた言葉の地区で暮らしたいです。町に残っていても、生計のメドも立たないし、子供達も呼んでくれたので今は埼玉県で暮らしていますが、やっぱり宮城が、女川が恋しいです。まちづくりに手を貸す事はかないませんが、一日も早い復興、そして元気な町に戻る事を心から願っています。思いもよらない形で町をは離れる事になって、今さらながら女川が大好きだったと思い知った気がします。花火大会、サンマ祭り･･･必ず、また復活して下さいね!!一口に高台に、と言っても簡単な事ではありません。でも、新しい町を楽しみに待っています。
130	まず第一にこのアンケートを取るのが遅すぎる。これまでの女川町の行政を振り返ると、一応こうやって民意を聞くふりはするが、反映されることは少ない。僕は女川町が生まれ育った町なので、出る気持ちは無いが、この町で生きていけなければ、考えないといけない。これからは町民を流出させないためにいい知恵をみんなで出していった方が良い。復興の名の下に、住民の意見を聞かずごり押しする政策だけはやめてほしい。
131	町づくりの要望についてとありますが、女川ではどの様な町にしたいのか町外で避難生活していると女川の情報が全然入って来ないので分かりません。なんか置き去りになってる様な感じがします。町づくりは町にお任せします。
132	高齢になった今、最後まで生まれ育った女川町で良かったナアーと思えるような町に発展（復興）して欲しいものと願っております。

133	本アンケートに基づき、具体的に町に残り住んで行きたいものか、聞き取ってその意思を現時点でも良く、その人数を把握して、その人口動態を基にして、町の将来設計も見通しが出来るものと思っております。常に行政と議会が一体となって、住民の意見を聞く場（機会）を設けて細かく説明をして、話し合いの中でお互いの合意点を見出し、妥協して行く事の積み重ねで理想とする女川の形が出来るものと思っております。先ずは、ここまでこられた女川町に携われてこられた方々のご努力に感謝いたし、今後も期待し応援を致したいものと思います。当方、余り目が見えず、厚いメガネをかけ、その上で虫眼鏡を持って字を書いておりますので、悪筆失礼します。町の事業計画において、その優先順位などを具体的に示すことによっても、住民の意思が変わり（決まり）将来の見通しも立てられることになってくると思います。
134	将来の町づくりのビジョンはわかりますが、明日、来週、来月、半年後と、近い期間での復旧復興計画が個人まかせなのでは？町づくりの進行役が有力者、裕福層なので、そうなるのは仕方ないと思うが、大多数の明日を迎えるのに不安を抱く人達のくらしを支えなければ、町づくりが完成した時には女川は町ではなく村以下、公務員と数社の水産企業のみになると思う。今すぐ手を。
135	東日本大震災から5ヶ月余り仮設住宅にもようやく入居でき、生活もいくらかは安定しつつありますが、今だに具体策が見えない現状に私達住民は苛立ちを募らせています。仮設住宅入居誓約書には平成25年6月18日までとされていますが、被害対応に遅れをとっているのでは不安だらけです。一日も早い具体策をお願いします。
136	安全安心な街づくりは基本であるが、あまりに固執すると安全な街だが（特に若い人）がいない街になったのは本末転倒である。スピードを持った土地利用を実行しないと、水産業が他市町へ移動してしまう。県に督促して地域の実情を考慮した施設の展開を望む。非常時である、小異を残しつつ大同につく、気持ちが必要である。
137	住みよかった被災前の女川に1日も早く戻って欲しいと祈るばかりです。
138	震災前の女川にとは言いません。お年寄りも若い人も安心して仕事のできる女川に。　小さくも海と山があり、とてもかわいい町でした。とても美しい町だった。独自に作った祭りがとても多い（町外の人達には女川は本当に祭り好きの人が多いね！なんていわれました）　私は、町外の人達が沢山きてくれるよう、みんないろんな事を考えて、ただ単に祭り好きなわけではないでしょう。去年こんな会話を石巻でしていました。今はたださびしい限りで。
139	後世の人々が安心して暮せる町づくりが大切だと考える。
140	一日も早い復旧、復興をがんばって下さい。避難所より応援しています。
141	夢のような話は必要ないので、再生だけではなく、全体の移転を考えるべきでは、10年後、女川町民が何人残っているかを考えるべきでしょう。3000人残っていますかね？
142	女川町民が安心して楽しく、働ける職場、住み良い町づくりをして下さい。一日も早い、復旧、復興されます事を願っております。
143	元の場所に家を建てたいと思っていますが。二小下の場所が、復興計画の地図では見当もつかないので、もっと、拡大地図でわかりやすく示して下さい。また、現在の住所に家が建つかどうか相談に行った時、すぐに対応できるように、建設課以外に専門の部署をつくって下さい。

144	みんなで協力してがんばりたい
145	7月30日まで避難所生活を強いられ、復興計画もよくわからないまま仮設に入居しています。私たちが石巻バイパス仮設を選んだのも変わり果てた今の女川を少しでも見たくないからという理由です。10年後、20年後、きっとすばらしい女川に復興していることと思いますが、子供たちが、見て、聞いて、学んで、吸収して成長していくのは『今』なんです。少しでも、今出来る精一杯でかまわないので、学ぶ環境を整えて子供たちも親も安心して暮らせるように配慮していただきたいと思います。未来を担う子供たちを大事にした町づくりをお願いしたいと思います。高齢者だけでは町の再建は難しいと思います。復興した女川の町に皆が戻ってこれるような魅力ある港町に再生してほしいと思います。
146	海のきれいな町だったので、もう一度きれいな女川湾が再建できればと思う。全てなくなってしまったのだから、これを期に時代にあった町づくりを願う
147	これまでの80年間女川町で生活してきました。女川町の復興を願うばかりです。
148	この震災で家を失った人がたくさんいる中、高齢者やお金が無い人は家を再建することができないと思われます。低家賃の公営住宅を、これまで以上にたくさん建てていただきたいと思います。女川を離れていった人もたくさんいます。その人達が戻ってこれる環境を造って下さい。
149	「スピード」これにつきる。安全・安心のために10年は待てない。減災のための町づくりをした上で、各自出来る範囲で再開をしていかないと、人口流出や意欲もなくなってくる。絵に描いた餅にならないよう、財政の裏づけがないなら今出来ることからはじめた方が良い。
150	復興計画がまとまらなければ何も決められない。自分は仙台にいるが、週末は様子を見に女川へ戻っている。しかし役場等は土日は対応してもらえない。税金などや申請書類の手続きができない。情報もわからないことが多い。自分でそうなのだから、県外へ出てしまっていう人はもっとわからないことだらけではないだろうひゆか。この様な調査も必要だとは思うが、まずは手続きを潤滑に行うシステム作り、交通網の整備が先ではないか。現在の浸水地域をどう活用するかの話し合いが必要と感じる。
151	女川は社宅だったため、これからまた住んでいくことは出来ませんが、以前の女川町に一日でも早く戻って欲しいという気持ちはあります。漁火祭、さんま祭と、早く戻ってきて欲しいです。
152	年寄り故に今までは車の往来で海岸での憩ひの場所がなく家の中にこもる事多く近くの山の鳥の声もなく。季節の花等もみるきになれず家にこもり年を重ねたように思います。もう少しゆったりと老後を暮らしたいと思います。そのような老人のためのエリアがあってもいいのではと思い一筆したためました。若い方々頑張って下さい。ご苦労様です。
153	☆お墓をなおしてほしいです。
154	できればまた住み慣れた女川で暮らしたい。以前とと同じ町並みで暮らしたい
155	復旧、復興は現状回復が先で回復後に避難道、避難場所、高台移転と建設を計画し創造してゆけばいいと思います。動産は再生できるが、人の命は再生できないのです。
156	早くまちづくりの方向性を出して欲しい。
157	何よりも落ち着いて暮らせる場所を第一に提供してほしい。このままでは女川町に住みたくても住み続けることが出来なくなると思う。

158	町外で生活していると町内の情報が中々伝わってこない、もっと情報を動かしてほしい。高齢者に優しい町づくりを願っています。
159	高齢者が住みやすい町を作ってください。お金がかからない生活を望みます。
160	色々な面で大変なのは分かっておりますが全てのことに対して早急にと願ってます。女川町を離れたくないので•••
161	私達家族の念願であったマイホームをわずか1年半あまりで津波により流失し、ショックからようやく立ち直り前に進もうとしている中、私たちの土地が何の断りも無くガレキ置き場に決定したのはまったく納得できません。まだ土地の買取や代替などの話もまったく決まってないのにおかしくはないですか？　もっと町民が納得して住めるように早く復興案ではなく実行して欲しい。
162	町外に出る人が一人でも少なくなるように働く所がある町になるといいです。
163	女川町がどうなるか、どう復興するか全然分からない。
164	町の復興計画はだいたい理解しているが、また大まかすぎてわかりにくい。かなり大規模な事業だが、計画通りに進むのかが心配です。今はとりあえず最低限の生活が出来れば充分だが、今後の個々人の目標として、早く具体的な移転場所と移転できる時期が明確になれば、いろんな意味で生きる気力になると思います。年数が経てばたつ程私達も年をとってしまい、住宅再建も難しくなってくると思うので、いろんな意見がありいろいろと大変かと思いますが、早めの対応をお願いします。
165	早く宅地が出来る様にしてほしい。
166	自分の所有している土地が、何の説明もなく、更地になってガレキ置場になっていた事に納得がいかない。町にきている義捐金の説明がないのもおかしい。
167	•アンケートは、できれば年代別にもお願いしたい。 •復興には若い世代の意見が特に必要だと思う。
168	復興対策室の皆さん、ご苦労様です。大変でしょうが町民のため、よろしくお願いします。
169	明るい女川町を作るために若い人が働ける場所を作ってほしい
170	町自体の構想がそれだけで終らないように、国や県との確実な約束を取り付け、早く町民を安心させ、町外への移転を防ぐことが必要に思う。
171	アンケートを書きながら思ったのですが、住居等の件が問われているようですが、現時点で仮設住宅に落ち着いた方もいますが、未だに避難所生活を余儀なくされている人も多数おられると思います。現時点で住居を決める判断は難しいと思います。復興計画（案）も出ましたが、土地利用の件で、各ゾーンに指定された町民の土地を買い上げ価格基準がはっきりすれば、生活設計の見通しが付くと思います。誰でも、元の地域で生活したいのは当たり前と思います。それが、今後出来ないのが現状だと思います。女川町はいち早く復興し、他の市町村のモデルとなるよう期待します。

172	復興も大事なことは知っていますが、その前に現在行方不明の人数を知っていますか？　海での漁業を再開する前に海中操作を徹底してやるべきだし、南三陸志津川などは海中にカメラを使っての操作を一生懸命やっています。一人でも行方不明の人達を家族の元に返してあげたいと町長がテレビで言ってました。女川の町長はテレビにもあまり出ない、出ても話す言葉は復興のことばかり…。震災で亡くなった方、行方不明の方のことは後回しのように感じます。その家族の気持ちを考えてください。何故、安置所の写真をやめたのか？　車がない人は石巻までバスで写真を見に行ったりしていることを考えてください。一度、行方不明の方がいる家族を集めて今後の操作方法の仕方など、ちゃんと説明してほしいと思っています。
173	震災前の女川町は私の視点から福祉のまちという印象がありましたが、震災直後、役場の対応には驚きました。赤ちゃんのミルクのお湯を、母親にさっき来た方にすぐあげられないとか、2～3時間前にあげて、さっきってなんなんでしょうか、その時、その職員の方は暖かいお茶を飲んでいたのに。まちづくりに関わる方々に女川町の役場職員という自覚を持ち、町のための町づくりを根ざし、考えて頂きたいと思います。あまりにも町民に対する配慮に欠ける所が目に付き、考えさせられます。町民、一人一人のための復興を一日も早く実現させて欲しいです。子供たちの教育についてですが、復興の期間について小学校の事にふれていないのが気になります。現施設の復旧を目指すというのは、一小二小はH30年度まで現状に変わりは無いということでしょうか。体育館などの使用問題、のびのびと教育するには限度があるのでは？　産業が整備された頃、子供たちがいない町になっては大変です。人材育成には小学校の具体的なイメージがわきません。もう少し、煮詰めた柱をお願いいたします。どうか、子供たちが安心して暮らせる町づくりをお願いします。
174	女川が陸の孤島と呼ばれないような、石巻にはないような施設が必要だけれども、何年も先の夢の話をするより、目先の保育所の入園準備、老人の入園準備を早くに。流出の人は100万しか出ないのはおかしい。全く何も残っていないのだから国のやり方がおかしい。石巻の方で役所の人があいまいで、半壊を全壊認定してリフォームする分ももらって、床下浸水なのに200万近くもらった人がいる。東北電力から女川町にお金が入ったと聞いたがそれはいくらでどのように使うのか、公表すべき。そうしないと悪い噂が立つ。女川町の夢の構想に使う前に町民に分けるなどすべき。皆が困窮している。ただ、全壊、半壊、一部で支給は分けるべき。仮設を希望しているのに、2次までは書類が残っているはずですが、物資、テーブルなどがもらえないのは不公平。仮設を断られて6月下旬からペット可のアパートを探し目処が付いた。土地の買上げは買った価格が明確な人は同じ価格で買い上げてほしい。
175	女川町復興計画通りに一日も早く復興する様願っています。実行に移す事が一番大事なことだと思います。
176	津波に安全な町づくりをお願いしたいです。
177	復興された女川町を見たいと心から望んでいます。
178	復興計画が絵に描いた餅にならないよう願う。町内に人が残る施策が最重要。
179	復興計画に沿った町に一日も早くなるよう願っています。
180	女川町から若者が去って行ってるような気がします。老人ばかりが残って、将来不安です。人口が半分以下になっているのではないでしょうか。早く、働く場所、住む所を確保して下さい。今の所は一日、一日生活していくことで、将来のことは考えられない。

181	復興計画書を見ましたが、特にスケジュールは長期間過ぎて具体性に欠けていると思います。未だこの時期に具体的な日程は難しいかもしれませんが、せめて復旧期2年のスケジュールは、半年単位にブレークダウンして欲しいものです。また、計画策定の際は、優先順位・予算の配分を充分に議論し決定して欲しい。良くあることは、一部の声を総意と勘違いして推進し失敗する。そうではなく町民の意見を自ら分析し、一部の利益優先のためではなく、将来の女川にとって基幹となるところを優先すべきです。女川はあくまで漁業中心の町。その復興が最優先されるべきです。また、町民が安心して住める住居の確保です。その推進にあたっても、初めから満点は目指さなくても良い。満天を求めていけば、タイミングが遅れて、機会を逃してしまう。女川を復興しようと盛り上がっているたくさんの人々がいます。その期待に応えるためにも、最低限必要なものから準備して、少しずつステップアップして行けば良い。大事なのは推進のスピードと復興していることが目に見えることです。決してあまり活用されることのないもの（野球場・運動場・その他ハコものなど）は、すぐには必要ありません。また、今回の震災の被害状況を後世に伝えるために、建屋などを保存する取り組みもされていますが、必要ないとは言いません。しかしその前に取り組むべきテーマは山積みであることを忘れないで欲しい。人口の規模にあった、身の丈にあった女川の基盤整備をお願いいたします。
182	今の状況では。女川町から離れていく住民が多くなると予想される。女川町に住みたいという気持ちが持てるまちづくりを期待する。私は社宅に住んでいるが、社内でも女川から離れ石巻、仙台に住居を変更している者もいる。上記同様、他から来る者も住みたいと思えるまちにならないと、人口減少が避けられない。
183	具体的な事を早く決めてください。それによって、町内に住むか、どうかを決めたいです。以上
184	なるべく早く町の復興を願う
185	震災以前にも増して、より良い町となりますよう。ご検討の方よろしくお願いします。
186	1分1秒でもはやく安心して暮らせる計画を立ててほしい。高齢で計画ができるまで時間がかかりすぎれば、自分たちが生まれ育った女川へ戻れないまま人生を終わらせなければならない事になりかねない。
187	行政にお任せします。
188	震災後何名の高齢者が亡くなられましたか。今後環境の変化により高齢者にはストレス（仮設住まい）により。もっと多くの町民の方、変調をきたすと思われます。高齢者が多い女川で仮設の内で亡くなられるのはしのびなく思う。復旧、復興に8年も要すると人口の何%が減ると考えられますか、復興に長い年月がかかるのはわかるけど、その都度、広報で明るいニュースを伝えてほしい（今現在の進捗状況を）。又よくホームページで見てほしいと言われますが、PCが流され、見られる方は少数だと思います。役場の方は当たり前にPCを使用、閲覧出来ますが他の高齢者は見ることができないでしょう。
189	検討委員会のメンバーに地元区長を。町外のメンバーではわからない。
190	復興復旧には長年を要することなので何も云うことはないが年老いた私共にとっては先が短く、できるなら生まれ育った地域で残り僅かな日々を送りたいのが本音でありますので、一日も早い地域の復旧を望みたい。

191	町づくりのプランを、その結論を早く出すべきです。そうしなければ、女川町の人口が他町へ流れてしまいます。水産関係の結論が特に急がれると思います。水産関係者が町外へ出ては、元も子もなくなってしまうと思いますから。
192	安心安全な生活が実現できるよう一日でも早い復旧をお願いします。
193	なるべく早く住めるところを！
194	町民の意識の改革ですが今さえ良ければ他はどうなってもかまわないと言う利己的な気持ちがあり,他人の揚げ足ばかり取ってはばからぬ町民が多かったが今回の震災を機会に相互団結する意識を持たないとだめです。
195	現在の町中を見ると、がれきがかなり少なくなって来ていると思われます。しかし、土地自体が沈下している為、満潮時に車で通過すると道路の両脇が海水であったりして、少し怖いと思うときがあります。復興までにはかなりの時間と年月がかかると思うが、私たちが安心して暮らせる町づくりに期待したいと思います。
196	復旧ではなく復興。人の集まる住みやすく魅力的な町を作ってください。
197	早く女川町が復興できるようにお願いします。
198	予定通り、平成30年女川に新しい街が出来上がったら、今の状況を思い出話にしながら、この目で確かめたいと思います。一日も早く、その日が来ることを願っています。
199	一部でも残っているものは利用させて頂き、一日も早い町の基準を決めて頂き、一日も早く再建したいと思います。
200	マイナスからのスタートなので、女川町より出て行く人のことより、町外より女川に来て生活してくれるようにすばらしく魅力のある町づくりは何かを考えたい。
201	3月11日の前の生活には戻る事は出来ません。ただ、今後住み慣れた女川町を離れて暮すのか、帰ることが出来るのか不安でなりません。一歩ずつ前に進むしかありません。私共の会社も何とか今年のさんま漁に出漁することができました。これまでの様に中々思うようには行きませんが少しづつ再建しようと努力いたしております。現状として家族一人を失い、家族皆バラバラの所で暮しています。早く、一緒に住む事ができればと願う毎日です。
202	3月11日に大震災に見舞われ、早5月以上経つと言うのに、女川町は何ら進展の気配も無い。政策を練っているのだろうが、一部の人達が考えるだけでは非常に長い年月が必要だろう。そこで、地域住民も参加できる会合の場があったならもっと早く復興すると、私は思います。よくよくお考えの上、復興に向け努力、協力、前進力を最大限発揮されますことを望みます。
203	問3-3、このアンケートの仕方は失礼だと思う。町中心部、町中心部以外との表記だけならまだしも、中心部の方にはご丁寧に地区名を列記してるのにも関わらず、以外には北浦、五部浦、出島、江島となぜ書かないのか？　そもそも()して中心部地区を書くんであれば、中心部、中心部以外などと失礼な書き方をする必要はないのでは？　こういう一点からも町の浜に対する考え方が伺えるのではないかと思う。

204	日々がたつにつれ、震災被害者はだれもがすみなれた町、地区、自分が生まれた場所、地区の皆さんと暮らしたい事は一番だと思いますが、今から5年～10年すぎると、75才～80才以上の高齢者のため、家再建不可能と思いますので、長男家族と暮らそうと思いますが、県、町でも一日早く住宅やアパートなど多く建て被害者の多くむかえるようおねがいします。
205	震災前の女川町になるように望みます。私は老人故に何も出来ませんが、皆様のお力でよろしくお願いいたします。本当に残念で言葉になりませんが、どうかよおしく頼みます。
206	震災により人口が減少するのが目に見えているようです。早い復興と女川町が住み良い町になり人口増になるよう頑張って欲しいです。早く女川の魚が食べたいです。
207	一日も早い女川のまちにもどる事を願っています。住み良いまちに私達もがんばります。
208	女川町は何年位で復興しますか。1,2年でできるよう、お願いいたします。
209	人口が大きく減少してしまったけれど、生まれ育ったこの女川町が一日も早く再建、そして復興できる様、協力したいと思っています。この震災で仕事も無くなりました。これから、将来を考えた時、今の若い世代の人達が町内に残り、町の支えとなって行ける様に、女川町内での雇用を求めたいと思います。残念ながら亡くなられた方々、まだ見つからない行方不明者の方、そしてそのご家族の方々を思うと今でも胸が痛みます。私達は、命があります。町のために、将来のために犠牲になった方々の分も強く生きて行かなくてはなりません。皆で頑張って、もう二度と負けない女川町、たくましい女川町、安全で住み良い女川町をつくって行きましょう！
210	同じ町民でありながら、何で離島だけが復興が遅れるのか知りたい。
211	住民なくして町の発展ならず、安全性、利便性を考慮しまず持って再びこの女川で生活していくんだと思う。その中で専門的な町作りに着手していく行政の財政支援の中で居住区、産業区を振り分け、協力と切磋琢磨の中で互いに競争意識を高めていく事が必要かと思われる。
212	今現在、町外に避難してお世話になっております。私は出島に住んでおり、震災後2回出島に渡りましたが、復旧復興がどれほど進むのか不安でいっぱいです。出島では食料品、タバコ、酒他、薬なども扱い、小売業とクロネコヤマト宅急便、しまなぎ船の扱所（一年の内元旦だけ休み）として生計を立てていましたが、何もかも流出してしまい、これから先、出島の人口が何人位になるのか、仕事として再びやっていけるのか？決断しかねている状態です。とりあえず、出島の仮設住宅に入らせて頂きながら、これから先のことを前向きに考えていこうと思っております。
213	町（行政）の動きが全く分からない。何をしたいのか、どのようにしていきたいのか、給料もらって仕事をしてるなら、もっとしっかりやっていただきたい。町民への対応も良くない。友達でない。仕事中はあくまでも口の聞き方など、しっかり指導しなさい。
214	女川町復興計画策定委員会の議論の状況や資料等については、ホームページで公開しながらより多くの方との意見も参考としていただきたい。またEメール配信やFM女川、河北新報などの各種メディアを上手く活用してほしい。

215	誰しもが想定外の出来事で無我夢中で生活や仕事などなど再び元にと日々暮れている事と思いますが、女川町の町民として正直不公平感を感じざるを得ないというのが本音です。仙台には一切避難者に対しての救援物資等の連絡などがありません。女川の避難者等（現在は女川、石巻方面の仮設住宅の人達ばかり連絡が入り）色々頂きに現在も行っているらしいのですが。一部の人達ばかりで不満です。こちら仙台などではどのようにすれば避難者として援助が受けられるのかと??役場等へ手続きにあたり、ガソリン代がかなりかかったと今だ不満が残っております。◎こちらにも被災した人がおります!!
216	1.高齢化地区のため公共施設の復旧を早期にお願いしたい。
217	早く戻りたいです。
218	江島でも家が地震で壊れた人がたくさんいます。電気、水道の復旧も未だに見通しもなく、町からの説明会等の情報もありません。女川町は、すでに復興を目標としている様でありますが、江島は復旧すらしていないのです！！　江島はもはや見捨てられたのでしょうか？　それとも元々眼中にないという事でしょうか？　同じ町内の島である出島には、島々に仮設住宅も建ち、電気、水道も通っているのに、江島には仮設住宅を建設する予定はないのでしょうか？　島民はほとんどが高齢で島に帰りたくても瓦が落ちたり、家が傾いたりして住めない人もいます。ぜひ、島内に仮設住宅の建設をお願いします。町中心部に比べれば、江島の被害は少ないかもしれません。しかし、江島も女川町だということを忘れないで下さい。一日も早い復旧復興を願っています。
219	1日でも早い復興をお願いします。
（2）今後の女川原子力発電所のあり方	
220	漁業を中心に特産品も多くあり、全国的にも知られている町だと思うので、是非、町民の力で復興させたいです。原発問題は住民の不安が少しでも取り除けるように万全の対策をとって欲しいです。町と東北電力、女川原発と連携を計って欲しい。（今まで以上に）
221	役場庁舎の機能が早い段階で出来なかったのか（データが消滅）、復旧の根源と思います。行政機関、商店、水産施設の早期再生を一日も早く。県、国等の外交が不可欠では、副町長も必要ではないでしょうか。原発はどうでしょうか。福島県のように避難勧告を受けたら非常に不安でなりません。道路事情もよくありません。解決策は無いのでしょうか。町職員、教育関係職員、中でも環境衛生関係に携わる職員の皆様には感銘を受け言葉になりません。職員の精神的ケアも必要かと思いますが、郷土復興のキーワードかもしれません。

222	特に津波より被災した方に対する復興計画への要望はないが、5つの柱の防災に関わる減災について、津波だけの用語であるが、これに加えて原子力の立地町である女川町として、人口流出を食い止めるためにも宮城県・隣接する市とで、歩調を合わせながら「脱原発」を内外に発信するような考えとして明記し、再生可能エネルギー産業を新たに構築するような案を検討すべきかと思いますが？　また、放射線量のモニタリング情報を、随時町民へ公開周知をよろしくお願い致します。復興計画の目標期間が8年の中で、復旧期・基盤整備期・本格復興期のそれぞれの財源についての公表を願います。海岸沿いの幹線道路として、崎山公園高台の道路から町立病院の高台を経て旭が丘までの架橋・もしくは高盛土（防潮堤等）で整備し、避難路等を確保し、多重防御で災害に強い町づくりにしては？　3・11の大震災において、多くの方々が生命を失い、さらには行方不明者もいる中で、新聞等で掲載されてるが、本町の広報において、特殊的な掲載かと思いますが、各部落ごとの死亡者・行方不明者の方々の公表願えればと思います。交通機関（バス）の旭が丘停留所の設置について、旭が丘の部落として、仮設住宅も増えて、本町の最大団地かと思いますが、更には、年寄りも多いかと思います。そのなかで、ミヤコーバスの停留所について、旭が丘団地の入口付近か、それ以外の所で適当な場所に増設の依頼を各機関に要望願えればと思います。
223	・高台、高台と言うが、原発の問題に触れないのはおかしい。避けられない天災もあるが、避けられる問題（原発の廃炉）について、もっと考えて欲しい。自立型エネルギーなどと言葉を濁さず、原発の廃炉を明言して欲しい。 ・例え、高台に移転した町造りが進んでも、原発の事故一つで、総て水泡に帰すのではないか？ ・原発の交付金にしがみつかない。質素だけれども心豊かな町造りを望む。
224	・女川町が率先して「脱原発」に取り組むべき。 ・義援金等を集中させて、ガスタービン発電にコージェネレーションシステムを加えた発源、熱源施設を作る。
225	原子力発電所との共存共栄。係わり合いぜんぜん聞こえてこないし、見えてこない。復興計画策定委員会で議題にも乗らないのか。なぜか。責任説明があると思うのだが。何らかの方法で町民に説明していたらごめんなさい。町外に出ると情報がないわたしは、新聞かHPしかないが、人に頼んでもらっている。わたしは罹災証明書を発行に貰いに行ったとき、現住所を登録しました。女川の職員の多忙さは新聞で知っていますがお身体を大切に。役場で「あなたにばかりに広報など連絡業務が出来ない」と言われた。
226	世相が脱原発に向かってますので、今後の女川町の進む方向が心配です。
227	・一番不安な事は原発の安全。福島の原発の事は世の中で報道されているが、女川は安全というだけで一般には理解できません。子供たちは大丈夫なのでしょうか。外国の方では大変心配しているようです。町づくりをいくらやっても、原発にはかないません。安全な町女川が一番です。
228	今回の復興計画では女川原子力発電所が隣接していることへの今後の関わりについて何も触れていないようだが。将来、計画通りの復興が実現されたとしても、福島みたいな事故が発生してしまったらせっかくの町も人一人住めなくなってしまうのでは？　絶対安全の保証を基として、完全な復興計画があるのでは？
229	4年8年先の人口減を見据えたコンパクトな町づくりをしてもらいたい。税金を使う無駄なハコモノ町職員、議員全て見直し削減すべき。漁業の町女川原発との両立は出来ない。絶対安全はない。危険な放射能セシウム、原発の即時撤退をしてもらいたい。一握りの人だけで町の将来を決めないで。この町が好きだから。

230	・震災前の本町の状況は、人口減、特に若い世代の減少が目立っていました。老人は（65才以上）人口は、34～5%？だったと思います。この震災により、町外等へ避難している人も多数おりまた、就労も重なりかなりの人が町から離れています。復興計画→具体的計画、具体的期間を素早く実行して女川町を復興して下さい。数年後女川町の人口が何人なのか大変心配です。・防災面で原子力発電所の部分も記述してはどうか。（国でも、はっきり決めてないが抜きにしては通れない問題と思う。）
231	福島原発の放射線量と女川原発の事故が心配です。
232	福島の二の舞は受けたくないので、原発に関しては十分に考えてほしい。しかし、原発なくして女川が再復興できるのか疑問に思う。住民に税金として重荷になるのも心配だ。今回倒れたビルを残すのはそれだけでなく回り一体を公園化して、観光地にするのもいいと思う。この数ヶ月、色々な人が訪れてカメラに惨状をおさめるのを見て思った。仕事上、土地が必要で女川に戻れないでいる、早く土地をどうするか決めてほしい。子供達が学校を卒業して成人してしまっては女川に建てる意味がないし、年がいってからは建てられない（他の土地に住むことを考えてしまう）。待って2年だと思う、目標を見ても本当にできるか疑問だ、5ヶ月たった今でもがれきもあるし。今度、民間借り上げで2年間限定でアパートに入るが、住宅建設開始が5年以降なら、2年以上住めるように延長を希望する。
233	このまま一町だけで残っていくのか、合併をしていくのか。また、原発の問題もあり、原発があることで女川町があるともいえる。自分の育った町が元気になって欲しいと思っているが、今は、自分の生活のことで精一杯である。
234	千年に一度の大震災、未曾有の大惨事、女川町の悲惨な状況を見たときの惨事に言葉もなく涙がとめどなく流れました。これが私たちのふるさと女川町なのかと、活気ある港町女川港が消えてしまったと、多くの犠牲者も出ました。私も肉親を亡くした者です。この方々のためにも、もう一度復興しなければ昔のような住み良い、誰もが笑顔で暮らせる、そんな女川になってほしい。それは私達一人一人が心の復興、希望を持ってやる気を興して一人では何も出来ませんが町民が一つになって、やれるところから知恵を出し合っていきたいと思います。・原発をやめてほしい（福島原発を教訓にして）。・女川湾を改良してほしい。・高台への住宅、公共施設の建設。・植樹、植林の増設。・道路の改良、緊急の時避難困難。・医療関係、応診専門の医師、看護師の配備。・高齢化に伴う養護施設の増設。・各店舗の拡充。・石巻市との合併を考慮してほしい。　町長さん始め職員の皆さんも一生懸命頑張っている姿に感謝申します。一日も早町が復興できますよう心から願っています。
235	・原子力発電所の安全神話が崩壊した今、また女川の発電所の年数もたっているので、今後の新エネルギー産業の誘致などを考えないといけないと思う。又再稼動の際には言うまでもないがよろしく頼む。 ・又老人ホーム等の充実により高齢者の不安（医療、福祉）を少なくしてほしい。 ・災害時の避難所への道路の整備。 ・若者が働く環境を整えて欲しいと思う。

236	以前のような活気のある町になる為には産業の復興が大切だと思う。それと同時進行で住宅・宅地の問題を決めなければ、益々町を離れる人が増えると思うので、絶対にこうするのだというプランを提示し、実行してほしい。また本町は原発立地町であるが、世の流れは確実に'脱原発'に向かっていて、そう遠くない将来女川原発も廃炉になるかもしれない。そうなると雇用の問題・税収の問題等が確実に起こるはず。その場合、確実に人口が減り、コミュニティの存続すら危うくなってしまう恐れがあると思う。だから、その時に備え、東北電力等と協議をし自発エネルギーの利用やガスによるエネルギー調達（実際に石巻ガスで石巻市に提案している）など、新エネルギーの町として発展させることが町の将来に繋がると思う。何しろどの問題も町単独では出来ない難しい問題だが、一刻も早い決定を望みます。
237	まちづくりは、これまでとはまるっきり別の考えを持たないと成り立たないと思います。まず、原発の事を考える必要があります。自然を甘く見過ぎてた自分たちを反省し、人間が制御できない物に対する怖さを知るべきかと…。女川の自然が生かされた町づくりができればと願います。前を向いて生きて行かなければならないので、若い人の意見を良く聞いてあげるべきかと思います。
238	原発に頼らないエネルギーの供給を目指して欲しい。
239	福島原発の事故がとても重大なことだと考えており、果たして女川原発は本当に必要なのか？出来れば未来ある子供たちのため、脱原発してほしい。
240	原発は廃止する方向で進むべきである。産業は、水産、農林業、観光各自が世間に認められるものを工夫して作り、行政が力添えをする。とにかく生き残れること。これが町づくりの基本だと思う。
241	◎脱原発が取りざたされている現在、町財政に大きな関わりを持つ女川原発の今後をどう構築していくのか、展望が不明瞭。 ◎各漁港の復興整備は緊急の問題だけに関心の高さは理解できるが、港幹産業である魚市場を含めた水産加工業の復興もより重大で、後背地の受け入れ態勢が不明の段階でどう対処するのか。規模によっては復興案の見直しが避けられないことも危惧されると思うが。 ◎先の市町村合併では財政面で優位な情勢から合併は避けたものの、この件に関しての将来の構想は。 ◎高台の宅地造成に異存はないが委員会のメンバー全員がつぶさに視察した上での提案なのか、一部理解に苦しむゾーンもある。 ◎過疎化高齢化は他の被災地を比にかなり深刻な状態と思われるが、どの人口レベルを想定に復興プランをを作成するのか不明。 ◎学識者の方々がどれ程の時間をかけて滞在調査されたかは不明ですが、議事録等から推測するに類型的な復興案の域を出ないものと思われます。思い切って町独自の視点で捉えてほしいと思います。町内関係者の構成が甚だ心もとない感じで、より若い人の参入を要望します。これからを担うのは彼等若い力です。
242	早く町づくりを進めないと多くの人が町外へ移転してしまうので、早急な対応が必要だと思います。原発を早く動かして町への交付金をもらって使ったほうが良いと思います。
243	原発のない町にもどってほしい。

244	女川町に住んでいて一番心配している原発事故が福島で起きてしまいました。よそ事ではありません。原発に頼っている町の末路を見る思いがします。安心、安全と誰が言えますか。自分の子供に原発と一緒に住むことを薦められません。私もいずれ原発の町から去る考えを捨て切れません。でも自然豊かな女川が好きです。町の将来のためには、老若男女が住み良い町づくりの答えが出せる優秀な人材が必要と思われています。また、原発について、町のトップの方がどのように考えているのか、機会があったら聞きたいと思います。
245	①原子力発電所の廃止。津波が来て、町はなくなりました。今、女川町は新しい町づくりをしていますが、今後、あのような津波が来て、原発が壊れた場合、女川町は住むことも生きていくこともできない町になってしまいます。そのためにも、原発の廃止をしてください。 ②北浦地区の道路整備。　現在の398号線は、明日にも崩壊する状態になっています。崎山公園沿いの道路をトンネルにして、道幅の広い道路を作ってください。 ③保育施設の復興。　保育所が女川では現在1つしかありません。保育所に子供をあづけたくても、あづけられない状態です。仕事をしたくても、子供の面倒を見なければなりません。仕事が出来なければ、収入が減り、生活も大変です。

合計245意見